

## 2 . 法 規 ・ 条 例 等

- (1) ドイツ
- (2) フランス
- (3) 英国
- (4) 米国 (ニューヨーク州)
- (5) 米国 (カリフォルニア州)
- (6) 米国 (コロンビア特別区)
- (7) カナダ (ケベック州)

(1) ド イ ツ

---

ドイツ - 民法 -

(Bürgerliches Gesetzbuch) 第 965～第 984 条、第 1000 条～第 1003 条

---

民法  
第3編（物権法）  
第3章（所有権）  
第3節（動産所有権の取得及び喪失）  
第6款（遺失物）

第965条

(1) 遺失した物件を発見して取得した者は、遺失者又は所有者又はその他の受領権利者に遅滞なく届出なければならない。

(2) 拾得者が受領権利者を知らないか、その居所が不明な場合は、拾得者は、受領権利者を捜し出すために重要となり得る事情及び遺失物を遅滞なく所轄官庁に届出なければならない。遺失物の価額が10ユーロ以下の場合、届出の必要はない。

第966条

(1) 拾得者は物件を保管する義務がある。

(2) 物件の毀損が懸念されるか、保管が不相当な費用を伴う場合は、拾得者は遺失物を公的競売に付さなければならない。競売の前に所轄官庁に届出なければならない。競売の売上は物件に代わるものとする。

第967条

拾得者は、物件又は競売の売上を所轄官庁に引き渡す権利があり、かつ所轄官庁の指示に従い所轄官庁に引き渡す義務がある。

第968条

拾得者は故意又は重大な過失に対してのみ責任を負う。

第969条

拾得者は物件を遺失者に返還することにより、その他の受領権利者に対しても免責される。

第970条

拾得者が、物件を保管若しくは維持する目的、又は受領権利者を捜し出す目的で、事情により必要と見なした費用を支出した場合、受領権利者に対しその償還を請求できる。

第971条

(1) 拾得者は受領権利者に報労金を請求できる。報労金は物件の価額が500ユーロ以下の場合には100分の5、それを超える分については100分の3、動物の場合には100分の3とする。物件が受領権利者にとってのみ価値がある場合は、報労金は衡平な裁量によって決めなければならない。

(2) 拾得者が届出義務に違反するか、照会に対して秘匿した場合は、請求権は認められない。

#### 第 972 条

第 970 条及び第 971 条に規定された請求権については、占有者の所有者への費用の請求権に適用される第 1000 条から第 1002 条の規定を準用する。

#### 第 973 条

(1) 遺失物を所轄官庁に届出た後 6 ヶ月が経過したら、拾得者は遺失物に対する所有権を取得する。但し、それ以前に受領権利者が拾得者に判明するか、又は受領権利者がその権利を所轄官庁に届出た場合はこの限りではない。所有権の取得により、物件に対するその他の権利は消滅する。

(2) 物件の価額が 10 ユーロ以下の場合は、6 ヶ月の期間は拾得のときより進行する。拾得者は、照会に対して遺失物を秘匿した場合は所有権を取得しない。所轄官庁への権利の届出は、所有権の取得を妨げない。

#### 第 974 条

6 ヶ月期間が経過する前に受領権利者が拾得者に判明するか、又は価額が 10 ユーロ以上の物件の場合において受領権利者がその権利を所轄官庁に届け出たときは、拾得者は第 1003 条の規定に従い、第 970 条から第 972 条により自己に認められる請求権に関して意思表示すべき旨を受領権利者に催告できる。この表示のために定めた期間が経過した場合において、受領権利者が請求を弁済する意思を適時に表示しないときは、拾得者は所有権を取得し、物件に対するその他の権利は消滅する。

#### 第 975 条

物件又は競売の売上を所轄官庁に引き渡すことにより、拾得者の権利は影響を受けない。所轄官庁が物件を競売に付した場合、その売上は物件に代わるものとする。所轄官庁は拾得者の同意を得なければ、物件又は売上を受領権利者に返還してはならない。

#### 第 976 条

(1) 拾得者が物件の所有権を取得する権利を所轄官庁に対して放棄した場合、その権利は拾得地の市町村に移転する。

(2) 物件又は競売の売上を所轄官庁に引き渡した後で拾得者が第 973 条及び第 974 条の規定に基づき所有権を取得した場合において、拾得者が所轄官庁の指定する期間が経過する前までに返還を求めないときは、所有権は拾得地の市町村に移転する。

#### 第 977 条

第 973 条、第 974 条及び第 976 条の規定により権利を喪失した者は、不当利得の返還に関する規定に従い、第 973 条及び第 974 条の場合は拾得者に対し、第 976 条の場合は拾得地

の市町村に対し、権利変更による取得した物件の返還を請求できる。請求権は、所有権が拾得者又は市町村に移転した後3年経過した場合において、それ以前に裁判による権利の主張が行われないうち消滅する。

#### 第978条

(1)官公庁や公共交通機関の建造物又は公共輸送機関の中で物件を発見し取得した者は、その物件を直ちに当該官庁、交通機関又はその職員に引き渡さなければならない。第965条から第967条及び第969条から第977条の規定は適用しない。

(2)物件の価額が50ユーロ以上の場合、拾得者は受領権利者に報労金を請求できる。報労金は、第971条第1項第2文及び第3文の規定を適用した場合に生じる価額の2分の1とする。請求権は、拾得者が官公庁又は交通機関の職員であるか、又は拾得者が届出義務に違反した場合は認められない。報労金の請求については、占有者の所有者への費用請求権に適用される第1001条の規定を準用する。報労金の請求権が存在する場合、官公庁又は交通機関は拾得者に対して物件を受領権利者に返還するよう通知しなければならない。

(3)競売の売上又は拾得された金銭が第981条第1項に規定する権利者に帰属する場合、第2項第1文から第3文に規定する報労金は同権利者に請求するものとする。第1文に掲げる権利者に対する請求権は、発生後3年経過したら消滅する。

#### 第979条

(1)官公庁又は公共交通機関は、同機関に引き渡された物件を公的競売に付することができる。国、連邦州及び市町村の官公庁及び交通機関は、その職員に競売を行わせることができる。

(2)競売の売上は物件に代わるものとする。

#### 第980条

(1)競売が許されるのは、遺失物の公告において期間を指定した上、受領権利者にその権利を届出るよう催告し、かつ当該期間が経過した場合に限る。競売は、届出が適時に行われた場合は許されない。

(2)公告は、物件の毀損が懸念されるか、保管が不相当な費用を伴う場合は必要ない。

#### 第981条

(1)公告において指定された期間が満了後、3年経過した場合において、受領権利者がその権利を届出なかったとき、競売の売上は、国の官庁及び機関の場合は連邦国庫に、州の官庁及び機関の場合は州の財政に、市町村の官庁及び機関の場合は当該市町村に、民間人が経営する交通機関の場合は当該交通機関に帰属する。

(2) 競売が公告なしに行われた場合は、前記3年の期間は、受領権利者が遺失物の公告においてその権利を届出るように催告された後に進行する。拾得された金銭が引き渡された場合も、同様とする。

(3) これに係る費用は返還される価額から控除される。

#### 第982条

第980条及び第981条に規定する公告は、連邦の官庁又は施設の場合は所轄の連邦大臣が、その他の場合は連邦州の中央官庁が制定した規則に従って実施される。

#### 第983条

官公庁が返還を義務づけられた物件を所有しており、この義務が契約に基づいていない場合において、当該官庁に受領権利者又はその居所が判明していないとき、第979条から第982条の規定を準用する。

#### 第984条

長期間秘匿されてきたために所有者を捜し出すことができない物件（埋蔵物）を発見し、発見の結果として所有した場合、所有権の2分の1は発見者が、他の2分の1は埋蔵物が秘匿されていた物件の所有者が取得する。

### 第4節

#### 第1000条

占有者は、償還されるべき費用が弁済されるまでは、物件の返還を拒否できる。留置権は、占有者が故意に犯した不法行為によって物件を取得した場合は、当該占有者に帰属しない。

#### 第1001条

占有者は、所有者が物件を回復するか、又は費用を承認した場合のみ、費用償還の請求権を主張できる。費用を承認するまでは、所有者は回復した物件を返却することにより請求を免れることができる。占有者が請求権を留保して提供した物件を、所有者が受領したときは、承認は付与されたものと見なす。

#### 第1002条

(1) 占有者が所有者に物件を返還した場合において、費用償還請求権は、返還後1カ月経過したとき、但し土地の場合は返還後6カ月経過したとき消滅する。但し、それ以前に裁判上の主張がなされるか、又は所有者が費用を承認した場合は、この限りでない。

(2) この期間に対し、消滅時効に適用される第206条、第210条及び第211条の規則を準用する。

#### 第 1003 条

(1) 占有者は所有者に対し、償還請求金額を提示の上、所有者が指定する適当な期間内に費用を承認するか否か意思表示するよう催告できる。この期間が経過した場合において、承認が適時に行われなかったときは、占有者は質物売却に関する規則に従い、但し土地の場合は不動産に対する強制執行に関する規則に従い、物件により弁済する方法を追求することができる。

(2) 所有者が前記期間の経過前に請求を否認した場合、占有者は、法的効力のある費用確定の後、所有者に対して適当な期間を定めて意思表示を催告し、その期間が経過したときに限り、物件による弁済を受けることができる。承認が適時に行われた場合は、物件による弁済の権利は認められない。

**Bürgerliches Gesetzbuch**  
**Drittes Buch Sachenrecht, Dritter Abschnitt Eigentum, Dritter Titel Erwerb und Verlust des**  
**Eigentums an beweglichen Sachen**  
**VI. Fund**

§ 965

(1) Wer eine verlorene Sache findet und an sich nimmt, hat dem Verlierer oder dem Eigentümer oder einem sonstigen Empfangsberechtigten unverzüglich Anzeige zu machen.

(2) Kennt der Finder die Empfangsberechtigten nicht oder ist ihm ihr Aufenthalt unbekannt, so hat er den Fund und die Umstände, welche für die Ermittlung der Empfangsberechtigten erheblich sein können, unverzüglich der zuständigen Behörde anzuzeigen. Ist die Sache nicht mehr als 10 Euro wert, so bedarf es der Anzeige nicht.

§§ 965 Abs. 2 Satz 1, 966 Abs. 2 Satz 2 u. § 967: IdF d. Art. 1 Nr. 6 G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976

§ 965 Abs. 2 Satz 2: IdF d. Art. 1 Nr. 1 G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976 u. d. Art. 2 Abs. 1 Nr. 11 G v. 27.6.2000 I 897 mWv 30.6.2000

§ 966

(1) Der Finder ist zur Verwahrung der Sache verpflichtet.

(2) Ist der Verderb der Sache zu besorgen oder ist die Aufbewahrung mit unverhältnismäßigen Kosten verbunden, so hat der Finder die Sache öffentlich versteigern zu lassen. Vor der Versteigerung ist der zuständigen Behörde Anzeige zu machen. Der Erlös tritt an die Stelle der Sache.

§§ 965 Abs. 2 Satz 1, 966 Abs. 2 Satz 2 u. § 967: IdF d. Art. 1 Nr. 6 G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976

§ 967

Der Finder ist berechtigt und auf Anordnung der zuständigen Behörde verpflichtet, die Sache oder den Versteigerungserlös an die zuständige Behörde abzuliefern.

§§ 965 Abs. 2 Satz 1, 966 Abs. 2 Satz 2 u. § 967: IdF d. Art. 1 Nr. 6 G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976

§ 968

Der Finder hat nur Vorsatz und grobe Fahrlässigkeit zu vertreten.

#### § 969

Der Finder wird durch die Herausgabe der Sache an den Verlierer auch den sonstigen Empfangsberechtigten gegenüber befreit.

#### § 970

Macht der Finder zum Zwecke der Verwahrung oder Erhaltung der Sache oder zum Zwecke der Ermittlung eines Empfangsberechtigten Aufwendungen, die er den Umständen nach für erforderlich halten darf, so kann er von dem Empfangsberechtigten Ersatz verlangen.

#### § 971

(1) Der Finder kann von dem Empfangsberechtigten einen Finderlohn verlangen. Der Finderlohn beträgt von dem Wert der Sache bis zu 500 Euro fünf vom Hundert, von dem Mehrwert drei vom Hundert, bei Tieren drei vom Hundert. Hat die Sache nur für den Empfangsberechtigten einen Wert, so ist der Finderlohn nach billigem Ermessen zu bestimmen.

(2) Der Anspruch ist ausgeschlossen, wenn der Finder die Anzeigepflicht verletzt oder den Fund auf Nachfrage verheimlicht.

§ 971 Abs. 1 Satz 2: IdF d. Art. 1 Nr. 2 G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976 u. d. Art. 2 Abs. 1 Nr. 12 G v. 27.6.2000 I 897 mWv 30.6.2000

#### § 972

Auf die in den §§ 970, 971 bestimmten Ansprüche finden die für die Ansprüche des Besitzers gegen den Eigentümer wegen Verwendungen geltenden Vorschriften der §§ 1000 bis 1002 entsprechende Anwendung.

#### § 973

(1) Mit dem Ablauf von sechs Monaten nach der Anzeige des Fundes bei der zuständigen Behörde erwirbt der Finder das Eigentum an der Sache, es sei denn, daß vorher ein Empfangsberechtigter dem Finder bekannt geworden ist oder sein Recht bei der zuständigen Behörde angemeldet hat. Mit dem Erwerb des Eigentums erlöschen die sonstigen Rechte an der Sache.

(2) Ist die Sache nicht mehr als 10 Euro wert, so beginnt die sechsmonatige Frist mit dem Fund. Der Finder erwirbt das Eigentum nicht, wenn er den Fund auf Nachfrage verheimlicht. Die Anmeldung eines Rechts bei der zuständigen Behörde steht dem Erwerb des Eigentums nicht entgegen.

§ 973 Abs. 1 Satz 1: IdF d. Art. 1 Nr. 3 Buchst. a u. Nr. 6 G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976

§ 973 Abs. 2 Satz 1: IdF d. Art. 1 Nr. 3 Buchst. b u. Nr. 6 G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976 u. d. Art. 2 Abs. 1 Nr. 11 G v. 27.06.2000 I 897 mWv 30.6.2000

§ 973 Abs. 2 Satz 3: IdF d. Art. 1 Nr. 3 Buchst. b u. Nr. 6 G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976

#### § 974

Sind vor dem Ablauf der sechsmonatigen Frist Empfangsberechtigte dem Finder bekannt geworden oder haben sie bei einer Sache, die mehr als 10 Euro wert ist, ihre Rechte bei der zuständigen Behörde rechtzeitig angemeldet, so kann der Finder die Empfangsberechtigten nach den Vorschriften des § 1003 zur Erklärung über die ihm nach den §§ 970 bis 972 zustehenden Ansprüche auffordern. Mit dem Ablauf der für die Erklärung bestimmten Frist erwirbt der Finder das Eigentum und erlöschen die sonstigen Rechte an der Sache, wenn nicht die Empfangsberechtigten sich rechtzeitig zu der Befriedigung der Ansprüche bereit erklären.

§ 974 Satz 1: IdF d. Art. 1 Nr. 4 u. 6 G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976 u. d. Art. 2 Abs. 1 Nr. 11 G v. 27.06.2000 I 897 mWv 30.6.2000

#### § 975

Durch die Ablieferung der Sache oder des Versteigerungserlöses an die zuständige Behörde werden die Rechte des Finders nicht berührt. Läßt die zuständige Behörde die Sache versteigern, so tritt der Erlös an die Stelle der Sache. Die zuständige Behörde darf die Sache oder den Erlös nur mit Zustimmung des Finders einem Empfangsberechtigten herausgeben.

§§ 975 u. 976: IdF d. Art. 1 Nr. 6 G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976

#### § 976

(1) Verzichtet der Finder der zuständigen Behörde gegenüber auf das Recht zum Erwerb des Eigentums an der Sache, so geht sein Recht auf die Gemeinde des Fundorts über.

(2) Hat der Finder nach der Ablieferung der Sache oder des Versteigerungserlöses an die zuständige Behörde auf Grund der Vorschriften der §§ 973, 974 das Eigentum erworben, so geht es auf die Gemeinde des Fundorts über, wenn nicht der Finder vor dem Ablauf einer ihm von der zuständigen Behörde bestimmten Frist die Herausgabe verlangt.

§§ 975 u. 976: IdF d. Art. 1 Nr. 6 G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976

#### § 977

Wer infolge der Vorschriften der §§ 973, 974, 976 einen Rechtsverlust erleidet, kann in den Fällen der §§ 973, 974 von dem Finder, in den Fällen des § 976 von der Gemeinde des Fundorts die Herausgabe des durch die Rechtsänderung Erlangten nach den Vorschriften über die Herausgabe einer ungerechtfertigten Bereicherung fordern. Der Anspruch erlischt mit dem Ablauf von drei Jahren nach dem Übergang des Eigentums auf den Finder oder die Gemeinde, wenn nicht die gerichtliche Geltendmachung vorher erfolgt.

## § 978

(1) Wer eine Sache in den Geschäftsräumen oder den Beförderungsmitteln einer öffentlichen Behörde oder einer dem öffentlichen Verkehr dienenden Verkehrsanstalt findet und an sich nimmt, hat die Sache unverzüglich an die Behörde oder die Verkehrsanstalt oder an einen ihrer Angestellten abzuliefern. Die Vorschriften der §§ 965 bis 967 und 969 bis 977 finden keine Anwendung.

(2) Ist die Sache nicht weniger als 50 Euro wert, so kann der Finder von dem Empfangsberechtigten einen Finderlohn verlangen. Der Finderlohn besteht in der Hälfte des Betrags, der sich bei Anwendung des § 971 Abs. 1 Satz 2, 3 ergeben würde. Der Anspruch ist ausgeschlossen, wenn der Finder Bediensteter der Behörde oder der Verkehrsanstalt ist oder der Finder die Ablieferungspflicht verletzt. Die für die Ansprüche des Besitzers gegen den Eigentümer wegen Verwendungen geltende Vorschrift des § 1001 findet auf den Finderlohnanspruch entsprechende Anwendung. Besteht ein Anspruch auf Finderlohn, so hat die Behörde oder die Verkehrsanstalt dem Finder die Herausgabe der Sache an einen Empfangsberechtigten anzuzeigen.

(3) Fällt der Versteigerungserlös oder gefundenes Geld an den nach § 981 Abs. 1 Berechtigten, so besteht ein Anspruch auf Finderlohn nach Absatz 2 Satz 1 bis 3 gegen diesen. Der Anspruch erlischt mit dem Ablauf von drei Jahren nach seiner Entstehung gegen den in Satz 1 bezeichneten Berechtigten.

§ 978 Abs. 1 Satz 2: IdF d. Art. 1 Nr. 5 Buchst. a G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976

§ 978 Abs. 2: Eingef. durch Art. 1 Nr. 5 Buchst. b G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976

§ 978 Abs. 2 Satz 1: IdF d. Art. 2 Abs. 1 Nr. 13 G v. 27.06.2000 I 897 mWv 30.6.2000

§ 978 Abs. 3: Eingef. durch Art. 1 Nr. 5 Buchst. b G v. 19.7.1976 I 1817 mWv 1.11.1976

## § 979

(1) Die Behörde oder die Verkehrsanstalt kann die an sie abgelieferte Sache öffentlich versteigern lassen. Die öffentlichen Behörden und die Verkehrsanstalten des /\* Reichs, \*/ der /\* Bundesstaaten \*/ und der Gemeinden können die Versteigerung durch einen ihrer Beamten vornehmen lassen.

(2) Der Erlös tritt an die Stelle der Sache.

## § 980

(1) Die Versteigerung ist erst zulässig, nachdem die Empfangsberechtigten in einer öffentlichen Bekanntmachung des Fundes zur Anmeldung ihrer Rechte unter Bestimmung einer Frist aufgefordert worden sind und die Frist verstrichen ist; sie ist unzulässig, wenn eine Anmeldung rechtzeitig erfolgt ist.

(2) Die Bekanntmachung ist nicht erforderlich, wenn der Verderb der Sache zu besorgen oder die Aufbewahrung mit unverhältnismäßigen Kosten verbunden ist.

#### § 981

(1) Sind seit dem Ablauf der in der öffentlichen Bekanntmachung bestimmten Frist drei Jahre verstrichen, so fällt der Versteigerungserlös, wenn nicht ein Empfangsberechtigter sein Recht angemeldet hat, bei /\* Reichsbehörden \*/ und /\* Reichsanstalten \*/ an den /\* Reichsfiskus, \*/ bei Landesbehörden und Landesanstalten an den Fiskus des /\* Bundesstaats, \*/ bei Gemeindebehörden und Gemeindeanstalten an die Gemeinde, bei Verkehrsanstalten, die von einer Privatperson betrieben werden, an diese.

(2) Ist die Versteigerung ohne die öffentliche Bekanntmachung erfolgt, so beginnt die dreijährige Frist erst, nachdem die Empfangsberechtigten in einer öffentlichen Bekanntmachung des Fundes zur Anmeldung ihrer Rechte aufgefordert worden sind. Das gleiche gilt, wenn gefundenes Geld abgeliefert worden ist.

(3) Die Kosten werden von dem herauszugebenden Betrag abgezogen.

#### § 982

Die in den §§ 980, 981 vorgeschriebene Bekanntmachung erfolgt bei Reichsbehörden und Reichsanstalten nach den von dem Bundesrat, in den übrigen Fällen nach den von der Zentralbehörde des Bundesstaats erlassenen Vorschriften.

§ 982: Vgl. Bekanntmachung v. 16.6.1898 403-5; Bundesrat, vgl. § 3 Übergangsgesetz v. 4.3.1919 S. 285, Art. 179 WRV v. 11.8.1919 S. 1383, § 2 G ü. d. Aufhebung d. Reichsrats v. 14.2.1934 I 89 u. Art. 129 Abs. 1 GG 100-1

#### § 983

Ist eine öffentliche Behörde im Besitz einer Sache, zu deren Herausgabe sie verpflichtet ist, ohne daß die Verpflichtung auf Vertrag beruht, so finden, wenn der Behörde der Empfangsberechtigte oder dessen Aufenthalt unbekannt ist, die Vorschriften der §§ 979 bis 982 entsprechende Anwendung.

#### § 984

Wird eine Sache, die so lange verborgen gelegen hat, daß der Eigentümer nicht mehr zu ermitteln ist (Schatz), entdeckt und infolge der Entdeckung in Besitz genommen, so wird das Eigentum zur Hälfte von dem Entdecker, zur Hälfte von dem Eigentümer der Sache erworben, in welcher der Schatz verborgen war.

## **Vierter Titel Ansprüche aus dem Eigentum**

### § 1000

Der Besitzer kann die Herausgabe der Sache verweigern, bis er wegen der ihm zu ersetzenden Verwendungen befriedigt wird. Das Zurückbehaltungsrecht steht ihm nicht zu, wenn er die Sache durch eine vorsätzlich begangene unerlaubte Handlung erlangt hat.

### § 1001

Der Besitzer kann den Anspruch auf den Ersatz der Verwendungen nur geltend machen, wenn der Eigentümer die Sache wiedererlangt oder die Verwendungen genehmigt. Bis zur Genehmigung der Verwendungen kann sich der Eigentümer von dem Anspruch dadurch befreien, daß er die wiedererlangte Sache zurückgibt. Die Genehmigung gilt als erteilt, wenn der Eigentümer die ihm von dem Besitzer unter Vorbehalt des Anspruchs angebotene Sache annimmt.

### § 1002

(1) Gibt der Besitzer die Sache dem Eigentümer heraus, so erlischt der Anspruch auf den Ersatz der Verwendungen mit dem Ablauf eines Monats, bei einem Grundstück mit dem Ablauf von sechs Monaten nach der Herausgabe, wenn nicht vorher die gerichtliche Geltendmachung erfolgt oder der Eigentümer die Verwendungen genehmigt.

(2) Auf diese Fristen finden die für die Verjährung geltenden Vorschriften der §§ 203, 206, 207 entsprechende Anwendung.

### § 1003

(1) Der Besitzer kann den Eigentümer unter Angabe des als Ersatz verlangten Betrags auffordern, sich innerhalb einer von ihm bestimmten angemessenen Frist darüber zu erklären, ob er die Verwendungen genehmige. Nach dem Ablauf der Frist ist der Besitzer berechtigt, Befriedigung aus der Sache nach den Vorschriften über den Pfandverkauf, bei einem Grundstück nach den Vorschriften über die Zwangsvollstreckung in das unbewegliche Vermögen zu suchen, wenn nicht die Genehmigung rechtzeitig erfolgt.

(2) Bestreitet der Eigentümer den Anspruch vor dem Ablauf der Frist, so kann sich der Besitzer aus der Sache erst dann befriedigen, wenn er nach rechtskräftiger Feststellung des Betrags der Verwendungen den Eigentümer unter Bestimmung einer angemessenen Frist zur Erklärung aufgefordert hat und die Frist verstrichen ist; das Recht auf Befriedigung aus der Sache ist ausgeschlossen, wenn die Genehmigung rechtzeitig erfolgt.

出典 : Gesetze im Internet (<http://bundesrecht.juris.de/bundesrecht/index.html>)

---

ドイツ -管轄一覧 法秩序に関する任務(ZustKat Ord) -

---

管轄一覧 法秩序に関する任務(ZustKat Ord)

(第2条第4項第1段について)

第1章

市参事会<sup>1</sup>行政の法秩序に関する任務

第22項c 遺失・拾得物

遺失・拾得物に関する地区参事会<sup>2</sup>の法秩序に関する任務には、民法典第965条およびその他これに関連する法規の定める担当局の法秩序に関する任務が属する。

---

<sup>1</sup> 訳注：ベルリン市州政府のことをさす。

<sup>2</sup> 訳注：ベルリンの12の行政区の行政官庁をさす。

**Anlage**  
**zum Allgemeinen Sicherheits- und**  
**Ordnungsgesetz**

**Zuständigkeitskatalog Ordnungsaufgaben - ZustKat Ord**  
(zu § 2 Abs. 4 Satz 1)

**ZWEITER ABSCHNITT**  
**Ordnungsaufgaben der Bezirksämter**

**Nr. 22 c Fundwesen**

Zu den Ordnungsaufgaben der Bezirksämter gehören auf dem Gebiet des Fundwesens:  
die Ordnungsaufgaben der zuständigen Behörde nach den §§ 965 ff. des Bürgerlichen Gesetzbuches und den sonstigen in diesem Zusammenhang ergangenen Rechtsvorschriften.

## (2) フランス

---

フランス - 民法典 -

(Code Civil) 第 711 条～第 717 条、第 2279 条及び第 2280 条

---

## フランス共和国民法典 一般規定

### 第 711 条

財産の所有権は、相続、生前又は遺言による贈与、並びに債務の効果、により取得され、移転される。

### 第 712 条

所有権は、添付又は混和、並びに時効によっても取得される。

### 第 713 条

(2004年8月13日法第2004-809号 2004年8月17日官報第147Ⅱ項)

所有主の無い財産はその財産が所在する領域の市町村に属する。しかしながら、同市町村がその権利行使を放棄する場合は、所有権は正当に国家に移行する。

### 第 714 条

如何なる者にも属さないが、その使用がすべての者に共有される物が存在する。それを享受する態様は、警察法規により規定される。

### 第 715 条

狩猟を行い、又漁労を行なう権能も又、特別法規で規定される。

### 第 716 条

埋蔵物の所有権は、それを自身の土地に於いて見出す者に属する。埋蔵物が他者の土地内で見出される場合は、その2分の1は発見した者に、他の2分の1は当該土地の所有者に属する。

埋蔵物とは隠匿ないし埋蔵されていた物で、それについて、如何なる者も自己の所有権を証明できず、まったくの偶然により発見された物のすべてをいう。

### 第 717 条

海に投棄された物件、海が打ち上げる物はその性格の如何を問わず、それらに関する権利、さらに海岸に生育する植物及び草に関する権利も、特別法規により定められる。所有主の現われない遺失物についても同様である。

## 第 4 節：時効に関する若干の特例

### 第 2279 条

動産に関しては、占有は権原に値する。

しかしながら、何らかの物を遺失するか盗難被害に遭った者は、当該物を手中に保有している者に対して、遺失又は盗難の日から3年間はその返還を請求することができる。ただ

し、後者即ち現在の占有者が当該物を入手した相手に対して求償するについては、その限りではない。

#### 第 2280 条

(1892 年 7 月 11 日法)

盗品又は遺失物の現在の占有者が、当該物を、不定期市又は定期市で、あるいは公売又は同様の物品を売買する商人から購入した場合、本来の所有者は占有者が支払った対価を占有者に返済しなければその物の返還を受けることができない。

賃貸人が、その同意なしに搬出され、前項と同様の条件で買い取られた動産の返還請求を第 2102 条に基づき行なう場合も、購入者に対して、その買取り額を返済しなければならない。

**CODE CIVIL**  
**Dispositions générales**

Article 711

La propriété des biens s'acquiert et se transmet par succession, par donation entre vifs ou testamentaire, et par l'effet des obligations.

Article 712

La propriété s'acquiert aussi par accession ou incorporation, et par prescription.

Article 713

(Loi n° 2004-809 du 13 août 2004 art. 147 II Journal Officiel du 17 août 2004)

Les biens qui n'ont pas de maître appartiennent à la commune sur le territoire de laquelle ils sont situés. Toutefois, la propriété est transférée de plein droit à l'Etat si la commune renonce à exercer ses droits.

Article 714

Il est des choses qui n'appartiennent à personne et dont l'usage est commun à tous.  
Des lois de police règlent la manière d'en jouir.

Article 715

La faculté de chasser ou de pêcher est également réglée par des lois particulières.

Article 716

La propriété d'un trésor appartient à celui qui le trouve dans son propre fonds ; si le trésor est trouvé dans le fonds d'autrui, il appartient pour moitié à celui qui l'a découvert, et pour l'autre moitié au propriétaire du fonds.

Le trésor est toute chose cachée ou enfouie sur laquelle personne ne peut justifier sa propriété, et qui est découverte par le pur effet du hasard.

Article 717

Les droits sur les effets jetés à la mer, sur les objets que la mer rejette, de quelque nature qu'ils puissent être, sur les plantes et herbages qui croissent sur les rivages de la mer, sont aussi réglés par des lois particulières.

Il en est de même des choses perdues dont le maître ne se représente pas.

## CODE CIVIL

### Section 4 : De quelques prescriptions particulières

#### Article 2279

En fait de meubles, la possession vaut titre.

Néanmoins celui qui a perdu ou auquel il a été volé une chose peut la revendiquer pendant trois ans à compter du jour de la perte ou du vol, contre celui dans les mains duquel il la trouve ; sauf à celui-ci son recours contre celui duquel il la tient.

#### Article 2280

(Loi du 11 juillet 1892)

Si le possesseur actuel de la chose volée ou perdue l'a achetée dans une foire ou dans un marché, ou dans une vente publique, ou d'un marchand vendant des choses pareilles, le propriétaire originaire ne peut se la faire rendre qu'en remboursant au possesseur le prix qu'elle lui a coûté.

Le bailleur qui revendique, en vertu de l'article 2102, les meubles déplacés sans son consentement et qui ont été achetés dans les mêmes conditions, doit également rembourser à l'acheteur le prix qu'ils lui ont coûté.

出典 : legifrance (<http://www.legifrance.gouv.fr/WAspad/UnCode?code=CCIVILL0.rcv>)

---

フランス

—パリ警視庁遺失物課の組織態様に関するアレテ第 00-11481 号—

(Arrêté Préfectoraux de la Préfecture de Police n° 00-11481)

---

## パリ警視庁遺失物課の組織態様に関する第 00-11481 号アレテ

警視総監は下記の各法令に鑑み、以下の通り決定する。

所有者不明の物品に関する 1830 年 5 月 23 日付王令；

1947 年 7 月 12 日付警察令；

民法規定、とくに、第 539 条、717 条、1293 条（第 1 項）、1302 条、2279 条、2280 条；

新刑法規定、とくに、第 311-1 条以下の条文並びに第 R.610-5 条；

パリ地方再編に関する 1964 年 7 月 10 日法第 10 条、第 1 項；

本警視庁遺失物課は、パリ市並びにオー・ド・セーヌ県、セーヌ・サン・ドニ県、ヴァル・ド・マルヌ県に共通の利益に関わる警視総監管轄の部署であることを前提とする。

### 一般規定

#### 第 1 条

パリ市内の、公道、公共交通機関車輦内、公的な場所又は私的建造物の誰もが立ち入りできる付属建造物において、物品を見出した者は、24 時間以内に、警察署又はパリ 15 区、モリヨン通り 36 番地所在の警視庁遺失物課まで、その物品を届出なければならない。

#### 第 2 条

本アレテの規定は、発見者の如何を問わず、パリ市領域内で拾得した物品、並びにオー・ド・セーヌ県、セーヌ・サン・ドニ県、ヴァル・ド・マルヌ県の所管当局及び自治体がパリ警視庁遺失物課に寄託した遺失物に、関わるものである。

本規定は、その取り扱いを特別の法令規則で定めた物、及びフランス国有鉄道の付属建造物内で発見された物には適用されない。

### 施行形態

#### 第 3 条

パリ警視庁遺失物課は、当該物品を所有者に返還可能とするために必要な捜査を行なう責任を有する。

#### 第 4 条

遺失物の届出に際して、発見者は自分の氏名と住所を明らかにする義務はないが、一方、発見の日時、場所は明らかにしなければならない。

#### 第 5 条

保存の利かない消費物資で特別規則の対象とされないもの、及び商品価値がないか、あるいはほとんどない拾得物は、廃棄処分とする。

## 第6条

発見者に対しては受領証を交付する。場合により、そこに上記第5条に定める廃棄処分についての記載を行なう。

## 第7条

遺失物の保管期間はその物に認定される価値により異なる。本アレテの付属文書に示した表に従い、物品の類別ごとに保管期間を定める。

## 第8条

遺失物の遺失者又は所有者が規定の期間内に出頭すれば、当該遺失物に関する権利の証明を行い、身分証明及び住所を明らかにすれば、保管料金支払いと引換えに所有物の返還を行なう。

## 第9条

規定の期間が過ぎても遺失者又は所有者からの請求がない場合、発見者が請求すれば、身分証明、住所明示、届出受領証の提示を行なって、当該遺失物は発見者に引き渡される。

上の規定は下記の場合には適用されない。即ち：

- － 発見者が公務員で、その職務の一環として当該物を発見した場合。
- － 発見者が私的組織の従業員であり、その雇用主のための集荷業務の一環として当該物を発見した場合。

上記引渡しは、遺失者又は所有者あるいは発見者に関して、調査ないし確認を実施する必要がある場合、延期されることがある。

特別規則が適用される物品又は有価証券に関しては、現行法規で発見者への引渡しが許可される場合、引渡しは、上の法規に定める規定に従わない限り行なわれない。

しかしながら、遺失者は物品を遺失した日から3年間は、発見者に対して当該遺失物の返還を請求することができる。このことについて、警視庁遺失物課は発見者に伝達を行なうこととする。

## 第10条

請求のなかった遺失物は、1830年5月23日付王令の規定に従い、国有財産管理部に移管される。

## 第11条

保管期間を過ぎて遺失物が国有財産管理部に引き渡されている場合、遺失者又は所有者は、国有財産管理部に対し自らの権利を行使することができる。

## 第 12 条

遺失物がすでに発見者に引き渡されている場合、遺失者は遺失物課に連絡し、同課からその返還を発見者に請求する手続きを取ることができる。

### **RATP（パリ交通公団）交通網、空港、公的車輛内の遺失物**

## 第 13 条

RATP の鉄道・道路交通網で発見・拾得した物を、発見者は同交通公団の有資格職員に届けることができる。

これら拾得物の受付、集約、移送、返還は、警視総監承認の規則が定める条件に於いて実施される。

RATP の担当部署で返還が行なわれなかった遺失物は 24 時間以内に警視庁遺失物課に移送される。

## 第 14 条

パリの各空港で拾得した物を、発見者は同施設の有資格職員に届出ることができる。

これら遺失物の受付、集約、移送、返還は、警視総監承認の規則で定める条件の下で実施される。

空港の担当部署で返還が行なわれなかった遺失物は遅くとも 15 日以内に警視庁遺失物課に移送される。

## 第 15 条

タクシー・ハイヤー会社の運転手は、各乗車業務を終えて他の乗客を乗せる前に、車内に遺失物があればそれを拾得するため、車内点検を行なわなければならない。

その場で返還できなかった遺失物があれば、警視庁遺失物課又は所管の警察署に、24 時間以内に届出ることとする。

運行路線事務所又はハイヤーの車庫で発見された遺失物に関しては、管理者及びタクシー乗り場又は車庫の責任者が上の項で定めた義務に従うこととする。

タクシー・ハイヤー会社は、警視総監承認特別規則が定める施行形態に従い、自社業務に由来する遺失物を集約してその返還を図るか、あるいは警視庁遺失物課に引き渡すか、いずれかを行なうことができる。

## 公衆が出入りする施設内の遺失物

### 第 16 条

商店、喫茶店、展覧会場、公園のような、公衆が出入りできる施設の構内すべてにおいて、上記第 1 条に定める条件において、発見者名義で遺失物の届出が行なわれることを条件に、発見者は当該遺失物をその施設の管理者又はその受領を行なう資格のある係員に引き渡すことができる。

### 第 17 条

販売担当従業員 50 名以上を抱える小売店では、一般人又は従業員が拾得した遺失物に関して、管理責任者は以下の規定条項に従わねばならない。すなわち：

(1) 警視庁遺失物課承認の報告書に遺失物目録を作成し、そこに発見の場所と日時を明記するが、この目録記入は遺失物届出の時点で、発見者立会いの下で行なう。遺失物は 24 時間以内に警察署に、あるいは 5 日以内に直接、遺失物課に届けるものとする。届けられた遺失物は目録に記載され、個々の遺失物について責任免除証明書が発行される。

(2) 遺失物課は各遺失物について届出の受領証を作成する。

(3) 遺失物報告書は、有用と判断されるあらゆる確認を行なうため警察各部署からの請求があれば提示できるよう、保管しなければならない。

(4) 当該施設内で発見された遺失物は警視庁 (75015 パリ、モリヨン通り 36 番地、遺失物課) の管理下に置かれることについて、常時掲示を行なって一般への通告を行なうこととする。

(5) 当該施設管理責任者が遺失物の保管を許される 5 日の期間中、その返還請求者への返還はいずれの場合にも義務づけられることはないが、返還請求を受けて、自らの責任に於いて、かつその事実を上記に定めた報告書に記載することを条件に、同責任者が返還を実施することは可能である。

### 第 18 条

上記第 17 条の規定は、入場料を払った観客を受け入れる興行施設や集会ホールに適用され、例えば、劇場、映画館、コンサート・ホール、キャバレー、サーカス劇場、ミュージック・ホールなどがあるが、露天の施設は除く。

## 警察署に届けられる遺失物

### 第 19 条

第 16 条、第 17 条、第 18 条に定める場合を除き、警察署に届けられた遺失物については、警視庁遺失物課承認の報告書に、発見者立会いの下で記録し、ただちに受領証の発行を行なう。次いで警察署の管理と責任に於いて、遺失物は 5 日以内に警視庁遺失物課に移送されるが、各遺失物には上に記載の報告書が一部添付される。

遺失物がその重量、大きさ又は性格のために輸送と保管管理に特別な条件を要するものである場合は、その物が届けられてから 24 時間以内に、地元警察担当部署が引取り要請を警視庁遺失物課に対して行なうべきこととし、同遺失物課がその回収搬送に当る。

### 紛失届—返還

#### 第 20 条

紛失届は、直接又は警察署を介して警視庁遺失物課に提出するが、同課は所有者の搜索、必要と判断される捜査を実施し、又申立て人の権利に関し裁定を行なうについて管轄権限を有する。

#### 第 21 条<sup>3</sup>

1000 フランに等しいかそれ以下の価値の物、あるいは最高 1000 フランまでの現金の入った物を紛失した人が警察署に出頭し、そこにまだ当該の物がある場合、担当警視の責任に於いて直接の返還を行なうことができる。

遺失物課の職務時間外に於いては、1000 フランを超える価値があるか、それ以上の現金が入った物でも、例外的に緊急の場合は、担当警視の責任に於いて直接の返還を行なうことができる。

遺失物の価値の如何を問わず、警察署に於いて直接の返還を行なう場合はすべて、警視庁遺失物課にただちに書面による通知を行なわなければならない。

#### 第 22 条

遺失物の返還は警視庁遺失物課により実施されるが、本アレテ第 13、14、17、21 条に定める規定で処理される返還は例外とする。

### 制裁

#### 第 23 条

本アレテ規定に対する如何なる違反も、下記の新刑法第 R.610.5 条に定める刑に処される。即ち：『警察デクレ及びアレテに定められた禁止事項違反又は義務の不履行は、第一類違警罪について定める罰金刑に処する』

さらに、違反者はその故意の不正が証明された場合、同上刑法第 311-1 条以下の適用により、軽罪訴追を受けることがある。

---

<sup>3</sup> 本条項は、「パリ警視庁遺失物課の組織態様に関するアレテ第 00-11481 号を改正するアレテ第 01-17172 号」(2001 年 12 月 19 日)によって廃止

## 執行措置

### 第24条

警視庁遺失物課は本アレテ規定が定める期間内に移送されなかった遺失物を拒絶することができる。

### 第25条

本アレテに反する規定はすべて、廃止される。

### 第26条

警視総監、官房室長、交通・輸送・商務局長、公秩序・交通局長、近郊都市部警察局長は、各々の担当分野に於いて、本アレテの施行に責任を持つこととし、本アレテは『パリ市公報』及び『パリ市庁・警視庁行政文書集』にて公布される。

2000年9月4日 パリにて作成

フィリップ・マッソーニ

付属文書<sup>4</sup>

遺失物の保管期間

遺失物の性格	遺失者に与えられる自由処分期間	発見者場合によっては遺失者に与えられる自由処分期間	全保管期間
300 フランと同等又はそれ以上の価値が認められる物すべて	1 年	6 ヶ月	1 年半
300 フラン未満の価値が認められる物すべて	3 ヶ月	1 ヶ月	4 ヶ月

<sup>4</sup> 本付属文書は、「パリ警視庁遺失物課の組織態様に関するアレテ第 00-11481 号を改正するアレテ第 01-17172 号」(2001 年 12 月 19 日) によって廃止

## **PRÉFECTURE DE POLICE**

Arrêté n° 00-11481 concernant les modalités d'organisation du Service des Objets Trouvés de la Préfecture de Police.

### **Le Préfet de Police,**

Vu l'ordonnance royale en date du 23 mai 1830 sur les objets dont les propriétaires ne sont pas connus ;

Vu l'ordonnance de police du 12 juillet 1947 ;

Vu les dispositions du Code civil, notamment les articles 539, 717, 1 293 (1°), 1.302, 2.279 et 2.280 ;

Vu les dispositions du nouveau Code pénal, notamment les articles 311-1 et suivants et l'article R. 610-5 ; Vu l'article 10, alinéa 1, de la loi du 10 juillet 1964 portant réorganisation de la Région Parisienne ;

Considérant que le Service des Objets Trouvés de la Préfecture de Police est un service d'intérêt commun à la Ville de Paris et aux départements des Hauts-de-Seine, de la Seine-Saint-Denis et du Val-de-Marne, placé sous l'autorité du Préfet de Police.

## **ARRÊTE DISPOSITIONS GÉNÉRALES**

### Article 1er

Toute personne qui à Paris trouve un objet sur la voie publique, dans un véhicule servant au transport de voyageurs, dans un lieu public ou sur les dépendances accessibles à tous d'un immeuble privé, doit le déposer dans un délai de vingt-quatre heures, soit au commissariat de police, soit au Service des objets trouvés de la Préfecture de Police sis 36, rue des Morillons, à Paris 15e.

### Article 2

Les dispositions du présent arrêté concernent les objets recueillis sur le territoire de la Ville de Paris, ainsi que ceux confiés au service des objets trouvés de la Préfecture de Police par les autorités et collectivités publiques compétentes des départements des Hauts-de-Seine, de Seine-Saint-Denis et du Val-de-Marne, quels que soient les découvreurs.

Elles ne s'appliquent pas aux objets dont le sort est réglé par des lois et règlements particuliers et à ceux trouvés dans les dépendances de la Société Nationale des Chemins de Fer Français.

## MODALITÉS D'APPLICATION

### Article 3

Le service des objets trouvés de la Préfecture de Police est chargé de procéder aux investigations nécessaires aux fins de permettre la restitution de l'objet à son propriétaire.

### Article 4

Lors du dépôt d'un objet trouvé, l'inventeur n'est pas tenu de décliner ses nom et adresse; en revanche, il doit préciser le lieu, le jour et l'heure de la trouvaille.

### Article 5

Les denrées périssables, lorsqu'elles ne font pas l'objet d'une réglementation spéciale et les objets sans valeur marchande ou d'une valeur marchande négligeable sont détruits.

### Article 6

Un récépissé est délivré à l'inventeur. Le cas échéant, Il y est fait mention de la destruction prévue à l'article 5 ci-dessus.

### Article 7

Le délai de conservation des objets varie suivant la valeur reconnue à ceux-ci. Il est fixé pour chaque catégorie d'objets conformément au tableau joint en annexe au présent arrêté.

### Article 8

Si le perdant ou le propriétaire de l'objet se présente avant l'expiration du délai réglementaire, son bien lui est restitué sur justification de ses droits, de son identité et de son domicile et contre versement des droits de garde.

### Article 9

Après l'expiration du délai réglementaire, et en cas de non-réclamation par le perdant ou le propriétaire, l'inventeur est remis en possession de l'objet s'il en fait la demande, sur justification de son identité, de son domicile, et sur présentation du récépissé de dépôt.

Cette disposition ne s'applique pas lorsque :

- l'inventeur est un fonctionnaire qui a trouvé l'objet dans le cadre de sa mission.
- l'inventeur, employé d'un établissement privé, trouve l'objet dans le cadre d'une mission de collecte au profit de son employeur.

Cette remise peut être différée, s'il est nécessaire de procéder à une enquête ou à des vérifications concernant soit le perdant ou le propriétaire, soit l'inventeur.

En ce qui concerne les objets ou valeurs soumis à une réglementation spéciale, la remise à l'inventeur, lorsqu'elle est autorisée par la législation en vigueur, ne peut être effectuée que suivant les règles prévues par ladite législation.

Le perdant pourra cependant revendiquer l'objet contre l'inventeur pendant un délai de trois ans à compter du jour de la perte de l'objet. Cette information sera communiquée à l'inventeur par le service des objets trouvés de la Préfecture de Police.

#### Article 10

Les objets non réclamés sont livrés à l'administration des Domaines, conformément aux dispositions de l'ordonnance royale du 23 mai 1830.

#### Article 11

Lorsque l'objet, à l'expiration du délai de conservation, a été remis à l'administration des Domaines, il appartient au perdant ou à l'inventeur de faire valoir ses droits auprès de cette administration.

#### Article 12

Si l'objet a déjà été remis l'inventeur, il appartient au perdant de se rapprocher du Service des objets trouvés qui en réclamera à celui-ci la restitution.

### **OBJETS TROUVES SUR LES RÉSEAUX DE LA RÉGIE AUTONOME DES TRANSPORTS PARISIENS, DANS LES AÉROPORTS ET LES VOITURES PUBLIQUES**

#### Article 13

Les objets trouvés recueillis sur les réseaux ferré et routier de la RATP peuvent être remis par les inventeurs aux agents qualifiés de la Régie.

La réception, la centralisation, la transmission et la restitution de ces objets sont effectuées dans des conditions fixées par des règlements soumis à l'approbation du Préfet de Police.

Les objets non restitués par les services de la RATP sont acheminés dans un délai de 24 h au Service des objets trouvés de la Préfecture de Police.

#### Article 14

Les objets recueillis sur les aéroports parisiens peuvent être remis par les inventeurs aux agents qualifiés de ces établissements.

La réception, la centralisation, la transmission et la restitution de ces objets sont effectuées dans des

conditions fixées par les règlements soumis à l'approbation du Préfet de Police.

Les objets non restitués par les services des aéroports sont acheminés dans un délai de 15 jours maximum au Service des objets trouvés de la Préfecture de Police.

#### Article 15

Les conducteurs des compagnies de taxi et des voitures de place, doivent visiter leur véhicule après chaque course afin de recueillir, avant la prise en charge d'autres voyageurs, les objets qui y auraient été perdus.

Les objets qui n'auraient pu être restitués sur-le-champ seront déposés, dans les vingt-quatre heures, soit au service des objets trouvés de la Préfecture de Police, soit dans un commissariat de police du ressort.

Les contrôleurs et les chefs de station ou de garage sont soumis à l'obligation prévue au paragraphe précédent en ce qui concerne les objets trouvés dans les bureaux de ligne ou les dépôts de voitures de place.

Les compagnies de taxi et de voitures de place peuvent centraliser les objets trouvés provenant de leur exploitation et en assurer la restitution, ou la remise au Service des objets trouvés, suivant les modalités déterminées par des règlements particuliers soumis à l'approbation du Préfet de Police.

### **OBJETS TROUVES DANS LES ÉTABLISSEMENTS RECEVANT LE PUBLIC**

#### Article 16

Dans toute enceinte où le public est admis, notamment dans les magasins de commerce, cafés, expositions, jardins publics, les objets trouvés peuvent être remis par les inventeurs à l'exploitant ou au préposé qualifié pour les recevoir, à charge pour celui-ci de les déposer au nom de l'inventeur, dans les conditions prévues à l'article 1er ci-dessus.

#### Article 17

Dans les magasins de détail occupant plus de 50 employés à la vente, la direction doit se conformer aux prescriptions suivantes, en ce qui concerne les objets trouvés par le public ou par le personnel :

1° Les objets sont répertoriés sur des rapports agréés par le service des objets trouvés où mention est notamment faite de l'endroit, de la date et de l'heure de la découverte; cet inventaire a lieu au moment du dépôt et en présence de l'inventeur; Les objets doivent être acheminés dans un délai de vingt-quatre heures au commissariat de police ou dans un délai de cinq jours directement au Service

des objets trouvés. Ces objets sont répertoriés et décharge est donnée pour chaque objet ;

2° Le service des objets trouvés établit, pour chaque objet, un récépissé de dépôt ;

3° Les rapports de découverte doivent être conservés pour être présentés sur demande des services de police, pour toutes vérifications jugées utiles ;

4° Le public est avisé par une affiche permanente que les objets trouvés dans l'établissement sont dirigés sur la Préfecture de Police (Service des Objets Trouvés 36, rue des Morillons, 75015 Paris) ;

5° Au cours des cinq jours pendant lesquels la direction de l'établissement est autorisée à conserver les objets, celle-ci n'est tenue en aucun cas de les restituer aux réclamants; elle peut néanmoins procéder aux restitutions qui lui sont demandées, sous sa responsabilité et à condition que ces opérations soient répertoriées sur les rapports prévus ci-dessus.

#### Article 18

Les dispositions de l'article 17 ci-dessus s'appliquent aux établissements de spectacles et salles de réunion recevant un public payant, tels que théâtres, cinémas, salles de concert, cabarets, cirques, music-halls, etc... à l'exception des établissements forains.

### **OBJETS DÉPOSÉS DANS LES COMMISSARIATS DE POLICE**

#### Article 19

Sauf dans les cas prévus aux articles n° 16, 17 et 18, les objets déposés dans les commissariats de police sont enregistrés sur des rapports agréés par le Service des objets trouvés en présence de l'inventeur à qui un récépissé est délivré séance tenante. Ils sont ensuite transmis au Service des objets trouvés de la Préfecture de Police dans un délai maximum de cinq jours, par les soins et sous la responsabilité des commissariats, chaque objet étant accompagné d'un exemplaire du rapport précité.

Les objets qui, en raison de leur poids, de leur encombrement ou de leur nature exigent des conditions spéciales de transport et de magasinage sont transportés par le Service des objets trouvés auquel la demande d'enlèvement doit être adressée par le service local de police dans les vingt-quatre heures suivant le dépôt.

### **DÉCLARATIONS DE PERTE - RESTITUTIONS**

#### Article 20

Les déclarations de perte sont adressées soit directement, soit par l'entremise des commissariats de

police, au Service des objets trouvés, compétent pour rechercher les propriétaires, procéder s'il y a lieu, aux investigations jugées nécessaires et statuer sur les droits des réclamants.

#### Article 21

Lorsque le perdant d'un objet d'une valeur égale ou inférieure à 1 000 F ou contenant des espèces d'un montant maximal de 1 000 F se présente au commissariat de police où l'objet se trouve encore, celui-ci peut lui être restitué directement, sous la responsabilité du commissaire de police intéressé.

Pendant les heures de fermeture du service, les objets d'une valeur supérieure ou contenant des espèces d'un montant supérieur à 1 000 F peuvent, dans le cas d'urgence exceptionnelle, être restitués directement par les commissaires de police et sous leur responsabilité.

Toute restitution directe d'un objet, quelle qu'en soit la valeur, effectuée dans un commissariat doit être immédiatement signalée par écrit au service des objets trouvés.

#### Article 22

Les restitutions sont faites par le service des objets trouvés, à l'exception de celles qui sont réglées par les dispositions prévues aux articles 13, 14, 17 et 21 du présent arrêté.

### **SANCTIONS**

#### Article 23

Toute infraction aux dispositions du présent arrêté est passible de peines prévues à l'article R.610.5 du nouveau code pénal : «la violation des interdictions ou le manquement aux obligations édictées par les décrets et arrêtés de police sont punis d'une amende prévue pour les contraventions de 1ère classe».

En outre, le contrevenant s'expose, si l'intention frauduleuse est établie, à des poursuites correctionnelles en application de l'article 311-1 et suivants du même code.

### **MESURES D'EXÉCUTION**

#### Article 24

Le Service des objets trouvés pourra refuser les objets qui n'auraient pas été acheminés dans les délais prévus par les dispositions du présent arrêté.

#### Article 25

Toutes les dispositions contraires au présent arrêté sont abrogées.

#### Article 26

Le Préfet, Directeur du Cabinet, le Directeur de la Circulation, des Transports et du Commerce, le Directeur de l'Ordre Public et de la Circulation, le Directeur de la Police Urbaine de Proximité, sont chargés, chacun en ce qui le concerne, de l'exécution du présent arrêté, qui sera publié au «Bulletin Municipal Officiel de la Ville de Paris» et au «Recueil des Actes Administratifs de la Préfecture de Paris et de la Préfecture de Police».

Fait à Paris, le 4 septembre 2000

Philippe MASSONI

#### Annexe

##### **DELAIS DE CONSERVATION DES OBJETS TROUVES**

NATURE DES OBJETS	A LA DISPOSITION DU PERDANT	A LA DISPOSITION DE L'INVENTEUR ET ÉVENTUELLEMENT DU PERDANT	DÉLAI TOTAL DE CONSERVATION
Tout objet d'une valeur reconnue supérieure ou égale à 300 F	1 an	6 mois	1 an et demi
Tout objet d'une valeur reconnue inférieure à 300 F	3 mois	1 mois	4 mois

出典 : Préfecture de Police de Paris

(<http://www.prefecture-police-paris.interieur.gouv.fr/documentation/arrete/liste.htm#pref>)

---

フランス

- 第 00-11481 号アレテを改正するアレテ第 01-17172 号 -

(Arrêté Préfectoraux de la Préfecture de Police n° 01-17172)

---

**警視庁遺失物課の組織態様に関する 2000 年 9 月 4 日付第 00-11481 号アレテを  
改正するアレテ第 01-17172 号**

警視総監は下記の各法令に鑑み、以下の通り決定する。

所有者不明の物品に関する 1830 年 5 月 23 日付王令；

1947 年 7 月 12 日付警察令；

民法規定、特に第 539 条、717 条、1293 条（第 1 項）、1302 条、2279 条、2280 条；

新刑法規定、特に第 311-1 条以下の条文並びに第 R.610-5 条；

地方公共団体一般法典、特に第 L 2512-13 条；

警視庁遺失物課の組織態様に関する 2000 年 9 月 4 日付第 00-11481 号パリ警視庁アレテ；

本警視庁遺失物課は、パリ市並びにオー・ド・セーヌ県、セーヌ・サン・ドニ県、ヴァル・ド・マルヌ県に共通の利益に関わる警視総監管轄の部署であることを前提とする。

**第 1 条**

2000 年 9 月 4 日付第 00-11481 号アレテ第 21 条規定を廃止し、以下の規定に差し替える：

150 ユーロに等しいかそれ以下の価値の物、あるいは最高 150 ユーロまでの現金の入った物を紛失した者が警察署に出頭し、そこにまだ当該の物がある場合、担当警視の責任において直接の返還を行なうことができる。遺失物課の職務時間外においては、150 ユーロを超える価値があるか、それ以上の現金が入った物でも、例外的に緊急の場合は、担当警視の責任に於いて直接の返還を行なうことができる。遺失物の価値の如何を問わず、警察署に於いて直接の返還を行なう場合はすべて、警視庁遺失物課に直ちに書面による通知を行なわなければならない。

## 第2条

「遺失物の保管期間」と題する2000年9月4日付第00-11481号アレテ付属文書の規定を廃止し、以下の規定に差し替える：

遺失物の性格	遺失者に与えられる自由処分期間	発見者 場合によっては遺失者に与えられる自由処分期間	全保管期間
50ユーロと同等又はそれ以上の価値が認められる物すべて	1年	6ヶ月	1年半
50ユーロ未満の価値が認められる物すべて	3ヶ月	1ヶ月	4ヶ月

## 第3条

本アレテに反する規定はすべて、廃止される。

## 第4条

警視総監、官房室長、交通・輸送・商務局長、公秩序・交通局長、近郊都市部警察局長は、各々の担当分野に於いて、本アレテの施行に責任を持つこととし、本アレテは『パリ市公報』及び『パリ市庁・警視庁行政文書集』にて公布される。

2001年12月19日 パリにて作成

ジャン=ポール・プルースト

## PRÉFECTURE DE POLICE

Arrêté n° 01-17172 modifiant l'arrêté n° 00-11481 du 4 septembre 2000 concernant les modalités d'organisation du Service des Objets trouvés de la Préfecture de Police.

### **Le Préfet de Police,**

Vu l'ordonnance royale en date du 23 mai 1830 sur les objets dont les propriétaires ne sont pas connus;

Vu l'ordonnance de police du 12 juillet 1947;

Vu les dispositions du Code civil, notamment les articles 539, 717, 1293 (1°), 1302, 2279 et 2280;

Vu les dispositions du nouveau Code pénal, notamment les articles 311-1 et suivants et l'article R. 610-5;

Vu le Code général des collectivités territoriales, notamment son article L 2512-13;

Vu l'arrêté préfectoral n° 00-11481 du 4 septembre 2000 concernant les modalités d'organisation du Service des Objets trouvés de la Préfecture de Police;

Considérant que le Service des Objets trouvés de la Préfecture de Police est un service d'intérêt commun à la Ville de Paris et aux départements des Hauts-de-Seine, de Seine-Saint-Denis et du Val-de-Marne, placé sous l'autorité du Préfet de Police,

## ARRÊTE

### Article 1er

Les dispositions de l'article 21 de l'arrêté n° 00-11481 du 4 septembre 2000 sont abrogées et remplacées comme suit :

« Lorsque le perdant d'un objet d'une valeur égale ou inférieure à 150e ou contenant des espèces d'un montant maximal de 150e se présente au commissariat de Police où l'objet se trouve encore, celui-ci peut lui être restitué directement, sous la responsabilité du commissaire de Police intéressé. Pendant les heures de fermeture du service, les objets d'une valeur supérieure ou contenant des espèces d'un montant supérieur à 150e peuvent, dans le cas d'urgence exceptionnelle, être restitués directement par les commissaires de Police et sous leur responsabilité. Toute restitution directe d'un objet, quelle qu'en soit la valeur, effectuée dans un commissariat doit être immédiatement signalée par écrit au Service des Objets trouvés. »

### Article 2

Les dispositions de l'annexe de l'arrêté n° 00-11481 du 4 septembre 2000 intitulée « Délais de conservation des Objets trouvés » sont abrogées et remplacées par les suivantes :

Nature des objets	A la disposition du perdant	A la disposition de l'inventeur et éventuellement du perdant	Délai total de conservation
Tout objet d'une valeur reconnue supérieure ou égale à 50 €	1 an	6 mois	1 an et demi
Tout objet d'une valeur reconnue inférieure à 50 €	3 mois	1 mois	4 mois

#### Article 3

Toutes les dispositions contraires au présent arrêté sont abrogées.

#### Article 4

Le Préfet, Directeur du Cabinet, le Directeur de la Circulation, des Transports et du Commerce, le Directeur de l'Ordre Public et de la Circulation et le Directeur de la Police Urbaine de Proximité, sont chargés, chacun en ce qui le concerne, de l'exécution du présent arrêté, qui sera publié au « Bulletin Municipal Officiel de la Ville de Paris » et au « Recueil des Actes Administratifs de la Préfecture de Paris et de la Préfecture de Police ».

Fait à Paris, le 19 décembre 2001

Jean-Paul PROUST

出典 : Préfecture de Police de Paris

(<http://www.prefecture-police-paris.interieur.gouv.fr/documentation/arrete/liste.htm#pref>)

---

フランス

- 遺失物保管料金を定めるアレテ第 2004-18253 号 -

(Arrêté Préfectoraux de la Préfecture de Police n° 2004-18253)

---

## 遺失物保管料金を定めるアレテ 第 2004-18253 号

警視総監は、下記法規等に鑑み、以下の通り決定する。

地方公共団体一般法典；

2005 年度パリ警視庁特別予算の採択に関わり、かつ、役務に対する強制手数料並びに予算貢献のために徴収される手数料及び課金の引き上げ認可を行なう、2004 年 12 月 13、14 両日パリ県議会決議第 2004 P.P. 142 号；

以下の決定は、財務・公的発注・履行達成担当局長の提案に基づいて行なうものである。

### 第 1 条

警視庁に届けられ、遺失者又は所有者に返還されたすべての遺失物に関わる保管手数料の金額を、2005 年 1 月 1 日より、5 ユーロ 10 サンティーム (5.10 euros) と定める。

届出当日の時価ないし評価額が 762 ユーロを超える物については、3%の従価手数料を徴収する。

上記の手数は 5.10 ユーロの固定手数料に加えて徴収されるが、762 ユーロを超過する金額又は評価額のみがその対象となる。

### 第 2 条

警視庁遺失物課の行なう返還が、国の身分証明書、運転免許証、並びに当日時点で又は将来に於いて無償で発行されるフランス国の公式文書すべてに関わる場合、保管手数料の徴収は行なわない。

### 第 3 条

相当する徴収益は、警視庁特別予算運用部門・現物会計 70688、条項 921-1221、項目 921 にて、確認を行なう。

### 第 4 条

2003 年 12 月 18 日付アレテ第 2003-16589 号は、2005 年 1 月 1 日以降、廃止される。

### 第 5 条

財務・公的発注・履行達成担当局長、輸送・公衆警護局長は、各々の担当分野に於いて、『パリ市公報』に公布される本アレテの施行に責任をもつこととする。

2004 年 12 月 17 日 パリにて作成

ピエール・ムッツ

## **PRÉFECTURE DE POLICE**

Arrêté n° 2004-18253 fixant le montant des droits de garde des objets trouvés.

Le Préfet de Police,

Vu le Code général des collectivités territoriales ;

Vu la délibération du conseil de Paris n° 2004 P.P. 142 des 13 et 14 décembre 2004 portant adoption du budget spécial de la Préfecture de Police pour 2005 et autorisant le relèvement des diverses taxes pour services rendus, droits et tarifs perçus au profit dudit budget ;

Sur la proposition du directeur des finances, de la commande publique et de la performance,

### **ARRETE :**

#### Article 1er

Le montant des droits de garde pour tous les objets trouvés déposés à la Préfecture de Police et restitués aux perdants ou aux propriétaires est fixé à cinq euros et dix centimes (5,10 €) à compter du 1er janvier 2005.

Un droit ad valorem de 3 % est perçu sur les objets dont le montant ou l'estimation au jour du dépôt est supérieur à 762 €.

Ce droit est perçu en sus du droit fixe de 5,10 €, mais seulement sur le montant de la somme ou valeur dépassant 762 €.

#### Article 2

La restitution par le service des objets trouvés des cartes nationales d'identité, des permis de conduire ainsi que de toute pièce officielle française délivrée gratuitement à ce jour et dans l'avenir ne donne pas lieu à perception d'un droit de garde.

#### Article 3

Les recettes correspondantes sont constatées au chapitre 921, article 921-1221, compte nature 70688 de la section de fonctionnement du budget spécial de la Préfecture de Police.

#### Article 4

L'arrêté n° 2003-16589 du 18 décembre 2003 est abrogé à compter du 1er janvier 2005.

#### Article 5

Le directeur des finances, de la commande publique et de la performance et le directeur des transports et de la protection du public sont chargés, chacun en ce qui le concerne, de l'exécution du présent arrêté qui sera publié au « Bulletin Municipal Officiel de la Ville de Paris ».

Fait à Paris, le 17 décembre 2004

Pierre MUTZ

出典 : Préfecture de Police de Paris

(<http://www.prefecture-police-paris.interieur.gouv.fr/documentation/arrete/liste.htm#pref>)

(3) 英 国

---

英国 - 警察(財產)法 -  
(Police (Property) Act 1897)

---

**1897年警察（財産）法**  
**1897年 第30章**

**警察の保管下にある財産の処分についてさらなる定めを設ける法律**

[1897年8月6日]

**1 警察の保管下にある財産について命令を発する権限**

(1) [犯罪容疑の警察捜査に]関連して財産を警察が保管するに至った場合には...略式裁判所は、警察官又は財産請求人より申請があれば、その所有者として下級判事のもと又は裁判所に出頭した者に当該財産を引き渡す命令を発し、又は所有者を確認できない場合には、当該財産に関して下級判事、又は裁判所にとって適切と思われる命令を発することができる。

(2) 本条による命令は、財産回復の命令により引き渡された財産を保持している者に対して、当該命令の日より6ヵ月以内に法的手続をとる他者の権利を害するものではないが、ただしこの6ヵ月の期間が経過すれば、その権利は失効する。

**改正事項**

北アイルランドに関しては、1998年警察（北アイルランド）法第74条別表6により廃止される。

発効日：1999年4月1日。1999年警察（1998年法）（開始第3号）命令（北アイルランド）、SI 19991176、第3章を参照。

第(1)項：角括弧内の語句を1972年刑事訴訟法第58条及び1997年警察（財産）法第4条(1)項により差し替え。語句の削除；1968年盗難法第33条(3)項、第36条(2)項並びに(3)項、別表3、第III部、1974年消費者信用法第192条(3)項(b)、別表5、第I部、及び1989年制定法（撤回）法により撤回。

第(3)項：1989年制定法（撤回）法により撤回。

**適用範囲**

本法の適用はスコットランドには及ばない。第3条(1)項参照。

**2 警察の保管下にある未請求財産に関する規則**

(1) 国務大臣は、本章に述べた状況において警察が保管するに至った財産に関して、当該財産の所有者が確認できず、それについて管轄裁判所から何ら命令が発せられていない場合のその処分について規則を設けることができる。

(2) 当該規則に基づき、かかる財産の売却、及び以下の目的のすべて又は一部に対するかかる売却の代金の充当並びに所有者が確認できない金銭の充当について、認可を与えること

ができる。

- (a) 規則執行の経費、
- (b) 当該財産を警察の保管に委ねた者に対する妥当な報奨金の支払い、
- (c) 釈放された元被収監者、又は被収監者もしくは釈放された元被収監者に扶養される者のための支払い、又は
- (d) 国務大臣が適切とみなす他の目的。

[2A) 本規則はまた、財産が金銭以外の場合であって、

- (a) 当該財産が1年にわたって警察の保管下にあった場合、
  - (b) 本規則により警察が当該財産を売却する権限を有するに至る場合、
  - (c) 関係当局の見解において当該財産を警察の目的のために利用し得る場合、及び
  - (d) 関係当局が、本規則により定める方法により、当該財産を自ら保有すべきであると決定した場合には、
- 関係当局が、その決定の時点において、又は本規則により特定する後日において、当該財産の所有者となる旨を定めることができる。

(2B) 前記(2A)項において「関係当局」とは-

- (a) イングランド及びウェールズにおける...警察管区に関しては、(本法の意味における)警察当局、
- (b) ...
- (c) 北アイルランドに関しては北アイルランド警察当局をいう。

[2B) 前記(2A)項の適用において「関係当局」とは警察当局である。]

- (3) 当該財産が腐敗しやすい、又はその保管が法外な経費もしくは不便を伴う場合には、これをいつでも売却することができるが、ただしその売却の代金は、警察がこれを1年間保管するまでは処分してはならない。その他の場合においては、警察が当該財産を1年間保管するまでは、これを処分してはならない。

- (4) 当該規則はまた、金銭の投資及び会計の監査についても定めることができる。

[4A) 当該規則はまた、前記(2A)項(d)に該当する諸決定の公表についても定めることができる。]

- (5) 本規則は、その対象とする財産が警察に保管されるに至った時点が本規則の制定の・・・前であるか後であるかを問わず適用される。

- (6) イングランド及びウェールズに関しては、本条による規則制定の権限は、委任立法により行使することができるものとし、当該権限を行使するために発せられた委任立法は、上院又は下院の決議に従って無効とされることがある。

(7) 北アイルランドに関しては、本条により規定を設ける権限は 1979 年 (北アイルランド) 行政規則令の適用に関する行政規則により行使することができるものとし、当該権限を行使するために定められた規則は、委任立法と同様の方法にて上院又は下院の決議に従って無効とされることがあり、それに従って 1946 年委任立法第 5 条が適用される]

**Police (Property) Act 1897**  
**1897 CHAPTER 30**

An Act to make further provision with respect to the Disposal of Property in the Possession of the Police

[6th August 1897]

**1 Power to make orders with respect to property in possession of police**

(1) Where any property has come into the possession of the police in connexion [with their investigation of a suspected offence] . . . , a court of summary jurisdiction may, on application, either by an officer of police or by a claimant of the property, make an order for the delivery of the property to the person appearing to the magistrate or court to be the owner thereof, or, if the owner cannot be ascertained, make such order with respect to the property as to the magistrate or court may seem meet.

(2) An order under this section shall not affect the right of any person to take within six months from the date of the order legal proceedings against any person in possession of property delivered by virtue of the order for the recovery of the property, but on the expiration of those six months the right shall cease.

**Amendment**

Repealed, in relation to Northern Ireland, by the Police (Northern Ireland) Act 1998, s 74, Sch 6.

Date in force: 1 April 1999: see the Police (1998 Act) (Commencement No 3) Order (Northern Ireland) 1999, SI 1999/176, art 3.

Sub-s (1): words in square brackets substituted by the Criminal Justice Act 1972, s 58 and the Police (Property) Act 1997, s 4(1); words omitted repealed by the Theft Act 1968, ss 33(3), 36(2), (3), Sch 3, Part III, the Consumer Credit Act 1974, s 192(3)(b), Sch 5, Part I, and the Statute Law (Repeals) Act 1989.

Sub-s (3): repealed by the Statute Law (Repeals) Act 1989.

**Extent**

This Act does not extend to Scotland: see s 3(1).

**2 Regulations with respect to unclaimed property in possession of police**

(1) A Secretary of State may make regulations for the disposal of property which has come into the possession of the police under the circumstances mentioned in this Act in cases where the owner of

the property has not been ascertained and no order of a competent court has been made with respect thereto.

(2) The regulations may authorise the sale of any such property, and the application of the proceeds of any such sale, and the application of any money of which the owner cannot be ascertained, to all or any of the following purposes:—

- (a) the expenses of executing the regulations;
- (b) the payment of reasonable compensation to any person by whom the property has been delivered into the possession of the police;
- (c) the making of payments for the benefit of discharged prisoners or of persons dependent on prisoners or discharged prisoners; or
- (d) such other purposes as the Secretary of State may consider expedient.

[(2A) The regulations may also provide that where, in the case of property other than money—

- (a) the property has remained in the possession of the police for a year,
- (b) the police would under the regulations have power to sell the property,
- (c) in the opinion of the relevant authority, the property can be used for police purposes, and
- (d) the relevant authority determine, in such manner as may be prescribed by the regulations, that the property is to be retained by the authority,

the relevant authority is to become the owner of the property on the making of the determination or at such later time as the regulations may specify.

(2B) In subsection (2A) above “the relevant authority” means—

- (a) in relation to a police area in England and Wales . . . , the police authority (within the meaning of that Act);
- (b) . . .
- (c) in relation to Northern Ireland, the Police Authority for Northern Ireland.

[(2B) The relevant authority for the purposes of subsection (2A) is the police authority.]

(3) Where the property is a perishable article or its custody involves unreasonable expense or inconvenience it may be sold at any time, but the proceeds of sale shall not be disposed of until they have remained in the possession of the police for a year. In any other case the property shall not be sold until it has remained in the possession of the police for a year.

(4) The regulations may also provide for the investment of money and for the audit of accounts.

[(4A) The regulations may also provide for the publication of determinations falling within subsection (2A)(d) above.]

(5) The regulations shall apply whether the property to which they relate has come into the

possession of the police before or after . . . the making of the regulations.

[(6) In relation to England and Wales, the power to make regulations under this section is exercisable by statutory instrument; and a statutory instrument made in the exercise of that power is subject to annulment in pursuance of a resolution of either House of Parliament.

(7) In relation to Northern Ireland, the power to make regulations under this section is exercisable by statutory rule for the purposes of the Statutory Rules (Northern Ireland) Order 1979; and regulations made in the exercise of that power are subject to annulment in pursuance of a resolution of either House of Parliament in like manner as a statutory instrument and section 5 of the Statutory Instruments Act 1946 shall have effect accordingly.]

出典： car-crime.com ([http://www.car-crime.com/police\\_property\\_act.htm](http://www.car-crime.com/police_property_act.htm))

---

英国 - 警察(財產)法 -

(Police (Property) Act 1997)

---

**1997年警察（財産）法**  
**1997年 第30章**

条項の配列

条項

1. 未請求財産を留保する警察当局の権限
2. 犯罪に使用された、又は使用が意図された財産の処分：イングランド及びウェールズ
3. 犯罪に使用された、又は使用が意図された財産の処分：北アイルランド
4. 1897年警察（財産）法再改正：北アイルランド
5. 1874年警察隊（アイルランド）法第9条の廃止
6. スコットランドにおいて警察に拘留された者が携行等している財産
7. 略称、発効及び適用範囲

警察の保管下にある財産に関する追加規定を設ける法律

[1997年3月19日]

女王陛下は、招集中の本議会において上院及び下院の助言と同意により、また、その権限に従って以下の通り制定され賜う。

**未請求財産を留保する警察当局の権限**

1. (1) 1897年警察（財産）法第2条

(警察の保管下にある未請求財産に関する規定)を以下の通り改正する。

(2) (2)項の後に以下を挿入する-

「(2A) 金銭以外の財産については、当該規定はさらに-

- (a) 当該財産が1年間にわたって警察の保管下にあった場合、
- (b) 当該規定により警察が財産を売却する権限を有する場合、
- (c) 関係当局の見解において、当該財産を警察の目的に利用することが可能と認められる場合、かつ
- (d) 関係当局が、財産を当局が保管すべきことを、規定により定める方法により決定した場合には、

関係当局はかかる決定をなす時点において、又は規定により特定する後日において、当該財産の所有者となる旨を定めることができる。

(2B) 前記(2A)項において「関係当局」とは-

- (a) 1996年警察法別表1に列挙された、イングランド及びウェールズにおける警察管区又はロンドン・シティ警察管区に関しては、(その法律の意味における)警察当局、
- (b) ロンドン警視庁管轄区域に関しては、ロンドン警視庁会計官、
- (c) 北アイルランドに関しては北アイルランド警察当局。」

(3) (4) 項の後に以下を挿入する-

「(4A) 本規定はまた、前記(2A)項(d)の範囲内における決定の公表について定めることができる。」

(4)以下を(6)項に差し替える-

"(6)イングランド及びウェールズに関しては、本条により規定を設ける権限は委任立法により行使することができるものとし、当該権限を行使するために発せられた委任立法は、上院又は下院の決議に従って無効とされることがある。

(7)北アイルランドに関しては、本条により規定を設ける権限は1979年(北アイルランド)行政規則令の適用に関する行政規則により行使することができるものとし、当該権限を行使するために定められた規定は、委任立法と同様に上院又は下院の決議に従って無効とされることがあり、1946年委任立法令第5条が適用される。」

#### イングランド及びウェールズにおいて犯罪目的に使用された、又は使用が意図された、財産の処分

2. (1) 1973年刑事裁判所権限法第43条(犯罪目的に使用された、又は使用が意図された、犯罪者から剥奪する権限)を以下の通り改正する。

(2) (5)項において-

(a) 「第2条(1)」を「第2条」に差し替え、

(b) 主語の後に「下記(6)項の定めに従って」を挿入し、かつ

(c) 「処分規定」の後に「(関係当局に帰属させることによる処分を含む)」を挿入する。

(3)同項の後に以下を挿入する-

「(6) 本規定では、本法第43条Aに従って命令発布の対象となった財産を関係当局に帰属させることを定めてはならない。

(7) 1897年警察(財産)法第2条(2A)(a)又は(3)におけるいかなる規定も、前記(5)項により同条に基づいて規定を設ける権限を制約するものではない。

(8) 前記(5)及び(6)項にいう「関係当局」とは1897年警察(財産)法第2条(2B)により付与された意味を有する。」

#### 北アイルランドにおいて犯罪目的に使用された、又は使用が意図された、財産の処分

3. (1) 1994年(北アイルランド)刑事訴訟令第11章(犯罪目的に使用された、又は使用が意図された、財産を犯罪者から剥奪する権限)を以下の通り改正する。

(2) (8)項において-

(a) 「第2条(1)」を「第2条」に差し替え、

(b) 主語の後に「下記(8A)項の定めに従って」を挿入し、かつ

(c)「処分規定」の後に「(北アイルランド警察当局に帰属させることによる処分を含む)」を挿入する。

(3)同項の後に以下を挿入する-

「(8A) 該規定では、第 12 条に従って命令発布の対象となった財産を北アイルランド警察当局に帰属させることを定めてはならない。

(8B) 1897 年警察 (財産) 法第 2 条(2A)(a)又は(3)におけるいかなる規定も、前記(8)項により同条に基づいて規定を設ける権限を制約するものではない。」

#### **1897 年警察 (財産) 法再改正 : 北アイルランド**

4. (1) 1897 年警察 (財産) 法第 1 条(1) (刑事告発に関連して警察の保管下に入った財産に関して命令を発する裁判所の権限) において、「刑事告発に」を「違法行為容疑の捜査に」に差し替える。

(2) (北アイルランド法の適用における国務大臣への言及を修正し、その効力を失った) 同法第 3 条 (2) をここに廃止する。

#### **1874 年警察隊 (アイルランド) 法 第 9 条の廃止**

5. (拾得されたか又は盗難にあったが未請求の金銭及び物品に関して規定を設ける) 1874 年警察隊 (アイルランド) 法第 9 条をここに廃止する。

#### **スコットランドにおいて警察に拘留されたものが携行等している財産**

6. (1) 1982 年市民行政 (スコットランド) 法を以下の通り改正する。

(2)第 80 条 (同法第 VII 部の適用) 中、(2) 項(b)を下記に差し替える-

「(b) 刑事訴訟手続における提出物である、もしくは提出物として請求されることがあり得ると検察官が決定するか、又はかかる手続に関連する他の何らかの目的のために請求される、もしくは請求されることがあり得ると検察官が決定する財産、」

(3)第 83 条 (警察に拘留された者が携行している一定の財産に関する規定)において-

(a)初出個所における「財産」を「本法の本項が適用される財産」に差し替え、かつ

(b)最後に「(それらの規定の適用に関しては、当該財産は、そのように拘束された者を逮捕又は拘留した警察官が拾得したものとみなされ)」を追加する。

(4)第 VII 部の後に以下の部を挿入する

「第 VII A 部 : 警察に拘束された者が違法に所持している財産、及び第 VII 部が適用されない他の一定の財産

#### **第 VII A 部の財産への適用**

第 86 条 A.

(1)下記(2)項の規定を条件として、本法の本項は、本法第 80 条(2)項(a)又は(b)のみにより本法第 VII 部が適用されない財産に適用される。

(2)本法の本項は以下のいずれかに該当する財産には適用されない-

(a)その保管が検察官の手に移り、当面検察官に保管されるか、又は検察官の手配により警察本部長もしくは検察官自身以外の者に保管されるもの、又は

(b)それを対象として執行猶予つき没収命令もしくは移動制限命令が-

(i)発せられ、撤回されていないか、又は

(ii)適用され、拒否されていないもの。

(3)前記(2)項において「執行猶予つき没収命令」及び「移動制限命令」は 1995 年刑事訴訟（スコットランド）法のそれぞれ第 21 条(2)及び第 28 条(1)に従って解釈される。

### 検察官による証明

#### 第 86 条 B.

本法第 80 条(2)項(b)による決定に拘わらず、検察官は本法の本項が適用される財産が刑事訴訟手続における提出物として、又はかかる手続に関連する他の何らかの目的のために必要とされない、又は必要とされなくなつたと旨を証明することができる（検察官がそのように証明した財産を、本項における以下の諸規定において「関連」財産という）。

### 処分前の、所有者等による請求

#### 第 86 条 C.

(1) 本法の本項が適用され、警察本部長本人の、又は警察本部長が行った取り決めにより他者の保管下にある財産の所有者又はその保有権を有する者は、本法第 86 条 E に基づくその処分に先立っていつでも、警察本部長が指示する手続に従って当該財産の返還を請求することができる。

(2)警察本部長は上記(1)項によりなされた財産返還請求を検討し、その請求が該当する財産にかかるものであり、請求人がその所有者又はその保有権を有する者であることを確信した場合には、本項の一般原則を阻害することなく警察隊の長が適切とみなす条件（があれば、その条件）を付して、例えば、警察本部長が定める妥当な手数料（警察本部長が自ら、又は他者が警察本部長に代わって当該財産に関連して負担した妥当な費用を含む）の納付を受けた上で、引渡し請求を受けた財産を請求人に引き渡すか、又は請求人に対するその引渡しの措置を講じなければならない。

### 管理等の義務

#### 第 86 条 D.

1967 年警察（スコットランド）法第 17 条(3)項(b)但書き（検察官から受けた指示に従う義務）を条件として、警察本部長は本法の本項が適用される財産の管理及び保管に関して自らが適切とみなす取決めを行うことができ、警察に拘束された者がその所有者又はその保

有権を有する者でないと信じる理由がある場合には、その所有者又はその保有権を有する者を特定する適切な措置を講じ、本法第 86 条 C(1) 項により指示される手続を同人に通知しなければならない。

### 該当する財産の処分

#### 第 86 条 E.

(1) 警察本部長の見解において、該当する財産の安全な管理が不可能である場合には、警察本部長は自らが適切とみなす方法により、これを自ら処分、又は他者に処分させることができる。

(2) 警察本部長は該当する財産を売却、又は自らの見解においてその売却が実行不能とみなされる場合には、自らが適切とみなす他の方法により、これを自ら処分（又は他者に処分させる）ことができる。ただし前記 (1) 項の条件により、以下が該当する場合にはかかる他の処分をなしてはならない-

(a) 当該財産が警察に拘束された者に保持もしくは管理されている状態が明らかになった日より 2 ヶ月経過前、又は

(b) 同期間の経過まで当該財産を保管することが不便である場合には、すべての事情に照らして妥当であるように短縮された保管期間の経過前。

(3) 本法の第 71 条、72 条及び 77 条(1)項は、本法第 68 条による処分に適用されると同様に、本条による処分にも適用される。

### 警察当局による該当する財産の保持

#### 第 86 条 F.

(1) 警察本部長が本法第 86 条 E(2)により財産を売却又はその他の手段により処分する権限を有していて、当該財産( 金銭を除く)が-

(a) 継続して 12 ヶ月間にわたり警察本部長に保管、又は

(b) かかる期間の一部にわたり警察本部長に保管され、残余の期間は検察官に保管されていた場合には、警察当局は、その見解において当該財産を警察の目的に利用することが可能と認められれば、同当局が保持する決定を下すことができ、その決定が下されれば財産は同当局に帰属することとなる。

(2) 前記(1)項による決定は書面により記録をとどめ、その記録には決定を下した年月日を記載しなければならない。

(3) 前記(1)項による決定が下された日の前日に当該財産を所有していた者は、同日より 1 年以内に所有者としてその保有を回復する権利を有する。

(4) 前記(1)項において「警察当局」とは 1967 年警察 (スコットランド) 法第 2 条(1)項を第 19 条(9)項(a)と併せ読んだ場合に生じる意味を有し、該「警察当局」とは警察本部長の指

揮下の警察力が維持される地域を管轄する警察当局をいう。

## 抗告

### 第 86 条 G

(1) 本法第 86 条 C(2)による請求人は、同人の請求に関して警察本部長が下すいかなる決定に対しても、州裁判所に抗告することができる。

(2) 本法第 86 条 E に基づく価額未満にて処分された財産の前所有者は、第 86 条 E(3)項により適用された、本法第 72 条に基づく警察隊の長のいかなる決定に対しても、州裁判所に抗告することができる。

(3) 本法第 76 条(3)ないし(5)項は、第 76 条による抗告に該当する本条に基づく抗告に適用される。

## 王権に対する第 VIIA 部の適用

### 第 86 条 H

(1) 下記(2)項の規定を条件として、本法の本項は王権を拘束する。

(2) 紛失した、又は放棄された財産に対して王権が有する権利は、第 71 条（第 86 条 E(3)項により適用）又は本法第 86 条 F(1)項の諸規定に従って消滅させることができるが、本法の本項におけるそれ以外のいかなる規定も、かかる財産に対する王権の権利に対し影響を及ぼすものではない。

## 金銭面に関する追加規定

### 第 86 条 I

本法第 77 条(2)項は、本法第 VI 部に基づく職務について同項が適用されるのと同様に、本法の本項に基づく職務に適用される。

## 本部における「警察本部長」に対する言及

### 第 86 条 J

本法の本項において「警察本部長」とは、本法第 80 条の意味において拘束された者が拘束を受けた警察管区の警察本部長であって、かつ本法の本項の適用において警察本部長の指揮下にある警察官を含む。

(5) 第 131 条(王権に適用される同法の諸規定)において、「第 VI 及び VII 部」を「第 VI 及び VII 部 A」に差し替える。」

## 略称、発効及び適用範囲

7. (1) 本法を 1997 年警察（財産）法と呼ぶことができる。

(2) 本法は、その議会通過の日より2ヵ月後に効力を発する。

(3) 本法において-

(a) 第1条の適用範囲はイングランド、ウェールズ及び北アイルランドのみであり、

(b) 第2条の適用範囲はイングランド及びウェールズのみであり、

(c) 第3ないし5条の適用範囲は北アイルランドのみであり、かつ

(d) 第6条の適用範囲はスコットランドのみである。

**Police (Property) Act 1997**  
**1997 Chapter 30**

**ARRANGEMENT OF SECTIONS**

**Section**

1. Power of police authority to retain unclaimed property.
2. Disposal of property used, or intended for use, for purposes of crime: England and Wales.
3. Disposal of property used, or intended for use, for purposes of crime: Northern Ireland.
4. Further amendments of Police (Property) Act 1897: Northern Ireland.
5. Repeal of s. 9 of Constabulary (Ireland) Act 1874.
6. Property in possession etc. of person taken into police custody in Scotland.
7. Short title, commencement and extent.

An Act to make further provision with respect to property in the possession of the police.

[19th March 1997]

BE IT ENACTED by the Queen's most Excellent Majesty, by and with the advice and consent of the Lords Spiritual and Temporal, and Commons, in this present Parliament assembled, and by the authority of the same, as follows:-

**Power of police authority to retain unclaimed property.**

1. - (1) Section 2 of the Police (Property) Act 1897 (regulations with respect to unclaimed property in possession of police) is amended as follows.

(2) After subsection (2) there is inserted-

"(2A) The regulations may also provide that where, in the case of property other than money-

- (a) the property has remained in the possession of the police for a year,
  - (b) the police would under the regulations have power to sell the property,
  - (c) in the opinion of the relevant authority, the property can be used for police purposes, and
  - (d) the relevant authority determine, in such manner as may be prescribed by the regulations, that the property is to be retained by the authority,
- the relevant authority is to become the owner of the property on the making of the determination or at such later time as the regulations may specify.

(2B) In subsection (2A) above "the relevant authority" means-

- (a) in relation to a police area in England and Wales listed in Schedule 1 to the Police Act 1996 or the City of London police area, the police authority (within the meaning of that Act);

(b) in relation to the metropolitan police district, the Receiver for the Metropolitan Police District;  
(c) in relation to Northern Ireland, the Police Authority for Northern Ireland."

(3) After subsection (4) there is inserted-

"(4A) The regulations may also provide for the publication of determinations falling within subsection (2A)(d) above."

(4) For subsection (6) there is substituted-

"(6) In relation to England and Wales, the power to make regulations under this section is exercisable by statutory instrument; and a statutory instrument made in the exercise of that power is subject to annulment in pursuance of a resolution of either House of Parliament.

(7) In relation to Northern Ireland, the power to make regulations under this section is exercisable by statutory rule for the purposes of the Statutory Rules (Northern Ireland) Order 1979; and regulations made in the exercise of that power are subject to annulment in pursuance of a resolution of either House of Parliament in like manner as a statutory instrument and section 5 of the Statutory Instruments Act 1946 shall have effect accordingly."

**Disposal of property used, or intended for use, for purposes of crime: England and Wales.**

2. - (1) Section 43 of the Powers of Criminal Courts Act 1973 (power to deprive offender of property used, or intended for use, for purposes of crime) is amended as follows.

(2) In subsection (5)-

(a) for "section 2(1)" there is substituted "section 2",

(b) after "shall" there is inserted "subject to subsection (6) below", and

(c) after "regulations for disposal" there is inserted "(including disposal by vesting in the relevant authority)".

(3) After that subsection there is inserted-

"(6) The regulations may not provide for the vesting in the relevant authority of property in relation to which an order has been made under section 43A of this Act.

(7) Nothing in subsection (2A)(a) or (3) of section 2 of the Police (Property) Act 1897 limits the power to make regulations under that section by virtue of subsection (5) above.

(8) In subsections (5) and (6) above "relevant authority" has the meaning given by section 2(2B) of the Police (Property) Act 1897."

**Disposal of property used, or intended for use, for purposes of crime: Northern Ireland.**

3. - (1) Article 11 of the Criminal Justice (Northern Ireland) Order 1994 (power to deprive offender of property used, or intended for use, for purposes of crime) is amended as follows.

(2) In paragraph (8)-

(a) for "section 2(1)" there is substituted "section 2",

(b) after "may" there is inserted "subject to paragraph (8A)", and

(c) after "provision for disposal" there is inserted "(including disposal by vesting in the Police Authority for Northern Ireland)".

(3) After that paragraph there is inserted-

"(8A) The regulations may not provide for the vesting in the Police Authority for Northern Ireland of property in relation to which an order has been made under Article 12.

(8B) Nothing in subsection (2A)(a) or (3) of section 2 of the Police (Property) Act 1897 limits the power to make regulations under that section by virtue of paragraph (8)."

**Further amendments of Police (Property) Act 1897: Northern Ireland.**

4. - (1) In section 1(1) of the Police (Property) Act 1897 (power of court to make orders in respect of property which has come into the possession of the police in connection with a criminal charge), for "with any criminal charge" there is substituted "with their investigation of a suspected offence".

(2) Section 3(2) of that Act (which modified references to the Secretary of State in the application of the Act to Northern Ireland and is spent) is hereby repealed.

**Repeal of s. 9 of Constabulary (Ireland) Act 1874.**

5. Section 9 of the Constabulary (Ireland) Act 1874 (which makes provision as to unclaimed money and goods found or stolen) is hereby repealed.

**Property in possession etc. of person taken into police custody in Scotland.**

6. - (1) The Civic Government (Scotland) Act 1982 is amended as follows.

(2) In section 80 (application of Part VII of that Act), for paragraph (b) of subsection (2) there is substituted-

"(b) property which the prosecutor determines is or may be required as a production in criminal proceedings or which he determines is or may be required for any other purpose relating to such proceedings;".

- (3) In section 83 (provision as to certain property in possession of person taken into police custody)-  
(a) for "the property", where those words first occur, there is substituted "property to which this Part of this Act applies"; and  
(b) at the end there is added "(the property being regarded, for the purposes of those provisions, as being found by the constable arresting or detaining the person so taken)".

(4) After Part VII there is inserted the following Part-

## **"PART VIIA**

### **PROPERTY IN UNLAWFUL POSSESSION OF PERSONS TAKEN INTO POLICE CUSTODY AND CERTAIN OTHER PROPERTY TO WHICH PART VII DOES NOT APPLY**

#### **Application of Part VIIA to property.**

86A. –

(1) Subject to subsection (2) below, this Part of this Act applies to property to which, by virtue only of paragraph (a) or (b) of section 80(2) of this Act, Part VII of this Act does not apply.

(2) This Part of this Act does not apply to property-

(a) possession of which has passed to the prosecutor and is for the time being retained by him or, in accordance with arrangements made by him, by some person other than the chief constable or himself; or

(b) in respect of which a suspended forfeiture order or a restraint order has been-

(i) made and not recalled; or

(ii) applied for and not refused.

(3) In subsection (2) above, "suspended forfeiture order" and "restraint order" shall be construed in accordance with, respectively, sections 21(2) and 28(1) of the Proceeds of Crime (Scotland) Act 1995.

#### **Certification by prosecutor.**

86B.

The prosecutor may certify that, notwithstanding any determination under section 80(2)(b) of this Act, property to which this Part of this Act applies is not, or is no longer, required as a production in criminal proceedings or for any other purpose relating to such proceedings (property which he has so certified being, in the following provisions of this Part, referred to as "relevant" property).

**Claims by owner etc. prior to disposal.**

86C. - (1) The owner, or the person having right to possession, of any property to which this Part of this Act applies and which is in the possession of the chief constable, or of another person under arrangements made by the chief constable, may at any time prior to its disposal under section 86E of this Act claim that property in accordance with such procedure as the chief constable may direct.

(2) The chief constable shall consider any claims to property made under subsection (1) above and, on being satisfied that the property is relevant property and that the claimant is the owner of it or has a right to possession of it, shall deliver it, or arrange for its delivery, to the claimant on such conditions (if any) as the chief constable thinks fit, as for example, but without prejudice to the generality of this subsection, for payment of such reasonable charges (including any reasonable expenses incurred in relation to the property by or on behalf of the chief constable) as the chief constable may determine.

**Duty of care etc.**

86D.

Subject to the proviso to section 17(3)(b) of the Police (Scotland) Act 1967 (duty to comply with instructions received from prosecutor), the chief constable shall make such arrangements as he considers appropriate for the care and custody of property to which this Part of this Act applies; and if he has reason to believe that the person taken into police custody is not the owner or the person having right to possession of it, shall take reasonable steps to ascertain the identity of the owner or of the person with that right and to notify him of the procedures directed under section 86C(1) of this Act.

**Disposal of relevant property.**

86E. –

(1) If relevant property cannot, in the opinion of the chief constable, safely be kept he may dispose of it or arrange for its disposal in such manner as he thinks fit.

(2) The chief constable may sell relevant property or, if in his opinion it would be impracticable to sell it, may dispose of it (or make arrangements for its disposal) otherwise as he thinks fit; but subject to subsection (1) above he shall not do so-

(a) before the expiry of a period of two months after the date on which the property was found in the possession or in the charge of the person taken into police custody; or

(b) if it would be inconvenient to keep the property until the expiry of that period, before the expiry of such shorter period as is reasonable in all the circumstances.

(3) Sections 71, 72 and 77(1) of this Act shall apply to a disposal under this section as they apply to a disposal under section 68 of this Act.

**Retention of relevant property by police authority.**

86F.

(1) Where a chief constable has power under section 86E(2) of this Act to sell or otherwise dispose of property and that property (not being money) has remained-

(a) for any continuous period of twelve months in his possession; or

(b) for part of any such period in his possession and for the rest of it in the possession of the prosecutor,

the police authority may, if they are of the opinion that the property can be used for police purposes, determine that the property is to be retained by the authority; and the property shall vest in them on the making of the determination.

(2) A determination under subsection (1) above shall be recorded in writing; and that record shall include the date on which the determination is made.

(3) Any person who, immediately before the date on which a determination under subsection (1) above is made, owns the property in question, shall be entitled within one year after that date to recover possession of it as owner.

(4) In subsection (1) above, "police authority" has the meaning assigned to it by section 2(1), as read with section 19(9)(a), of the Police (Scotland) Act 1967; and "the police authority" means the police authority for the area for which the chief constable's force is maintained.

**Appeals.**

86G.

(1) A claimant under section 86C(2) of this Act may appeal to the sheriff against any decision of the chief constable made under that section as respects the claim.

(2) The previous owner of any property disposed of for value under section 86E of this Act may appeal to the sheriff against any decision of the chief constable made under section 72 of this Act as applied by subsection (3) of section 86E.

(3) Subsections (3) to (5) of section 76 of this Act shall apply to an appeal under this section as they apply to an appeal under section 76.

**Crown application of Part VIIA.**

86H.

(1) Subject to subsection (2) below, this Part of this Act binds the Crown.

(2) Rights which the Crown has in lost or abandoned property shall be capable of being extinguished in accordance with the provisions of section 71 (as applied by section 86E(3)) or

86F(1) of this Act; but nothing in this Part of this Act otherwise affects the Crown's right of ownership in such property.

**Further financial provision.**

86I.

Subsection (2) of section 77 of this Act shall apply in respect of functions under this Part of this Act as that subsection applies in respect of functions under Part VI of this Act.

**References in this Part to "chief constable".**

86J.

In this Part of this Act, "chief constable" means the chief constable for the police area in which the person taken into custody, within the meaning of section 80 of this Act, is so taken; and includes a constable acting under the direction of the chief constable for the purposes of this Part of this Act.

(5) In section 131 (provisions of that Act which apply to the Crown), for "Parts VI and VII" there is substituted "Parts VI to VIIA".

**Short title, commencement and extent.**

7. - (1) This Act may be cited as the Police (Property) Act 1997.

(2) This Act shall come into force at the end of the period of two months beginning with the day on which it is passed.

(3) In this Act-

- (a) section 1 extends to England, Wales and Northern Ireland only,
- (b) section 2 extends to England and Wales only,
- (c) sections 3 to 5 extend to Northern Ireland only, and
- (d) section 6 extends to Scotland only.

出典 : Office of Public Sector Information (<http://www.opsi.gov.uk/>)

---

英国 - 警察(財產)令 -  
(Police (Property) Regulations)

---

## 1997年警察（財産）令

1997年7月31日起草  
1997年8月7日議会提出  
1997年9月1日発効

国務大臣は 1897 年警察（財産）法第 2 条[1]及び 1973 年刑事裁判所権限法第 43 条(5)、(6)並びに(7)項[2]に従って、ここに以下の規則を定める。

1.この規則を 1997 年警察（財産）令と呼び、同規則は 1997 年 9 月 1 日より効力を発する。

2.1975 年警察（財産処分）令[3]は、ここに廃止される。

3.この規則において

「関係当局」とは

(a)1996 年警察法別表 1 に列挙された、イングランド及びウェールズにおける警察管区[4]又はロンドン・シティ警察管区に関しては、（その法律の意味における）警察当局、

(b)ロンドン警視庁管轄区域に関しては、ロンドン警視庁会計官を指す。

1897 法とは 1897 年警察（財産）法を指す。

4.(1)下記第 5 条を条件として、本条は、1897 法が該当する警察保管下の財産であって所有者が確認されておらず、所轄裁判所の命令が発給されていないものに適用される。

(2)1897 年法（腐敗しやすい、又はその保管に法外な経費もしくは不便が伴う財産の売却について定めた）第 2 条(3)を条件として、本条が適用される財産は、警察の保管下に 1 年間でとまるまで処分してはならない。

5.(1)本条は 1973 年刑事裁判所権限法第 43 条により警察の保管下に置かれた財産であって、同条による命令が発せられた後 6 ヶ月以内に請求人による申請がなく、又はかかる申請が却下されたものに適用される。

(2)1897 年法第 2 条(3)を条件として、本条が適用される財産は、犯罪者の有罪判決に関する同条に基づく、当該財産に係わる命令が発せられた日から 6 ヶ月が経過するまで、又は、当該期間内に当該財産の請求者が申請を行ったか、もしくは当該犯罪者が有罪判決又は量刑を不服として控訴した場合には、当該申請又は控訴に対する決定が下されるまで、これを処分してはならない。

6.(1)前記第 4 条(2)又は第 5 条(2)項に述べた期間の経過後、該当する場合には、同条等が適

用される財産（金銭を除く）を売却することができる。

(2)本規則による一切の売却の代金及び本規則が適用される金銭は、関係当局に納付され、警察財産法基金（以下「基金」という）と称する別会計に保管されるものとする。

(3)基金の全額又は一部は、関係当局が適切とみなす方法にて投資されることが認められ、投資から生じた収益は基金に加算されてその一部とされる。

(4)投資から生じた収益を含む、基金に算入される一切の金銭は、下記の使途に充てるものとする

(a)本規則の執行において、当該財産の輸送、収納並びに安全な保管に際して、及びその売却又は他の手段による処分に関連して生じた経費の支弁、

(b)警察に当該財産を引き渡した者に対する、関係当局が定めた金額による妥当な報奨金の支払い、

(c)関係当局が選択した慈善目的に供するために決定した金額の支払い。

(5)警察の長は、関係当局の要請を受けて、その権限を行使し、本条の前記各項による該当局の義務を履行することができる。

(6)基金は、その目的のために関係当局が指名した監査人による監査を受けなければならない。

7. (1)前記第4条(2)又は第5条(2)項に規定された期間の経過後、関係当局の見解において同条等が適用される財産（金銭を除く）を警察の目的に利用することが可能と認められれば、関係当局は当該財産を同当局が保管すべきことを決定することが認められ、当該財産は同決定時において同当局に帰属するものとなる。

(2)前記(1)項による決定は書面により記録をとどめ、該当局が適切とみなす方法にて公表し、その記録には決定を下した年月日を記載しなければならない。

(3)前記(1)項による決定を、1973年刑事裁判所権限法第43条A[5]に基づいて発せられた命令の対象である財産について下すことはできない。

8.警察の長が、本規則が適用される財産の性格について、その売却又は留保が公共の利益に反すると認めた場合には、その指令に従って当該財産を破棄、又は他の方法により処分しなければならない。

内務省  
国務大臣  
アラン・マイケル

1997年7月31日

### 注記

(本注記は本規則の一部をなすものではない。)

イングランド及びウェールズのみ適用される本規則は、1975年警察(財産処分)令を廃止するものである。本規則は、1897年警察(財産)法(「1897年法」)が適用される、警察の保管下にある財産の売却及び処分に関する同令の諸規定を、改正条項の起案により実質的に再制定することになる。本規則はまた、1997年警察(財産)法(c.30)による1897年法の改正に引き続き、一定の状況における警察による財産の保管について定めるものである。

### 注

[1] 1897 c.30; 第2条は1997年警察(財産)法第1条(c.30)により改正された。前述。

[2] 1973 c.62; 第43条(5)項は1997年警察(財産)法第2条により改正され、(6)項及び(7)項が追加された。前述。

[3] S.I. 1975/1474. 前述。

[4] 1996 c.t6. 前述。

[5] 1897 c.30; 第2条は1997年警察(財産)法第1条(c.30)により改正された。前述。

**POLICE**  
**The Police (Property) Regulations 1997**

Made 31st July 1997  
Laid before Parliament 7th August 1997  
Coming into force 1st September 1997

The Secretary of State, in pursuance of section 2 of the Police (Property) Act 1897[1], and section 43(5), (6) and (7) of the Powers of Criminal Courts Act 1973[2], hereby makes the following Regulations:

1. These Regulations may be cited as the Police (Property) Regulations 1997 and shall come into force on 1st September 1997.

2. The Police (Disposal of Property) Regulations 1975[3] are hereby revoked.

3. In these Regulations:

"the relevant authority" means

(a) in relation to a police area in England and Wales listed in Schedule 1 to the Police Act 1996[4] or the City of London police area, the police authority (within the meaning of that Act);

(b) in relation to the metropolitan police district, the Receiver for the Metropolitan Police District;

"the 1897 Act" means the Police (Property) Act 1897.

4. - (1) Subject to regulation 5 below, this regulation applies to property in the possession of the police to which the 1897 Act applies in respect of which the owner has not been ascertained and no order of a competent court has been made.

(2) Subject to section 2(3) of the 1897 Act (which provides for the sale of property which is perishable or the custody of which involves unreasonable expense or inconvenience) property to which this regulation applies shall not be disposed of until it has remained in the possession of the police for a year.

5. - (1) This regulation applies to property which is in the possession of the police by virtue of section 43 of the Powers of Criminal Courts Act 1973 and in respect of which no application by a claimant has been made within six months of the making of the order under that section or no such application has succeeded.

(2) Subject to section 2(3) of the 1897 Act, property to which this regulation applies shall not be disposed of until the expiration of six months from the date on which the order in respect of the property was made under that section on the conviction of an offender or, if an application by a claimant of the property has been made within that period or the offender has appealed against the conviction or sentence, until that application or appeal has been determined.

6. - (1) After the expiration of the period referred to in regulation 4(2) or 5(2) above, as applicable, property to which these regulations apply (other than money) may be sold.

(2) The proceeds of all sales under these Regulations and any money to which these Regulations apply shall be paid to the relevant authority and shall be kept in a separate account to be called the Police Property Act Fund ("the Fund").

(3) The Fund or any part thereof, may be invested as the relevant authority think fit and the income derived from the investments shall be added to and become part of the Fund.

(4) The moneys, including income from investments standing to the credit of the Fund shall be applicable –

(a) to defray expenses incurred in the conveyance, storage and safe custody of the property and in connection with its sale and otherwise in executing these Regulations;

(b) to pay reasonable compensation, the amount of which shall be fixed by the relevant authority, to persons by whom property has been delivered to the police;

(c) to make payments of such amounts as the relevant authority may determine for such charitable purposes as they may select.

(5) The Chief Officer of Police may, at the request of the relevant authority, exercise the powers and perform the duties of the authority under the foregoing paragraphs of this regulation.

(6) The Fund shall be audited by an auditor nominated for that purpose by the relevant authority.

7. - (1) After the expiration of the period referred to in regulation 4(2) or 5(2) above, as applicable, if in the opinion of the relevant authority property to which these Regulations apply (other than money) can be used for police purposes, the relevant authority may determine that the property is to be retained by the authority and the property shall vest in them on the making of the determination.

(2) A determination under paragraph (1) above shall be recorded in writing and published in such manner as the authority think fit and that record shall include the date on which the determination is made.

(3) No determination under paragraph (1) above may be made in relation to any property in relation to which an order has been made under section 43A of the Powers of Criminal Courts Act 1973[5].

8. If the Chief Officer of Police is satisfied that the nature of any property to which these Regulations apply is such that it is not in the public interest that it should be sold or retained, it shall be destroyed or otherwise disposed of in accordance with his directions.

Alun Michael  
Minister of State

Home Office  
31st July 1997

#### **EXPLANATORY NOTE**

*(This note is not part of the Regulations)*

These Regulations, which extend to England and Wales only, revoke the Police (Disposal of Property) Regulations 1975. They substantially re-enact the provisions in those regulations relating to sale and disposal of property in the possession of the police to which the Police (Property) Act 1897 ("the 1897 Act") applies with drafting amendments. The regulations also make provision for the retention of property by the police in certain circumstances following amendment to the 1897 Act by the Police (Property) Act 1997 (c.30).

#### **Notes:**

[1] 1897 c.30; section 2 was amended by section 1 of the Police (Property) Act 1997 (c.30).back

[2] 1973 c.62; section 43(5) was amended and subsections (6) and (7) added by section 2 of the Police (Property) Act 1997.back

[3] S.I. 1975/1474.back

[4] 1996 c.16.back

[5] 1897 c.30; section 2 was amended by section 1 of the Police (Property) Act 1997 (c.30).back

出典 : Office of Public Sector Information (<http://www.opsi.gov.uk/si/si1997/97190801.htm>)

(4) 米国(ニューヨーク州)

---

米国 - ニューヨーク州法 -

(New York Consolidated Laws) 第 7-B 条セクション 251～258

---

ニューヨーク州統合法  
第7条 - B 遺失物

§ 251. 定義

1. 本条において用いられている「財物」とは、金銭、持参人払い証券、または持参人宛てに振り出された、もしくは発行された証券、または現金化が可能な証券、商品、動産、および有体人的財産を意味するが、以下はこれには該当しない。(a)本項の2に定義されている「証券」、(b)動物、(c)航海法の規定が適用される難破船、(d)条例第323項の適用を受ける丸太およびその他の財物、ならびに(e) 車両・交通法の適用を受ける車両。
2. 本条において用いられる「証券」とは、無体動産、または財物に関する権利、または財物もしくは事業における持ち分、参加権、もしくはその他の権益を証明する、意味する、または具体化する小切手、為替手形、約束手形、債券、船荷証券、倉庫証券、株券、またはその他の書類もしくは文書を意味するが、持参人払い証券、または持参人宛てに振り出された、もしくは発行された証券、または現金化が可能な証券、および金銭は含まれない。
3. 本条において用いられる「遺失物」には、紛失した、または置き忘れた財物が含まれる。遺棄物、所有者不明の拾得物、および所有者不明の発掘物および発見されたその他の財物は遺失物と推定され、この推定は、発見日から6ヵ月以内に開始された訴訟または手続においてその財物が遺失物ではないことが立証されない限り、決定的なものとなる。
4. 本条において用いられる「所有者」とは、発見者、および権利の請求を行った他の者ではなく、遺失物を所持する権利をもつ者を意味する。
5. 本条において用いられる「発見者」とは、遺失物を最初に入手する者を意味する。
6. 本条において用いられる「交通機関」とは、鉄道の貨車または客車、プルマン式車両、路面電車の車両、地下鉄車両、バス、大型バス、タクシー、航空機または汽船、および人の輸送に用いられるその他の車両または乗り物を意味し、旅客輸送事業の業務過程において利用されると否とを問わない。本条において用いられる「輸送会社」とは、交通機関の運営事業を営んでいる者を意味する。タクシー運転手は、自らが所有し、所有者として運転するタクシーに関しては「輸送会社」である。

§ 252. 発見された財物および発見された証券は警察に寄託すべきこと、警察に引き渡しを行わないことに対する罰則、発見場所の所有者への引き渡し

1. 本章の第256項の5に定められている場合、または総合地方自治体法の第250項に従って定められる他の場合を除き、価値が20ドル以上の遺失物を発見した、または遺失物もしくは発見物であることを知りながら価値が20ドル以上の財物を入手した者は、その発見もしくは入手から10日以内に、それを所有者に返還するか、その発見または入手がなされた市の警察署または警察本部にその発見または入手についての報告を行い、その財物を寄

託するものとするが、州の総務局長の管理と監督のもとにあり、公共建築物法（Public Buildings Law）第2条に定められている建物または土地、構内で発見または入手がなされた場合には、その財物は州政府ビルの警察（Capital Buildings Police）にも寄託することができる。発見または入手が市の外部でなされた場合には、その財物は州警察の本署もしくは支所、または発見または入手がなされた郡、町、または村の警察署または警察本部（保安官事務所を含む）に寄託する。発見または入手が、公園・レクリエーション・史的保存局長の管轄下にある州立公園、公園道路、レクリエーション施設または史跡を構成する建物、土地、または構内でなされた場合には、その財物は地域の州立公園警察の署に寄託することもできる。発見または入手がニューヨーク州立大学において州の運営している機関の建物、または土地、または構内でなされた場合には、その財物は州立大学によって任命された警備担当官または警察官に寄託することもできる。こうして寄託された財物は本章の第253項から第257項に定められている手続きに従って保持され、処分されるが、これらの項において警察によって遂行されると述べられている権限と義務は、州立大学によって任命された警備担当官または警察官によって遂行される。

2. 本章第256項の5に定められている場合、または総合地方自治体法の第250項に従って定められるその他の場合を除き、証券を発見した、またはそれが発見されたものであることを知りながらその証券を入手した者は、10ドル以上の価値のあるものとして、その発見もしくは入手から10日以内に、その証券をその権利者に返還するか、本項の1の定めに従って警察署または警察本部にその発見または入手についての報告を行い、その証券を寄託する。

3. 本項の4に定められている場合を除き、本項の1または2の規定に従うことを拒否する、または故意に怠る者は、軽犯罪の罪にあたり、有罪宣告を受ければ、100ドル以下の罰金または6ヵ月以下の懲役もしくは禁錮刑、またはその両方の刑に処せられる。

4. 財物または証券を発見したこと、または発見された財物または証券を入手したことを警察に報告し、その財物または証券を寄託しなかった者でも、その報告と寄託を行う代わりに、その財物または証券が発見された場所の所有者にその財物または証券を引き渡せば、刑事訴追の対象となることはない。ただしその者に、この所有者が本項の1または2に従わないであろうと信じる理由がなかったことがその条件となる。

発見された財物または証券をその発見場所の所有者に引き渡す者に、その所有者が本項の1または2に従わないであろうと信じる理由がなかった場合、その者には、その財物または証券の所有者または権利者に対する責任はない。

#### § 253. 警察の義務

1. 総合地方自治体法の第250項、または州執行部法の第225項aに従った他の定めがなく、本項に定められる事項に特に適用される法律による他の定めがない限り、発見された財物または証券の寄託を受ける警察は、その財物または証券、あるいは本項の5に従ってその売却が行われる場合にはその売上金を受け取って保管し、本項の定めに従ってその保

管の通知を行う。

本条の定めに従って、発見された財物または証券の寄託を受ける警察は寄託者に、寄託の取り扱いが行われたことを確認し、その財物または証券を特定する受取証を渡す。この確認と特定は、取り扱いが行われた事実の記述と、備考説明、または整理番号、記録の謄本、あるいはその財物もしくは証券の受取証とその寄託の取り扱いに関する警察の記録とを結び付けるその他の方法によって行うことができる。

2. かかる財物または証券は警察に寄託を行った者の報告と共に、かかる財物または証券を保有するよう指定されている警察官またはその他の係官に引き継がれ、その警察官または係官が、かかる寄託、および警察に財物または証券を寄託した者の報告を自らの記録に記入する。

3. 財物または証券を寄託した者の報告により、その財物または証券が公道またはハイウェイ以外の場所で発見されたことが示されている場合、その寄託を受けた警察はその財物または証券が発見された場所の所有者、またはその場所の管理責任者に対して、その発見と寄託（財物または証券の引き継ぎを受けた部局の所在地を含む）について通知を行う。証券の寄託を受けた警察は、その証券に氏名と住所が記載されている者、または証券に氏名が記載されており、その住所が警察に判明した者の一人一人に対して、寄託についての通知を行う。

4. 発見されて警察の所持下にある財物または証券に対してある者に権利があると信じる理由が警察にあり、またその者の所在を知る理由がある場合、警察はいつであれ、その者に対して、その発見と寄託、およびその財物または証券の引き渡しを受けた部局の所在地の通知を行う。

5.

(a) 財物に救済価値しかない場合、警察はその状況において妥当な方法でその財物を売却することができる。腐敗しやすい財物の場合、警察はその状況において妥当な方法で、可能な限り速やかにその財物を売却する。

(b) 警察は、特別な配慮を必要とする財物については、その保存の目的に適切であると判断する公共の、または民間の施設で保管することができる。

(c) 警察は、妥当な範囲内の処理費用（保管、輸送、保存、および評価の費用を含める）、通知を出すのにかかる特別費用、および特定の財物に関する本条の実施にかかるその他の特別費用の総計が、公売による売却で実現されると合理的に推定される正味総額の半分を上回る財物については、公売で売却することができる。

(d) 財物が本号の定めに従って売却される場合、妥当な売却費用および売却に先立っての財物の妥当な処理費用（(c)で述べられている費用項目を含む）を差し引いた代金の残りは、

売却された財物と同じ価値をもつ遺失物として処理する。

6. 本章の第256項の3、および遺棄物法の第1310項または適用されるその他の項に従い、証券は、本章の第255項の定めに従ってその権利者に引き渡されるまで、その寄託を受けた警察の保管下にとどめる。

7. 本章の第256項の3に定められている場合を除き、遺失物、および本項の5に従って同号に定められている費用を差し引いた後に残っている売却代金は、警察が下記の期間にわたって保管する。ただし、第254項の定めに従ってそれより前に所有者に引き渡された場合はその限りではないものとする。

100ドル未満の価値の財物または売却代金については3ヵ月；100ドル以上～500ドル未満の価値の財物または売却代金については6ヵ月；500ドル以上～5,000ドル未満の価値の財物または売却代金については1年間；5,000ドル以上の価値の財物または売却代金については3年間。

8. 本項の7の定めに従って当該の財物に適用される保管期間が満了する3ヶ月前に、その財物が第254項の定めに従って所有者に引き渡されていない場合、警察は判明している所有者、またその財物における権益を有していると信じる理由がある者（ただし、所有者とこの権益をもつ者については、その住所または以前の住所が判明していることが条件となる）、その物件について権利の請求を行ったすべての者、発見者、および第256項の定めに従って発見者の権利を主張する通知を提出した者に対して通知を行う。かかる通知は書面で行い、本人に手渡される、または送付を受ける者について判明している最新の住所宛てに受取証明郵便で送付されるが、実質的に下記の内容を述べるものとする。(a)本人への手渡しまたは投函の日から3ヶ月以内に所有者が財物についての権利を請求せず、その3ヶ月の期間の満了時点において、財物を保管している警察が、その財物に対する権利を決定するための訴訟提起に関する通知書の送達を受けていた訴訟が係属中でなくなっている場合、その財物は発見者、または第256項の定めに従って発見者の権利を主張する権利をもち、その権利を立証する者に引き渡されること、および(b)通知が本人に手渡された日、または投函された日から3ヵ月と10日間の期間が満了する時点で所有者がその財物についての権利を請求しておらず、発見者、または第256項の定めに従って発見者の権利を主張する権利をもつ者がその引き渡しを要求しておらず、財物を保管している警察が、その財物に対する権利を決定するための訴訟提起に関する通知書の送達を受けていた訴訟が係属中でなくなっている場合、その財物は公売で売却されること、および(c)州警察が保管している財物の場合には売却代金は州の遺棄物基金に寄託され、その他の警察で保管されている財物の場合には売却代金は市、郡、町、または村の財産となること。

#### § 254. 遺失物の処分

本章の第256項に定められている場合を除き、警察に寄託された遺失物、および第253項の5の定めに従って売却された遺失物の代金にあたる金銭は、同号に定められている費用を差し引いた上で、下記の要領で処分される。

当該要求以外に、その財物に対する権利を請求する通知書がその財物を保管している警察に送達されておらず、本章の第 253 項の 7 に定められている期間が満了していない場合、またはその期間が満了しているが、発見者または本章の第 256 項の定めに従って発見者の権利を主張しうる立場にある者がその財物を要求していない場合、所有者から要求があり、その要求に関連した妥当な費用のすべてが支払われれば、その財物は所有者に引き渡される。

2. 本章の第 253 項の 7 に定められている期間の満了時点において所有者がその財物についての権利を請求していない場合、発見者、または本章の第 256 項の定めに従って発見者の権利を主張しうる立場にある者からその財物に対する要求があり、その要求に関連する妥当な費用のすべてが支払われれば、その財物はその発見者、または発見者の権利を主張しうる立場にある者に引き渡される。

3. 第 253 項の 7 に定められている期間が満了してから 10 日間が経過した時点において所有者が権利の請求を行っておらず、発見者、または本章の第 256 項の定めに従って発見者の権利を主張しうる立場にある者が財物を要求していない場合、金銭によって構成される遺失物は本章の第 258 項の定めに従って支払われ、その他の財物は公売で売却され、代金は本章の第 258 項の定めに従って支払われる。その財物が州警察に寄託されていた場合、その売却は州の会計責任者の定める規則に従って行われる。

#### § 255. 証券の処分

1. 警察に寄託された証券は、引き渡しに関連してかかった妥当な費用がすべて支払われれば、その証券の権利者に引き渡される。

2. 警察に寄託された証券は、廃棄または売却してはならない。第 256 項の 3 に定められる場合を除き、かかる証券を発見者またはその雇用者、またはその証券を警察に寄託した者、またはその証券が発見された場所の所有者に返還してはならない。

#### § 256. 例外

1. 発見者が、そこにいることが犯罪である場所にて遺失物を入手した場合、その財物が警察によって発見者に引き渡される前に、遺失物が発見された場所の所持者がその財物を保管している警察に対して自らの権利を主張する通知を書面で提出すれば、その者が本章の第 254 項に定められている発見者の権利をもつ。

2. 発見者が州または公共団体の管理職または職員であり、公務の過程においてその財物を入手した場合には、州または公共団体が本章の第 254 項および第 257 項にいう発見者と見なされる。それ以外で、発見者が遺失物を自らの雇用者に引き渡す義務を負っている従業員である場合、その財物が警察によって発見者に引き渡される前に、雇用者がその財物を保管している警察に対して自らの権利を主張する通知を書面で提出すれば、その雇用者が第 254 項に定められている発見者の権利をもつ。

3. 警察に寄託された遺失物か証券のいずれかが、信託会社または銀行の信託部門で立入り禁止とされている貴重品保管施設で発見されたものであった場合、警察は寄託の日から6ヵ月が経過したら、その財物または証券を信託会社または銀行に返還する。信託会社または銀行はその返還を受理したら、その権利者のために受寄者としてその財物または証券を保持する。その財物または証券を警察が返還してから15年間の経過した時点で権利者が権利の請求を行っておらず、遺棄物法の第1310項の定めによる最高裁判所の命令に従ってその財物または証券が州の会計責任者に引き渡されていない場合、信託会社または銀行はその財物の金銭から成る部分を引き取り手のない財物として州の会計責任者に支払う。信託会社または銀行は、金銭によって構成されない財物を売却し、また証券を公売で売却して、その売却代金から公告費を含む売却費用を差し引いた上で、引き取り手のない財物として州の会計責任者に支払う。かかる売り出しにおいて価値がないと判定された財物または証券は、引き取り手のない財物として州の会計責任者に引き渡される。

4. 運行中の交通機関で財物または証券を発見または入手した者は、当州内でその交通機関から降りる時にその交通機関で発見した財物または証券を携行する場合、本条の規定の適用を受ける。かかる場合、本条に関しては、その者が発見した財物または証券を携帯して交通機関から降りる場所が、発見または入手の行われた場所と見なされる。

本章第252項の4の観点からは、交通機関は「場所」と見なされ、「場所の所有者」には、交通機関を実際に運行している者および、実際に、または外見上その物件または証券の引き渡しを受ける権限をもっている輸送会社の管理職、代理人、または従業員が含まれる。第253項の3に関しては、輸送会社によって運行される交通機関は「場所」と見なされ、遺失物の保管に関して行為する権限をもっているその管理職、代理人または従業員は、かかる場所の管理責任者と見なされる。

5. 総合地方自治体法の第250項に従って他の定めがある場合を除き、発見された物件または証券を発見したこと、または入手したことを報告する者が、(a)修正された「州際通商法」として知られている連邦議会制定法の規定の適用を受ける、または修正された「1938年民間航空法」として知られている連邦議会制定法に従って交付された民間航空委員会の免許証または許可証に従って航空輸送に携わっている輸送会社であり、財物または証券がかかる輸送会社の運行する交通機関上で発見された、または(b)信託会社または銀行で、その物件または証券がかかる信託会社または銀行の信託部門で立入り禁止とされている貴重品保管施設で発見された場合、かかる輸送会社、信託会社または銀行は、報告が行われた時点でかかる財物または証券を寄託することを要求されず、その物件または証券を入手してから60日以内に、その財物または証券を報告先の警察に寄託する。ただし、その期間内に財物が所有者に返還された、または証券がその権利者に返還された場合はその限りではないものとする。かかる輸送会社、信託会社、または銀行はいつでも、報告先の警察、または総合地方自治体法の第251項に従った協定によって指定された警察の検査を受けられるようにかかる物件または証券を保持する。

財物または証券の入手を報告してから本号に従ってその財物または証券を保持する輸送会

社、信託会社または銀行は、(a)その証券に氏名と住所が記載されている、または氏名が記載されていて住所が判明している各人に対してその証券を入手したことを通知し、また、(b)かかる輸送会社、信託会社または銀行は、ある者がその財物または証券における権益をもっていると信じる理由があり、また、その者の所在を知っている理由があれば、その者に対してその財物または証券を入手したことを通知する。ただし本パラグラフは、輸送会社が手荷物、手提げかばん、ハンドバッグまたは類似の品目を入手した時にその中に封じ込まれていた証券に関してかかる通知を行うことをその輸送会社に要求するものではない。

6. いつであれ、発見された財物または証券に対する権利を決定するために訴訟または審理が開始され、かかる訴訟についての通知がその財物または証券を保管している警察に書面で送達される場合、その警察はそれ以降、裁判所の命令に従う場合を除き、その財物または証券を誰にも引き渡してはならない。

7. 本条は、警察の保管下にあつて犯罪の実行の証拠を構成する、または合法的に所持することのできない、または免許がなければ合法的に所持することのできない品目の保管または処分に適用される他の法令または法規を無効にしてそれに代わるものではなく、またはそれを制限するものではない。

#### § 257. 遺失物に対する権利

1. 警察に寄託された遺失物が本章の第 254 項に従つて発見者、または本章の第 256 項の定めに従つて発見者の権利を主張しうる立場にある他の者に引き渡される場合には、その遺失物に対する権利はその発見者、または発見者の権利を主張しうる立場にある他の者に帰属し、その遺失物が本章の第 253 項または第 254 項の定めに従つて売却された場合には、その遺失物に対する権利はその買主に帰属する。

2. 価値が 10 ドル未満の遺失物の発見者が所有者を見つけ出してその遺失物を返還するために妥当な努力を行った上で返還することができなかった場合、かかる財物に対する権利は、発見から 1 年が経過した時点で発見者に帰属する。

#### § 258. 売却代金は基金に払い込むべきこと

総合地方自治体法の第 250 項、またはその他の適用法に従つて他の定めがない限り、遺失物の売却代金（合法的な控除を施したもの）、または遺失物を構成する金銭は、その財物の寄託を受けた警察の属する郡、市、町、または村の公金に払い込み、財物が州警察、州政府ビルの警察、または地域の州立公園警察に寄託されている、または本章の第 256 項に従つて信託会社または銀行に返還されている場合には、州の遺棄物基金に払い込み、財物が州立大学によって任命された警備担当官または警察官に寄託されている場合には、教育法の第 355 項の 8 に従つて設けられた基金に払い込む。

**New York State Consolidated Laws**  
**Personal Property**  
**ARTICLE 7-B**  
**LOST AND FOUND PROPERTY**

S 251. Definitions.

1. The term "property" as used in this article means money, instruments payable, drawn or issued to bearer or to cash, goods, chattels and tangible personal property other than (a) "instruments" as defined in subdivision two of this section, (b) animals, (c) wrecks governed by the provisions of the navigation law, (d) logs and other property governed by section three hundred twenty-three of the town law and (e) vehicles governed by the vehicle and traffic law.

2. The term "instrument" as used in this article means a check, draft, promissory note, bond, bill of lading, warehouse receipt, stock certificate or other paper or document, other than those payable, drawn or issued to bearer or to cash and other than money, evidencing, representing or embodying a chose in action or a right with respect to property or a share, participation or other interest in property or in an enterprise.

3. The term "lost property" as used in this article includes lost or mislaid property. Abandoned property, waifs and treasure trove, and other property which is found, shall be presumed to be lost property and such presumption shall be conclusive unless it is established in an action or proceeding commenced within six months after the date of the finding that the property is not lost property.

4. The term "owner" as used in this article means any person entitled to possession of the lost property as against the finder and against any other person who has made a claim.

5. The term "finder" as used in this article means the person who first takes possession of lost property.

6. "Transportation facility" as used in this article means a railroad car or coach, Pullman car, street surface railroad car, subway car, motor bus, motor coach, taxicab, aircraft or steamship, and any other vehicle or conveyance used for carriage of persons whether or not such use is in the course of a business of transporting persons. "Transportation company" as used in this article means the person carrying on a business of operating a transportation facility. A taxi driver is a "transportation company" with respect to a taxicab which he owns and operates as owner.

S 252. Found property and found instruments to be deposited with police; penalty for failure to deliver to police; delivery to persons in possession of premises where found.

1. Except as provided in subdivision five of section two hundred fifty-six of this chapter or as otherwise prescribed pursuant to section two hundred fifty of the general municipal law, any person

who finds lost property of the value of twenty dollars or more or comes into possession of property of the value of twenty dollars or more with knowledge that it is lost property or found property shall, within ten days after the finding or acquisition of possession thereof, either return it to the owner or report such finding or acquisition of possession and deposit such property in a police station or police headquarters of the city where the finding occurred or possession was acquired, but if the finding occurred or possession was acquired in buildings or on grounds or premises under the control and

supervision of the commissioner of general services as described in article two of the public buildings law, then the property may also be deposited in a station of the capital buildings police. If the finding occurred or possession was acquired outside a city, then such property shall be deposited in a station or substation of the state police or in a police station or police headquarters, including a sheriff's office, of the county, town, or village where the finding occurred or possession was acquired. If the finding occurred or possession was acquired in buildings or on grounds or premises constituting a state park, parkway, recreational facility or historic site under the jurisdiction of the commissioner of parks, recreation and historic preservation, then such property may also be deposited in a station of the regional state park police. If the finding occurred or possession was acquired in buildings or on the grounds or premises of the state-operated institutions in the state university of New York, then such property may also be deposited with a security officer or police officer appointed by the state university. Property so deposited shall be retained and disposed of in accordance with procedures set forth in sections two hundred fifty-three through two hundred fifty-seven of this chapter except that the powers and duties in said sections mentioned to be performed by the police shall be performed by security officers or police officers appointed by the state university.

2. Except as provided in subdivision five of section two hundred fifty-six of this chapter or as otherwise prescribed pursuant to section two hundred fifty of the general municipal law, any person who finds an instrument or comes into possession of an instrument with knowledge that it has been found shall, within ten days after the finding or acquisition of possession thereof, either return it to a person entitled there to or report the finding or acquisition of possession and deposit the instrument in a police station or police headquarters, as provided in subdivision one of this section, as if such instrument were lost property having a value of ten dollars or more.

3. Except as provided in subdivision four of this section, any person who shall refuse or wilfully neglect to comply with the provisions of subdivision one or subdivision two of this section shall be guilty of a misdemeanor and upon conviction thereof shall be punished by a fine of not more than one hundred dollars or imprisonment not exceeding six months or both.

4. A person shall not be subject to criminal prosecution for failure to report a finding or acquisition of possession of found property or of a found instrument to the police and deposit such property or instrument with the police if, in lieu thereof, he delivers the property or instrument to the person in

possession of the premises where the property or instrument was found, provided he had no reason to believe that such person would not comply with subdivision one or subdivision two of this section.

A person who delivers found property or a found instrument to the person in possession of the premises where the property or instrument was found is not liable to the owner or person entitled thereto for such delivery if he had no reason to believe that such person in possession of the premises would not comply with subdivision one or subdivision two of this section.

#### S 253. Duties of police.

1. Unless otherwise prescribed in accordance with section two hundred fifty of the general municipal law or section two hundred twenty-five-a of the executive law and unless otherwise provided by law applicable specifically to matters prescribed in this section, the police with whom found property or a found instrument is deposited shall accept and retain custody of the property or instrument, or proceeds of the property in the event of a sale pursuant to subdivision five of this section, and shall give notice of such custody, as provided in this section.

The police with whom found property or a found instrument is deposited as provided in this article shall give to the person depositing it a receipt identifying the transaction of deposit and identifying the property or instrument. Such identification may be by description and recital of the facts of the transaction or by reference numbers, duplicate copies of records, or other method connecting the receipt with the records of the police with respect to the property or instrument and the transaction.

2. Such property or instrument shall be transmitted, together with the report of the person who deposited it with the police, to the police officer or other official designated to hold such property or instrument, who shall make entry in his records of such deposit and the report of the person depositing such property or instrument with the police.

3. If the report of the person who deposited the property or instrument shows that the property or instrument was found in a place other than a public street or highway, the police with whom it is deposited shall give notice of the finding and deposit, including the location of the office to which the property or instrument is transmitted, to the occupant of the premises where the property or instrument was found or to the person in charge of such premises.

The police with whom an instrument is deposited shall give notice of the deposit to each person whose name and address appears upon the instrument or whose name so appears and whose address is known to the police.

4. If at any time the police have reason to believe that a person has an interest in found property or in a found instrument in their possession and reason to know his whereabouts, they shall give notice of

the finding and deposit and the location of the office to which the property or instrument is transmitted to such person.

5. (a) Property having salvage value only may be sold by the police in such manner as may be reasonable in the circumstances. Perishable property shall be sold by the police as soon as possible in such manner as may be reasonable in the circumstances.

(b) Property which requires special care may be kept by the police in public or private facilities which the police deem appropriate for the purpose of preserving it.

(c) Any property may be sold by the police at public auction when the expenses reasonably incurred in dealing with it, including expenses of taking of custody, transportation, storage and appraisal, any special expense incurred in giving notice, and any other special expense attributable to administration of this article with respect to the particular property, amount to more than one-half the amount reasonably estimated as the net sum likely to be realized by sale at public auction.

(d) If property is sold as provided in this subdivision the proceeds remaining after deducting the amount of reasonable expenses of the sale and reasonable expenses of dealing with the property prior to the sale, including any items of expense mentioned in paragraph (c), shall be dealt with as lost property having the value of the property sold.

6. Subject to subdivision three of section two hundred fifty-six of this chapter and to section thirteen hundred ten or other applicable section of the abandoned property law, instruments shall be retained in the custody of the police with whom they were deposited until delivered to the person entitled thereto as provided in section two hundred fifty-five of this chapter.

7. Except as provided in subdivision three of section two hundred fifty-six of this chapter, lost property, and the proceeds of sale pursuant to subdivision five of this section remaining after deduction of expenses as provided in that subdivision, shall be kept in the custody of the police for the following periods, unless sooner delivered to the owner as provided in section two hundred fifty-four:

Property having a value of less than one hundred dollars or proceeds of property having such value, three months; property having a value of one hundred dollars or more but less than five hundred dollars or proceeds of property having such value, six months; property having a value of five hundred dollars or more but less than five thousand dollars or proceeds of property having such value, one year; property having a value of five thousand dollars or more or proceeds of property having such value, three years.

8. Three months before the expiration of the period applicable to the property in question, as specified in subdivision seven of this section, if the property has not been delivered to the owner as provided in section two hundred fifty-four, the police shall give notice to the owner, if known, and to any person they have reason to believe has an interest in the property, if the address or a former address of such owner or person is known, and to all persons who have made claim to the property,

and to the finder and any person who has filed notice asserting the right of the finder as provided in section two hundred fifty-six. Such notice shall be in writing and shall be served personally or sent by certified mail to the last known address of the person to whom it is sent and shall state, in substance:

(a) that if within three months after the date of personal service or mailing of the notice the owner does not claim the property, and if at the end of such three months no action is pending to determine rights to such property, written notice of which action was served upon the police having custody of the property, the property will be delivered to the finder or, if he establish his right, to a person entitled to assert the right of the finder as provided in section two hundred fifty-six; and (b) that if at the expiration of three months and ten days after the date of the personal service or mailing of the notice, the owner has not claimed the property and the finder, or a person entitled to assert the right of the finder as provided in section two hundred fifty-six, has not demanded delivery of it, and no action is pending to determine rights to such property, notice of which was served upon the police having custody of the property, it will be sold at public auction; and (c) in the case of property in the custody of the state police, that the proceeds of the sale will be deposited in the abandoned property fund of the state and in the case of property in the custody of other police that the proceeds will become the property of the city, county, town or village.

S 254. Disposition of lost property. Except as provided in section two hundred fifty-six of this chapter, lost property deposited with the police, and the money constituting proceeds of lost property sold as provided in subdivision five of section two hundred fifty-three remaining after deduction of expenses as therein provided, shall be disposed of as follows:

1. It shall be delivered to the owner, upon his demand and upon payment of all reasonable expenses incurred in connection therewith, if no written notice of any other claim to the property has been served upon the police having custody, and the time specified in subdivision seven of section two hundred fifty-three of this chapter has not expired or, if such period has expired, no demand has been made by the finder or a person entitled to assert the right of the finder as provided in section two hundred fifty-six of this chapter.

2. If at the end of the period specified in subdivision seven of section two hundred fifty-three of this chapter the owner has not claimed the property, it shall be delivered to the finder, or person entitled to assert the rights of the finder as provided in section two hundred fifty-six of this chapter, upon his demand therefor, and upon payment of all reasonable expenses incurred in connection therewith.

3. If at the end of ten days after expiration of the period specified in subdivision seven of section two hundred fifty-three, the owner has not claimed it, and no demand has been made by the finder or a person entitled to assert the right of the finder as provided in section two hundred fifty-six of this chapter, property consisting of money shall be paid as provided in section two hundred fifty-eight of this chapter and other property shall be sold at public auction and the proceeds shall be paid as provided in such section two hundred fifty-eight. Where the property was deposited with the state

police, such sale shall be held in accordance with rules of the comptroller.

S 255. Disposition of instruments.

1. An instrument deposited with the police shall be delivered to the person entitled thereto upon payment of all reasonable expenses incurred in connection therewith.

2. No instrument deposited with the police shall be destroyed or sold. Except as provided in subdivision three of section two hundred fifty-six, no such instrument shall be returned to the finder, or his employer, or the person who deposited it with the police, or the person upon whose premises it was found.

S 256. Exceptions. 1. If a finder takes possession of lost property while he is upon premises with respect to which his presence is a crime, the person in possession of the premises where the lost property was found shall have the rights of the finder as provided in section two hundred fifty-four of this chapter, if, before the property is delivered to the finder by the police, he files with the police having custody of the property a written notice asserting his rights.

2. If the finder is an officer or employee of the state or of a public corporation and takes possession of the property in the course of his official duty, the state or public corporation shall be deemed to be the finder for the the purposes of section two hundred fifty-four and section two hundred fifty-seven of this chapter. If, in any other case, the finder is an employee under a duty to deliver the lost property to his employer, the employer shall have the rights of the finder as provided in section two hundred fifty-four if, before the property is delivered to the finder by the police, he shall file with the police having custody of the property a written notice asserting such rights.

3. If either lost property deposited with the police or an instrument deposited with the police was discovered upon the enclosed safe deposit premises of a safe deposit company or safe deposit department of a bank, the police shall return it to the safe deposit company or bank at the expiration of six months from the date of deposit. Upon receipt thereof the safe deposit company or bank shall hold the property or instrument as bailee for the person entitled thereto. If such person has not claimed it at the expiration of fifteen years from the date it was returned by the police and the property or instrument has not been delivered to the state comptroller pursuant to an order of the supreme court as provided in section thirteen hundred ten of the abandoned property law, the safe deposit company or bank shall pay that portion of such property which consists of money to the comptroller as unclaimed property. The safe deposit company or bank shall sell such property as does not consist of money and shall sell such instrument at a public sale, and the proceeds from such sale, less the expenses of such sale, including the costs of any advertising, shall be paid to the state comptroller as unclaimed property. Any such property or instrument determined to be valueless at

such sale shall be delivered to the comptroller as unclaimed property.

4. A person who finds or comes into possession of property or an instrument while he is in or on a transportation facility while it is being operated as such shall be subject to the provisions of this article if he leaves the transportation facility at any place in this state taking with him at the time of such departure property or an instrument found by him in or upon the transportation facility or found property or a found instrument of which he acquired possession while in or upon the transportation facility. In such case the place where he leaves the transportation facility taking the found property or instrument with him shall be deemed for the purposes of this article to be the place where the finding occurred or possession was acquired.

For the purposes of subdivision four of section two hundred fifty-two of this chapter, a transportation facility shall be deemed "premises" and "person in possession of the premises" shall include any person actually operating a transportation facility and any officer, agent or employee of the transportation company actually or apparently authorized to receive delivery of the property or instrument.

For the purposes of subdivision three of section two hundred fifty-three, a transportation facility operated by a transportation company shall be deemed "premises" and the transportation company, or its officer, agent or employee authorized to act with respect to custody of lost and found property, shall be deemed to be the person in charge of such premises.

5. Except as otherwise prescribed pursuant to section two hundred fifty of the general municipal law, if the person who reports the finding or acquisition of possession of found property or an instrument is (a) a transportation company subject to the provisions of an act of congress known as the "interstate commerce act," as amended, or engaged in air transportation pursuant to certificate or permit of the civil aeronautics board issued pursuant to an act of congress known as the "civil aeronautics act of nineteen hundred thirty-eight," as amended, and the property or instrument was found on a transportation facility operated by such transportation company or (b) a safe deposit company or bank and the property or instrument was found on enclosed safe deposit premises of such safe deposit company or of the safe deposit department of such bank, such transportation company, safe deposit company or bank shall not be required to deposit such property or instrument at the time the report is made, but shall within sixty days after it acquired possession of the property or instrument deposit such property or instrument with the police to whom the report was made, unless within such time the property has been returned to the owner or the instrument has been returned to a person entitled thereto. Such transportation company, safe deposit company or bank shall hold such property or instrument subject to inspection at any time by the police to whom the report was made or by the police designated by an agreement pursuant to section two hundred fifty-one of the general municipal law.

A transportation company, safe deposit company or bank retaining possession of property or an instrument pursuant to this subdivision after report of its acquisition of possession thereof shall (a) give notice of its acquisition of possession of the instrument to each person whose name and address

appears on the instrument or whose name so appears and whose address is known to it, and (b) if such transportation company, safe deposit company or bank has reason to believe that a person has an interest in the property or instrument and reason to know his whereabouts, shall give notice to him of its possession. But this paragraph does not require that a transportation company give such notice or notices with respect to instruments enclosed in an article of baggage or in a briefcase, purse or like article at the time it acquired possession of such article.

6. If at any time an action or proceeding shall be commenced to determine the right to found property or to an instrument and written notice of such action shall be served upon the police having custody of the property or instrument, the police shall not thereafter deliver the property or instrument to any person except pursuant to court order.

7. This article does not supersede or limit any other statute or rule of law governing custody or disposition of articles in the custody of the police which constitute evidence of the commission of a crime, or which may not lawfully be possessed, or which may not lawfully be possessed without license.

S 257. Title to lost property.

1. The title to lost property which has been deposited with the police shall vest in the finder, or other person entitled to assert the rights of the finder as provided in section two hundred fifty-six of this chapter, when the property is delivered to him in accordance with section two hundred fifty-four of this chapter and shall vest in the buyer when the property is sold as provided in section two hundred fifty-three or two hundred fifty-four of this chapter.

2. If the finder of lost property under the value of ten dollars has made reasonable effort to find the owner and restore it to him, and has been unable to do so, the title to such property shall vest in the finder at the end of one year after the finding.

S 258. Proceeds to be paid into fund. Proceeds from the sale of lost property, less lawful deductions, or the money constituting lost property, shall be paid into the treasury of the county, city, town or village in the police department of which the property was deposited unless otherwise provided pursuant to section two hundred fifty of the general municipal law or other applicable statute, or into the abandoned property fund of the state if the property was deposited with the state police, the capital buildings police or the regional state park police or returned to a safe deposit company or bank pursuant to section two hundred fifty-six of this chapter, or into a fund established pursuant to subdivision eight of section three hundred fifty-five of the education law if the property was deposited with a security officer or police officer appointed by the state university.

出典 : New York State Assembly's Web Site (<http://assembly.state.ny.us/>)

(5) 米国(カリフォルニア州)

---

米国 - カリフォルニア州民法 -

(California Civil Code) 第 2080 条～第 2080.10 条

---

カリフォルニア州法典  
カリフォルニア州民法

第 2080 条

遺失物を発見した者は、契約または法令により別途義務付けられていない限りそれを管理する義務を負わないが、遺失物を一旦自らの管理下に収めた後は、職務としての受託者の権利及び義務を伴って、当該所有者のための受託者となる。金銭、物品、債権、もしくはその他の財産を発見し、保持し、または家畜を危害、放置、溺死の危険もしくは飢餓から救った者、または公的もしくは私的主体は、妥当な期間内に、所有者が判明している場合には当該所有者に通知し、当該財産の救済及び管理に対する妥当な対価を除き、無償にてこれを返還しなければならない。生きた家畜を保持した者は、当該動物の思い遣りある取扱いを図らなければならない。

第 2080 条 1

(a) 所有者が不明、または当該財産の所有を主張しない場合、当該財産を救済または発見した者は、当該財産の価値が 100 ドル以上である場合には、妥当な期間内にその財産を、発見場所が市内または郡内であればそれぞれ市警察署もしくは郡市警察署に、または発見場所が市域外であれば郡保安官事務所引き渡し、当該財産の発見または救済の日時及び場所を記載し、当該財産について具体的に記述した宣誓供述書を作成しなければならない。財産の救済の場合には、宣誓供述書には以下の事項を記載する。

- (1) 救済の要因である危害及び救済の方法。
- (2) 宣誓供述者が当該財産の所有者を認識しているか否か。
- (3) 宣誓供述者が当該財産の一部たりとも秘匿、保留または処分していないこと。

(b) 警察署または保安官事務所は、所有者の身元が妥当な努力を払えば確認可能である場合には、当該財産を保管している事実及び財産の返還請求場所を同人に通知しなければならない。警察署または保安官事務所は、財産の保管及び管理の費用を支弁するための妥当な手数料を所有者に請求することができる。

第 2080 条 2

警察署または保安官事務所が当該財産を受領した後 90 日以内に所有者が出頭し、当該財産に対する自らの所有権を立証し、すべての妥当な手数料を納付すれば、警察署または保安官事務所はその財産を返還しなければならない。

第 2080 条 3

(a) 当該財産の報告された価額が 250 ドル(\$250)以上であって、90 日以内に所有者が出頭して財産に対する所有権を立証しない場合には、警察署または保安官事務所は一般新聞に当該財産に関する告知を 1 回以上掲載しなければならない。最初の告知掲載後 7 日以内に所有者が出頭して当該財産に対する所有権を立証せず、当該財産を発見または救済した者

が当該公告の費用を支払った場合には、権原は当該財産を発見または救済した者に帰属する。ただし公的機関の従業員が職務執行中に当該財産を発見した場合はその限りではなく、この場合には当該財産は公開競売にて売却される。当該告知を掲載した警察署もしくは保安官事務所が属する市、郡または郡市に当該公告の費用が前納されない限り、当該財産に対する権原が当該財産を発見もしくは救済した者または公開競売の落札者に帰属することはない。

(b) 当該財産の報告価額が 250 ドル(\$250)未満であって、90 日以内に所有者が出頭して当該財産に対する所有権を立証しない場合には、権原は当該財産を発見または救助した者に帰属する。ただし公的機関の従業員が職務執行中に当該財産を発見した場合はその限りではなく、この場合には当該財産は公開競売にて売却される。

#### 第 2080 条 4

第 2080 条 3 または第 2080 条 6 の規定に拘わらず、市、郡市または郡の立法府は、かかる市もしくは郡市の警察署またはかかる郡の保安官事務所が保管する未請求の財産の管理、返還、売却または破棄に関して、条例により定めを設けることができる。かかる条例を採択する市、郡市または郡は、当該条例に(1) 警察署または保安官事務所がかかる未請求の財産を 3 ヶ月以上の期間にわたって保管すべきこと、及び(2)後にかかる財産を公開競売にて最高額の入札者に売却すべきこと、警察署長もしくは保安官が郡内において発行される一般新聞に、かかる売却の告知を予定された売却日時より 5 日以上前に 1 回掲載させること、またはその後かかる財産を公開競売にて公売に付するため当該自治体の購買保管機関もしくは類似の機関に移管すべきことを定めなければならない。かかる財産が郡の購買機関に移管された場合には、余剰個人資産の売却に関する州政府基本法の第 3 表題部、第 2 区分、第 2 部、第 5 章、第 7 条〈第 25550 節より始まる〉に定められた方法にて売却することができる。財産が本条により当該自治体の購買保管機関もしくは類似の機関に移管された場合には、かかる財産は所有者または所有権を主張できる立場にある者に返還されることはない。当該自治体の購買保管機関もしくは類似の機関が、みずからに移管されたかかる財産が公共の用に供するために必要と判断した場合には、当該機関はかかる財産を引き続き保持することが可能であり、これを売却する必要はない。

#### 第 2080 条 5

当該財産が一般に売却の対象となるものであって、妥当な努力を払ってもその所有者が発見されないか、または発見されても、第 2080 条及び第 2080 条 1 に定められた適法な手数料の請求に対してその納付を拒否し、以下のいずれかに該当する場合には、警察署または保安官事務所は個人財産売却の方法及び告知手続にて、かかる財産を売却することができる。

- (1) 当該物品が腐敗するかもしくはその価値の大半を失う恐れがある場合、または
- (2) 第 2080 条及び第 2080 条 1 に定められた適法な手数料がその価額の 3 分の 2 に達する場合。

#### 第 2080 条 6

(a) いかなる公的機関も、自らの選択により、その管轄に属する、発見された財産もしくは救済された財産の処分に関して、本章の諸規定に従うか、またはその保管下にある未請求の財産の管理、返還、売却または破棄に関する妥当な規則を採択することができる。かかる規則を採択する公的機関は、(1)かかる公的機関がかかる未請求の財産を 3 ヶ月以上の期間にわたって保管すべきこと、(2)後にかかる財産を公開競売にて最高額の入札者に売却すべきこと、及び(3)かかる公的機関の首長がかかる売却の告知を予定された売却日時より 5 日以上前に、かかる財産が発見された郡内において発行される一般新聞に 1 回掲載させることを定めなければならない。かかる公開競売に付された後なお未売却の財産は、当該公共機関が破棄またはその他の方法にて処分することができる。購買機関が存在する郡においては、当該購買機関がかかる売却を実施することが可能であり、かかる場合には本条(2)及び(3)の規定は適用されない。かかる売却は、余剰個人資産の売却に関する州政府基本法の第 3 表題部、第 2 区分、第 2 部、第 5 章、第 7 条〈第 25550 節より始まる〉に定められた方法にて郡の購買機関が実施することができる。当該公共機関が、売却のため当該機関に移管された財産が公共の用に供するために必要と判断した場合には、当該機関はこれを保持することが可能であり、これを売却する必要はない。

(b) 本条にいう「公的機関」とは、総務局、公園レクリエーション局、市、郡、郡市、特別区、その他の行政区画を含む、いかなる州機関をも指す。

#### 第 2080 条 7

本章の諸規定は所有者が故意に放棄した物品には適用されない。

#### 第 2080 条 8

カリフォルニア大学評議員会は、カリフォルニア大学理事会またはカリフォルニア大学警察署の保管下にある未請求の財産の管理、返還、売却または破棄について、決議または規則により定めを設けることができる。本条に従って採択される決議または規則には、(1)カリフォルニア大学評議員会またはカリフォルニア大学警察署がかかる未請求の財産を 3 ヶ月以上の期間にわたって保管すべきこと、(2)後にかかる財産を公開競売にて最高額の入札者に売却すべきこと、及び(3)カリフォルニア大学評議員会またはカリフォルニア大学警察署がかかる売却の告知を予定された売却日時より 5 日以上前に、かかる財産が保有されている郡内において発行される一般新聞に 1 回掲載させることを定めなければならない。かかる売却手続において入札がなかった財産は、カリフォルニア大学理事会が処分することができる。

#### 第 2080 条 9

カリフォルニア州立大学評議員会は、いずれの州立大学についても、その保管下にある未請求の、紛失されたまたは放棄された財産の管理、返還、売却または破棄について、決議または規則により定めを設けることができる。本条に従って採択される決議または規則には、(1)当該州立大学がかかる未請求の、または紛失された財産を 3 ヶ月以上の期間にわ

たつて保管すべきこと、(2)後にかかる財産を、放棄された財産の場合にも、公開競売にて最高額の入札者に売却すべきこと、及び(3) カリフォルニア州立大学評議員会がかかる売却の告知を予定された売却日時より5日以上前に、かかる財産が保有されている郡内において発行される一般新聞に1回掲載させることを定めなければならない。かかる売却手続において入札がなかった財産は、カリフォルニア州立大学評議員会が処分することができる。

#### 第2080条10

(a) 公的機関が何人からか一時的保管のため個人財産を受領して保持するに至った場合には、当該公的機関は以下のすべてを履行しなければならない。

- (1) 当該財産の保管、書類処理及び処分の責任を負うこと、
- (2) 財産を預託した者に受領証及び当該財産の返還に関する要領書を発給すること。財産を預託した者に対する受領証及び要領書は、当該公的機関が当該財産を受領した時点にて発給するか、または財産を預託した者に対して第1種郵便にて直ちに郵送しなければならない。
- (3) 当該公的機関が、財産を預託した者がその所有者でないことを認識している場合には、同機関はその所有者を特定するための妥当な努力を払わなければならない。所有者が特定された場合には、同機関は第1種郵便により受領証及び当該財産の返還に関する要領書を郵送しなければならない。

(b) 当該受領証及び要領書は、財産を預託した者に対し、当該公的機関の受託時より60日以内に当該財産を請求すべきこと、これを怠った場合には当該財産は、本章の処分規定に従って処分されることを通告するものでなければならない。60日以内に同人は以下のいずれかを実行しなければならない。

- (1) 当該財産の返還を受けること。
- (2) 書面により他者に当該財産の返還受領を委任すること。
- (3) 当該公的機関に対し、本人が拘留中であるために当該財産の返還を受けられないことを通知し、当該公的機関に当該財産の保持を要請すること。当該公的機関に対し、本人が60日以内に当該財産の返還を受けることも委任を受けた者に当該財産を受領させることもいずれも不可能であることを通知した場合には、当該機関は当該財産をさらに10ヵ月を超えない範囲で保管しなければならない。

(c) 当該公的機関は、本条及び本章の処分規定に従った個人財産の処分に関し、正当な注意を払って実施したいかなる公的措置により生じた損害に対しても、責任を負うものではない。

(d) 本条にいう「公的機関」とは、いかなる州機関または市、郡、郡市、特別区、その他の行政区画をも指す。

**California Law**  
**California Civil Code**

2080.

Any person who finds a thing lost is not bound to take charge of it, unless the person is otherwise required to do so by contract or law, but when the person does take charge of it he or she is thenceforward a depositary for the owner, with the rights and obligations of a depositary for hire. Any person or any public or private entity that finds and takes possession of any money, goods, things in action, or other personal property, or saves any domestic animal from harm, neglect, drowning, or starvation, shall, within a reasonable time, inform the owner, if known, and make restitution without compensation, except a reasonable charge for saving and taking care of the property. Any person who takes possession of a live domestic animal shall provide for humane treatment of the animal.

2080.1. (a) If the owner is unknown or has not claimed the property, the person saving or finding the property shall, if the property is of the value of one hundred dollars (\$100) or more, within a reasonable time turn the property over to the police department of the city or city and county, if found therein, or to the sheriff's department of the county if found outside of city limits, and shall make an affidavit, stating when and where he or she found or saved the property, particularly describing it. If the property was saved, the affidavit shall state:

- (1) From what and how it was saved.
- (2) Whether the owner of the property is known to the affiant.
- (3) That the affiant has not secreted, withheld, or disposed of any part of the property.

(b) The police department or the sheriff's department shall notify the owner, if his or her identity is reasonably ascertainable, that it possesses the property and where it may be claimed. The police department or sheriff's department may require payment by the owner of a reasonable charge to defray costs of storage and care of the property.

2080.2.

If the owner appears within 90 days, after receipt of the property by the police department or sheriff's department, proves his ownership of the property, and pays all reasonable charges, the police department or sheriff's department shall restore the property to him.

2080.3.

(a) If the reported value of the property is two hundred fifty dollars (\$250) or more and no owner appears and proves his or her ownership of the property within 90 days, the police department or sheriff's department shall cause notice of the property to be published at least once in a newspaper of general circulation. If, after seven days following the first publication of the notice, no owner

appears and proves his or her ownership of the property and the person who found or saved the property pays the cost of the publication, the title shall vest in the person who found or saved the property unless the property was found in the course of employment by an employee of any public agency, in which case the property shall be sold at public auction. Title to the property shall not vest in the person who found or saved the property or in the successful bidder at the public auction unless the cost of publication is first paid to the city, county, or city and county whose police or sheriff's department caused the notice to be published.

(b) If the reported value of the property is less than two hundred fifty dollars (\$250) and no owner appears and proves his or her ownership of the property within 90 days, the title shall vest in the person who found or saved the property, unless the property was found in the course of employment by an employee of any public agency, in which case the property shall be sold at public auction.

#### 2080.4.

Notwithstanding the provisions of Section 2080.3 or Section 2080.6, the legislative body of any city, city and county, or county may provide by ordinance for the care, restitution, sale or destruction of unclaimed property in the possession of the police department of such city or city and county or of the sheriff of such county. Any city, city and county, or county adopting such an ordinance shall provide therein (1) that such unclaimed property shall be held by the police department or sheriff for a period of at least three months, and (2) that thereafter such property will be sold at public auction to the highest bidder, with notice of such sale being given by the chief of police or sheriff at least five days before the time fixed therefor by publication once in a newspaper of general circulation published in the county, or that thereafter such property will be transferred to the local government purchasing and stores agency or other similar agency for sale to the public at public auction. If such property is transferred to a county purchasing agent it may be sold in the manner provided by Article 7 (commencing with Section 25500) of Chapter 5 of Part 2 of Division 2 of Title 3 of the Government Code for the sale of surplus personal property. If property is transferred to the local government purchasing and stores agency or other similar agency pursuant to this section, such property shall not be redeemable by the owner or other person entitled to possession. If the local government purchasing and stores agency or other similar agency determines that any such property transferred to it for sale is needed for a public use, such property may be retained by the agency and need not be sold.

#### 2080.5.

The police department or sheriff's department may sell such property by public auction, in the manner and upon the notice of sale of personal property under execution, if it is a thing which is commonly the subject of sale, when the owner cannot, with reasonable diligence, be found, or, being found, refuses upon demand to pay the lawful charges provided by Sections 2080 and 2080.1, in the following cases:

- (1) When the thing is in danger of perishing, or of losing the greater part of its value; or,
- (2) When the lawful charges provided by Sections 2080 and 2080.1 amount to two-thirds of its value.

2080.6.

(a) Any public agency may elect to be governed by the provisions of this article with respect to disposition of personal property found or saved on property subject to its jurisdiction, or may adopt reasonable regulations for the care, restitution, sale or destruction of unclaimed property in its possession. Any public agency adopting such regulations shall provide therein (1) that such unclaimed property shall be held by such agency for a period of at least three months, (2) that thereafter such property will be sold at public auction to the highest bidder, and (3) that notice of such sale shall be given by the chief administrative officer of such agency at least five days before the time fixed therefor by publication once in a newspaper of general circulation published in the county in which such property was found. Any property remaining unsold after being offered at such public auction may be destroyed or otherwise disposed of by the public agency. In a county having a purchasing agent, the purchasing agent may conduct such sale, in which case the provisions of subdivisions (2) and (3) of this section shall not be applicable. Such sale shall be made by the county purchasing agent in the manner provided by Article 7 (commencing with Section 25500) of Chapter 5 of Part 2 of Division 2 of Title 3 of the Government Code for the sale of surplus personal property. If the public agency determines that any such property transferred to it for sale is needed for a public use, such property may be retained by the agency and need not be sold.

(b) "Public agency" as used in this section means any state agency, including the Department of General Services and the Department of Parks and Recreation, any city, county, city and county, special district, or other political subdivision.

2080.7.

The provisions of this article have no application to things which have been intentionally abandoned by their owner.

2080.8.

The Regents of the University of California may provide by resolution or regulation for the care, restitution, sale or destruction of unclaimed property in the possession of the Regents of the University of California or of the University of California Police Department. Any resolution or regulation adopted pursuant to this section shall provide therein (1) that such unclaimed property shall be held by the Regents of the University of California or the University of California Police Department for a period of at least three months, (2) that thereafter such property will be sold at public auction to the highest bidder, and (3) that notice of such sale shall be given by the Regents of the University of California or the University of California Police Department at least five days

before the time therefor by publication once in a newspaper of general circulation published in the county in which such property is held. The Regents of the University of California may dispose of any such property upon which no bid is made at any such sale.

2080.9.

The Trustees of the California State University may provide by resolution or regulation for the care, restitution, sale, or destruction of unclaimed, lost, or abandoned property in the possession of any state university. Any resolution or regulation adopted pursuant to this section shall include therein (1) that such unclaimed or lost property shall be held by the particular state university for a period of at least six months, (2) that thereafter such property, as well as abandoned property, will be sold at public auction to the highest bidder, and (3) that notice of such sale shall be given by the Trustees of the California State University at least five days before the time therefor by publication once in a newspaper of general circulation published in the county in which such property is held. The Trustees of the California State University may dispose of any such property upon which no bid is made at any such sale.

2080.10.

(a) When a public agency obtains possession of personal property from a person for temporary safekeeping, the public agency shall do all of the following:

- (1) Take responsibility for the storage, documentation, and disposition of the property.
- (2) Provide the person from whom the property was taken with a receipt and instructions for the retrieval of the property. The receipt and instructions shall either be given to the person from whom the property was taken at the time the public agency obtains the property or immediately mailed, by first-class mail, to the person from whom the property was taken.
- (3) If the public agency has knowledge that the person from whom the property was taken is not the owner, the agency shall make reasonable efforts to identify the owner. If the owner is identified, the public agency shall mail, by first-class mail, a receipt and instructions for the retrieval of the property.

(b) The receipt and instructions shall notify the person from whom the property was taken that the property must be claimed within 60 days after the public agency obtains possession or the property will be disposed of in accordance with the disposal provisions of this article. Within 60 days, the person may do one of the following:

- (1) Retrieve the property.
- (2) Authorize in writing another person to retrieve the property.
- (3) Notify the public agency in writing that he or she is unable to retrieve the property, because he or she is in custody, and request the public agency to hold the property. If a person notifies the public agency that he or she is unable to retrieve the property within 60 days, or have an authorized person

retrieve the property, the public agency shall hold the property for not longer than 10 additional months.

(c) The public agency shall not be liable for damages caused by any official action performed with due care regarding the disposition of personal property pursuant to this section and the disposal provisions of this article.

(d) As used in this section, "public agency" means any state agency, any city, county, city and county, special district, or other political subdivision.

出典 : California Law (<http://www.leginfo.ca.gov/calaw.html>)

## (6) 米国(コロンビア特別区)

---

米国 - コロンビア特別区法 -

(District of Columbia Code) セクション5 第 119.01 条～第 119.19 条

---

コロンビア特別区法  
第 I 部 特別区政府  
タイトル 5 警察、消防士、検視局長  
第 1 章 首都警察

第 X 節  
財物

§ 5-119.01. 財物管理系の創設；定義

(a) 首都警察管轄区に、財物管理係という名称の職務を設ける。財物管理係は、首都警察の一員となる。係の職員は、首都警察のメンバーではない民間人によって構成される。ただし、警官が同係の保有する遺失物、盗難物、または遺棄物を警備する場合がある。

(b) § 5-119.02 から § 5-119.10、及び § 5-119.12 から § 5-119.18 に関しては、下記が該当する。

(1) 「遺失物」とは、有体無体を問わず、遺失者が不明で、過失、不注意又は手落ちにより偶然に、又は不本意ながら遺失者の手を離れた一切の個人的財産を意味する。自動車はその例外とする。

(2) 「遺失物の発見者」とは、首都警察に所属する公務員以外で、遺失物を発見した者を意味する。

§ 5-119.02. 遺失物、盗難物または遺棄物—保管

犯罪によって取得されたことが申し立てられている、またはそうであることが推測される、あるいは紛失または遺棄されて、その後警察、またはコロンビア特別区の上級裁判所のいずれかのメンバーによって保管されるに至った、または保管されるに至る財物または金銭はすべて、そのメンバーにより、またはその裁判所の命令により、財物管理係の保管下に置かれ、管理係が保管するものとする。ただし、遺棄車両の保管は公共事業部 (Department of Public Works) の遺棄・廃棄車両部門に移管される。

§ 5-119.03. 登録記録

上記の財物及び金銭はすべて、財物管理係がそのためにつける帳簿に個別に登録する。この帳簿には、こうした財物もしくは金銭を引き渡した者の氏名、すべての権利請求者の氏名、発見場所、差し押さえの時日、受理日、それに関する一般的状況、及び最終的な処分も記録する。

§ 5-119.04. 公証人の権限

財物管理係には、法律により特別区において公証人に付与されるすべての権限が与えられる。

§ 5-119.05. 宣誓の執行；寄託証明

財物管理係は、紛失した、遺棄された、またはコロンビア特別区の区長の指示に基づいて返還された財物または金銭（犯罪によって取得された、または犯罪の収益であると申し立てられていて上記の要領で返還された財物または金銭を含む）の所有権を確定するのに必要な宣誓を執行し、寄託が行われたことを証明することができる。

§ 5-119.06. 財物管理係—財物の返還— 一般的要件；複数の権利請求者；免責；証拠として必要とされる財物；所有者に対する通知；請求がなされない場合の処分

(a) § 5-119.05 に述べられている財物または金銭の所有権を示す満足のいく証拠があれば、財物管理係はその財物または金銭を所有者、その最近親者、または法的代理人にのみ引き渡す。もし、かかる所有者、最近親者、または法的代理人が出頭することが実行不可能であることが証明された場合、財物管理係はかかる所有者またはその最近親者、または法的代理人からのもので正当に作成・署名されている委任状をもつ者が、その委任状をこの財物管理係の事務所に提出してその財物または金銭の受領書に署名すれば、かかる財物または金銭をその者に引き渡すことができる。

(a-1) 首都警察が個人から財物を差し押さえる、または押収することは、その財物に対するその者の所有権を示す一応の証拠となる。一応の証拠により、所持による所有権が推定され、他に権利の証拠または請求がなければ、所有権の十分な証拠となる。

(b) 2名以上の者がかかる財物または金銭の所有権を主張する場合、財物管理係は自らに判明している、かかる権利請求者のすべてに対して、その財物または金銭を引き渡すべき者を決定するための意見聴取を行う時と場所を知らせる通知を書留郵便で出すことができる。財物管理係は指定の時と場所において、当該の財物または金銭の所有権についての意見を聴取し、証拠を受理して、所有者が誰であるかを決定する。財物管理係はこの意見聴取の後で、管理係が所有者であると判定する者、その最近親者、または法的代理人に対してのみ、その財物または金銭を引き渡す。もし、かかる所有者、最近親者、または法的代理人が出頭することが実行不可能であることが証明される場合、財物管理係はかかる所有者、その最近親者、または法的代理人からのもので正当に作成・署名されている委任状をもつ者がその委任状をこの財物管理係の事務所に提出してその財物または金銭の受領書に署名すれば、その者にかかる財物または金銭を引き渡すことができる。

(c) 財物管理係は、本法に基づいて誠意をもって遂行した公的措置に対して損害賠償金を支払う責任を負わない。

(d) 本法の § 5-119.14、§ 5-119.15、及び § 5-119.16 に定められている場合を除き、犯罪によって取得された、または犯罪の収益であると申し立てられ、財物管理係が所持しているいかなる財物または金銭も、本法の § 5-119.08 の規定に基づいて保有することが必要とされれば、本条に基づいて引き渡してはならない。また、コロンビア特別区において同特別区を担当している合衆国連邦検事が犯罪の訴追手続きにおいて上記の財物または金銭が証拠

として必要とされてはいないことを証明しない限り、財物管理係はかかる財物または金銭を受領した日から1年以内に引き渡すこともしてはならない。

(e)財物管理係が保管している財物の所有者が財物保管係から書留郵便または受取証明郵便で、通知の投函日から30日以内にかかる財物を引き取るようにという内容の通知を受け、かかる所有者がかかる期間内にその通知内容に従わない場合、かかる財物はその後、引き取り手のない、遺棄された、または紛失したその他の財物として扱われ、§ 5-119.10 の定めに従って処分される。ただし、かかる財物には売却価値がないと財物管理係が判断し、かかる通知の投函日から30日以内に所有者からかかる財物に対する返還請求がなく、所有者が財物管理係による保管を解除しない場合、かかる財物は廃棄、またはコロンビア特別区議会が条例もしくは命令によって定める他の方法により、処分される。

#### § 5-119.07. 被疑者の放免

逮捕者から財物または金銭が取り上げられ、犯罪によって取得された、または犯罪の収益であると申し立てられたすべての場合、ならびに、その財物または金銭がかかる請求を行う者及び逮捕者と共に公判のために裁判所に提示され、証拠から、逮捕者が申し立てられている違法行為は犯しておらず、その財物は逮捕者のものであることが正しいと裁判所が判断するすべての場合に、上記の裁判所はかかる財物または金銭を返還すること、また、財物管理係がその財物または金銭を保有している場合には、同係がかかる財物または金銭を被疑者側の弁護士、代理人、または係員ではなく、被疑者自身に引き渡すことを書面で命令することができる。

#### § 5-11.08. 逮捕者以外による所有権の請求

かかる財物または金銭の所有権の主張が逮捕者以外の者により、または逮捕者以外の者のために、裁判所で宣誓の上で行われ、被疑者が公判または尋問のために拘束される場合、その財物または金銭は被疑者が放免、または有罪判決を受けるまで、財物管理係の保管下にとどまる。

#### § 5-119.09. 引き継がれた財物；物故者と無能力者；保存；料金；売却

(a)犯罪によって取得された、または犯罪の収益である疑いで押収され、押収を受けた者以外にはいっさい権利請求者がいない財物または金銭、及び警察のメンバーが所持するに至った遺失物、及び犯罪の収益として質店から引き取られた、または精神異常である、醜態している、またはそれ以外の理由で自らの世話ができないと申し立てられている者から押収された財物または金銭はすべて、実践可能な限り速やかに財物管理係に引き継がれ、全利害関係者のために、また、上記の要領で警察が保管するに至った財物の量と処分に関する情報を一般人に提供するために、全面的に登録され公示される。

(b)(1)価値が1,000ドル未満で財物管理係によって保管されるに至った物故者の金銭または財物が、その物故者の最近親者または法的代理人によって権利の請求を受け、引き取られることなしに、6ヶ月以上財物管理係の保管下にとどまった場合、かかる金銭または財物

は必ず、§ 5-119.10 の定めに従って遺失物また廃棄物として処分される。ただし、物故者のかかる財物を処分する前に、遺言の検認権をもつ裁判所においてかかる物故者の法的代理人の任命を求める申し立てが係属中であるか否かを確認することは財物管理係の義務とし、かかる裁判所がかかる申し立てが係属中であれば、財物管理係はその裁判所がかかる申し立てについて最終的な処分の判断を出すまではかかる財物を処分してはならない。また、かかる物故者の法的代理人の任命を求める申し立てがコロンビア特別区以外の裁判所に提出されている、またはかかる裁判所で係属中であることを財物管理係が実際に知った場合、財物管理係はその裁判所がかかる申し立てについて最終的な処分の判断を出すまではかかる財物を処分してはならない。

(2)物故者の金銭または財物の価値が 1,000 ドル以上で少なくとも 6 ヶ月間は財物管理係の保管下にとどまっていた場合、財物管理係は必ず、その物故者の財産にかかる遺産管理人の任命を発効させるための適切な手続を開始することを目的として、この金銭または財物に関するすべての記録をコロンビア特別区の顧問弁護士に委託する。ただし、その財産についてその時点において有効な法律に基づいて定められる最終的な清算のための期間が満了し、法律によって定められる物故者の法定相続人または最近親者から権利の請求がいつさいない場合、その財産の残余分は遺言の検認権をもつ裁判所の登記簿に寄託され、3 年間の経過した後も法定相続人、またはその他の正当な権利請求者からその資金に対する要求がなされていない場合、登記簿に寄託された金額はコロンビア特別区の名義で財務省に寄託される。また、遺産管理人が任命された日から 3 ヶ月以内にその財産を引き取らない場合、財物管理係は書留郵便または受取証明郵便でその遺産管理人に通知を出してから 30 日間を経過すれば、その財物を公売で売却することができ、その売却費用とその財物の保管維持の付帯費用を差し引いた上で、その売却代金の残額をその遺産管理人に支払う。

(c)財物管理係が責任能力なしと判定された者に属する財物を保管しており、その者について委員会が任命されたが、その委員会が任命から 6 ヶ月以内に財物管理係の保管下にある、かかる者の財物を引き取らない場合、財物管理係は必ず、公売でその財物を売却する、または法律に従って他の方法でその財物を処分する意向について、その委員会に書留郵便または受取証明郵便で 60 日前の事前通知を行う。その 60 日が満了した時に委員会がその財物を引き取っていない場合、(1)財物管理係は、その財物を公売で売却する権限をもち、売却費用とその財物の保管維持の付帯費用、及び責任能力なしと判定された患者の介護と扶養の費用としてコロンビア特別区に支払うべき金額を差し引いて、売却金の残余分をその委員会に支払う。または、(2)財物管理係がその財物には売却価値がないと判断する場合、財物管理係は廃棄により、またはコロンビア特別区議会が条例で、またはコロンビア特別区の区長が命令で定める他の方法で、その財物を処分する権限をもつ。

(d)(1)上記の区長はその裁量により、本章に従って財物管理係が保管するに至った財物（首都警察の警官またはメンバーが押収した車両を含む）をコロンビア特別区内にある商業的な倉庫もしくは車庫、またはコロンビア特別区の管内にある何らかの施設に保管する権限をもつ。

(2)区長は条例により、かかる財物を保管し、保護するために首都警察が行ったサービスの費用と商業的な倉庫もしくは車庫においてかかる財物を保管する費用をコロンビア特別区に弁済するために課される料金を定める権限をもつ。また、かかる財物がコロンビア特別区の管内にある何らかの施設で保管される場合には区長は必ず、その財物が保管される1日ごとになされる保管サービスの価値として合理的に推定される額の保管料金を定め、かかる財物を所有者またはその法的代理人に引き渡す前に、かかる財物について未収になっている料金を徴収する。ただし区長は、証拠として、犯罪の収益として、または精神異常であると推測される者から、引き取られて保管されるに至った財物については、裁量により、かかる料金の課金と徴収を差し控える権限をもつ。また、財物管理係は、財物が商業的な車庫または倉庫で保管されていてその財物の保管料金が財物管理係の判定する価値の75%を上回る場合、本章の他の条文によって財物管理係がその財物を保有することを要求される期間とは無関係に、§ 5-19.10 の項 (b)に従ってその財物を公売で売却する権限をもつ。

(3)本条を理由として徴収される料金は、コロンビア特別区の名義で財務省に寄託される。

#### § 5-119.10. 公売での売却；担保権が登録されている自動車；売却代金の処分

(a)腐敗しやすい財物、動物、銃器、及び精神異常者の財物を除き、§ 5-119.09 に従って他の方法で処分されず、権利の請求及び引き取りがなされずに90日以上財物管理係の保管下にとどまる財物のすべて（金銭を含む）について、財物管理係は以下の通り取り扱う。

(1)特別区内で一般に流通している新聞に、週1度、2週連続で下記を公告する、または公告させる。

(A)その財物についての説明、及び

(B)第1回目の公告から45日以内に正当な所有者から権利の請求がなされない場合には、その財物に対する権利は保管と公告の費用を差し引いた上で遺失物の発見者に戻る、またはその他のすべての場合にコロンビア特別区に戻る旨の告示。また、

(2)首都警察の本部内で公示が一般的に、または通常掲示される場所に、特別区内で一般に流通している新聞で公告された告示のコピーを掲示し、または掲示させ、かかる公告及び告示の掲示がなされた日を記録する。

(b)正当な所有者と発見者のいずれも、出頭して遺失物の権利請求を行わない場合、かかる財物に対する権利は特別区政府に移転される。その財物は政府による公的な用途のために区長によって保持される場合、または財物管理係が指示する場所と時において、売りに出されたすべての財物を入札者が点検できるような方法で競売に付される場合がある。財物管理係は、財物の売却費用がその価値を上回ると判断した場合には、財物を売りに出す必要はない。

(c)本条に従って財物管理係が実施する売却における購入者は、購入した財物に対する権利を得るものであり、その財物の正当な所有者または発見者、及び正当な所有者または発見者を通じて、その指示に従って権利の請求を行ういかなる者のいかなる権利請求にも束縛されることはない。

(d)本条に基づく売却から得られる収益はすべて、特別区政府の一般資金に寄託される。

(e)廃棄済み。

(f)(1)区長はタイトル2の第5章の第I節に従い、本条の規定の実施規則案を提起する。

(2)規則案は議会に提出され、土曜、日曜、祝日、及び議会の休会日を除いて45日間審議される。議会がこの45日間の審議期間中に規則案の全部または一部を承認、または不承認とする決議を行わない場合、規則案は承認されたものと見なされる。本条のいかなる規定も、タイトル2の第5章の第I節によって区長に課せられる要件には影響を及ぼさない。

#### § 5-119.11. 財物の破損についての免責；例外；「重大な過失」の定義

コロンビア特別区政府も、その管理職または職員も、公的スペースからのかかる財物の撤去、またはかかる財物を首都警察の財物管理係の保管下に移すべき移送によって財物に生じた破損に対しては責任を負わない。また、かかる財物が首都警察の財物管理係の保管下にあり、かかる保管が法律の要件に従って行われていた場合にかかる財物に生じた破損についても、責任を負わない。ただし、コロンビア特別区政府、またはその管理職もしくは職員は、かかる財物の撤去、移送、または保管において重大な過失があった結果としてかかる財物に生じた破損については責任を負う場合がある。ただし、かかる財物の破損についてコロンビア特別区を勝訴とし、保管していた商業的な倉庫業者または車庫業者を敗訴とする判決が正式に記録された場合、コロンビア特別区はかかる判決に基づく損害賠償額からかかる訴訟に関連してコロンビア特別区にかかった管理費用と訴訟費用の全額を差し引いて、破損した財物の所有者であると財物管理係が判定した者に支払う。本条に関しては、「重大な過失」とは、財物を傷つけようとする故意、または他者の所有権に対する無責任な、または極度の軽視を意味する。

#### § 5-119.12. 引き取り手のない動物の売却

警察が引き取り、20日間にわたって権利の請求がなされないままの馬及びその他の動物は、10日間の公示後、売却することができる。

#### § 5-119.13. 腐敗しやすい財物の売却

引き取られ、権利の請求がなされない腐敗しやすい財物はすべて、直ちに売却する。

§ 5-119.14. 公判前に所有者に引き渡された財物— 一般

犯罪の収益として財物管理係に返還された動物または金銭以外の財物（腐敗しやすい財物を除く）が、所有者が現在使用するために必要であり、売り物でないことが十分な証拠によって示されている場合、コロンビア特別区長は裁量により、所有者がその財物価値の倍額に相当する十分な保証金を積み、1年以内であればいつでもその財物に関する審理における証拠として裁判で用いるために、要求された時にその財物を提出することを条件として、財物管理係がその財物を所有者の保管下に置くことを認める権限をもつ。

§ 5-119.15. 公判前に所有者に引き渡される財物— 腐敗しやすい財物

犯罪の収益として財物管理係に返還された腐敗しやすい財物は、所有者が裁判のために出廷することの保証を裁判所が十分に確保すれば、所有者に引き渡すことができる。

§ 5-119.16. 公判前に所有者に引き渡される財物— 販売のために保有されている大量の商品

所有者が販売のために大量に保有している商品が犯罪の収益として財物管理係に所持されるに至った場合、起訴を行えることが十分に確保されれば、§ 5-119.06 の定めに従って所有者、その相続人または代理人に引き渡すことができる。ただしこのような場合、推定価値が50ドルまでの商品は、被疑者が放免、または有罪判決を受けるまで財物管理係が保持する。

§ 5-119.17. 証拠としての財物の利用

財物管理係の保管下に置かれた財物または金銭がコロンビア特別区の上級裁判所において証拠として要望される場合、かかる財物は、その旨を記した同裁判所からの命令を提示する係官に引き渡される。ただしかかる財物は裁判所においては保持されず、財物管理係に返還され、本章の規定に従って処分される。

§ 5-119.18. 遺棄物として扱われる財物

犯罪の収益として財物管理係に返還され、その返還日から1年以内に特別区の裁判所での審理で証拠として要求されない財物または金銭は、所有者がその上記の期間内に特別に権利を請求しない限り、その後は本章の定めに従い、引き取り手のない、遺棄された、または紛失したその他の財物または金銭として扱われる。

§ 5-119.19. 遺棄された無形の個人的財産

§ 5-119.01 から § 5-119.10、及び § 5-119.12 から § 5-119.18 までのいかなる規定も、タイトル 41 の第 1 章に定めがある場合を除き、遺棄された無形の個人的資産を処分することを財物管理係に要求するものとは解釈されない。

**District of Columbia Code**  
**Division I Government of District**  
**Title 5 Police, Firefighters, and Chief Medical Examiner**  
**Chapter 1 Metropolitan Police**  
**Subchapter X Property**

§ 5-119.01. Property Clerk office created; definitions.

(a) There shall be an office of the Metropolitan Police District known as the Office of the Property Clerk. The Property Clerk shall be a member of the Metropolitan Police force. The staff shall consist of civilians who are not members of the Metropolitan Police force, except that police officers may provide security for lost, stolen, or abandoned property held by the office.

(b) For purposes of §§ 5-119.02 through 5-119.10 and §§ 5-119.12 through 5-119.18:

(1) The term "lost property" means any personal property, tangible or intangible, except a motor vehicle, the owner of which is unknown and which has been casually or involuntarily parted with through negligence, carelessness, or inadvertence.

(2) The term "finder of lost property" means any person other than a public officer of the Metropolitan Police Department who has found lost property.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 408; Dec. 5, 1919, 41 Stat. 363, ch. 1, § 1; Mar. 5, 1981, D.C. Law 3-160, § 201, 27 DCR 5150; Sept. 9, 1989, D.C. Law 8-24, § 6(a), 36 DCR 4575; May 4, 1990, D.C. Law 8-118, § 2, 37 DCR 1736.)

§ 5-119.02. Lost, stolen or abandoned property--Custody.

All property, or money alleged or supposed to have been feloniously obtained, or which shall be lost or abandoned, and which shall be thereafter taken into the custody of any member of the police force, or the Superior Court of the District of Columbia, or which shall come into such custody, shall be, by such member, or by order of the Court, given into the custody of the Property Clerk and kept by him, except that the custody of any abandoned vehicle shall be transferred to the Abandoned and Junk Vehicle Division of the Department of Public Works.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 409; Sept. 9, 1989, D.C. Law 8-24, § 6(b), 36 DCR 4575.)

§ 5-119.03. Registration record.

All such property and money shall be particularly registered by the Property Clerk in a book kept for that purpose, which shall contain also a record of the names of the persons from whom such property or money was taken, the names of all claimants thereto, the place where found, the time of

the seizure, the date of the receipt, the general circumstances connected therewith, and any final disposal of such property and money.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 410.)

§ 5-119.04. Powers of notaries public.

The Property Clerk is vested with all the powers conferred by law upon notaries public in the District.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 411.)

§ 5-119.05. Administration of oaths; certification of depositions.

The Property Clerk may administer oaths and certify depositions which may be necessary to establish the ownership of any property or money lost, abandoned, or returned to him under the directions of the Mayor of the District of Columbia, including such property or money so returned which is alleged to have been feloniously obtained or to be the proceeds of crime.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 412; June 11, 1878, 20 Stat. 107, ch. 180, § 6; May 9, 1941, 55 Stat. 185, ch. 99, § 1.)

§ 5-119.06. Property clerk--Return of property--General requirements; multiple claimants; immunity; property needed as evidence; notice to owner; disposition upon failure to claim.

(a) Upon satisfactory evidence of the ownership of property or money described in § 5-119.05 he shall deliver the same to the owner, his next of kin, or legal representative and to him or them only. If, in any case, it is proven impracticable for such owner, next of kin, or legal representative to appear, the Property Clerk may deliver such property or money to any person having a duly executed power of attorney from such owner, or his next of kin, or legal representative, upon the filing of such power of attorney in the office of said Clerk and the signing of a receipt for such property or money.

(a-1) Seizure or impoundment of property by the Metropolitan Police Department from an individual is prima facie evidence of that person's ownership of the property. The prima facie evidence shall constitute a presumption of ownership by possession and in the absence of other evidence or claims of title, shall be satisfactory evidence of ownership.

(b) In the event 2 or more persons claim ownership of any such property or money, the Property Clerk may give notice by registered mail to all such claimants of whom he shall have knowledge of the time and place of a hearing to determine the person to whom the property or money shall be

delivered. At the time and place so designated the Property Clerk shall hear and receive evidence of ownership of the property or money concerned, and shall determine the identity of the owner. After such hearing, the Property Clerk shall deliver the property or money to the person whom the Property Clerk determines is the owner, his next of kin, or legal representative, and to him or them only. If, in any case, it is proven impracticable for such owner, next of kin, or legal representative to appear, the Property Clerk may deliver such property or money to any person having a duly executed power of attorney from such owner, his next of kin, or legal representative, upon the filing of such power of attorney in the office of said Clerk and the signing of a receipt for such property or money.

(c) The Property Clerk shall not be liable in damages for any official action performed hereunder in good faith.

(d) Except as provided in §§ 5-119.14, 5-119.15, and 5-119.16 hereof, no property or money in the possession of the Property Clerk alleged to have been feloniously obtained or to be the proceeds of crime shall be delivered under this section if it is required to be held under the provisions of § 5-119.08 hereof; nor shall it be delivered within 1 year after the date of receipt of said property or money by the Property Clerk unless the United States Attorney in and for the District of Columbia shall certify that such property or money is not needed as evidence in the prosecution of a crime.

(e) Whenever the owner of property in the custody of the Property Clerk has been notified by the Property Clerk, by registered or certified mail, to take possession of such property within 30 days after the date of mailing of such notification, and such owner fails so to do within such period, such property shall be thereafter treated as other unclaimed, abandoned, or lost property and shall be disposed of as provided in § 5-119.10; provided, that if, in the opinion of the Property Clerk, such property has no salable value, and if within 30 days after the date of mailing such notification such property is not reclaimed by its owner and removed by him from the custody of the Property Clerk, such property shall be disposed of by destruction or otherwise, as the Council of the District of Columbia by regulation or order shall provide.

#### CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 413; May 9, 1941, 55 Stat. 185, ch. 99, § 1; June 29, 1953, 67 Stat. 101, ch. 159, § 306(a); Sept. 25, 1962, 76 Stat. 589, Pub. L. 87-691, § 1; Mar. 16, 1985, D.C. Law 5-194, § 2, 32 DCR 1020.)

#### § 5-119.07. Acquittal of accused.

Whenever property or money shall be taken from persons arrested, and shall be alleged to have been feloniously obtained, or to be the proceeds of crime, and whenever so brought with such claimant and the person arrested before any court for trial, and the court shall be satisfied from evidence that the person arrested is innocent of the offense alleged, and that the property rightfully belongs to him,

said court may, in writing, order such property or money to be returned, and the Property Clerk, if he have it, to deliver such property or money to the accused person himself, and not to any attorney, agent, or clerk of such accused person.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 414.)

§ 5-119.08. Ownership claim by other than person arrested.

If any claim to the ownership of such property or money shall be made on oath before the court, by or in behalf of any other persons than the persons arrested, and the accused person shall be held for trial or examination, such property or money shall remain in the custody of the Property Clerk until the discharge or conviction of the persons accused.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 415.)

§ 5-119.09. Property transmitted; deceased and incompetent persons; storage; fees; sale.

(a) All property or money taken on suspicion of having been feloniously obtained, or of being the proceeds of crime, and for which there is no other claimant than the person from whom such property was taken, and all lost property coming into possession of any member of the police force, and all property and money taken from pawnbrokers as the proceeds of crime or from persons alleged to be insane, intoxicated, or otherwise incapable of taking care of themselves, shall be transmitted as soon as practicable to the Property Clerk to be fully registered and advertised for the benefit of all parties interested, and for the information of the public as to the amount and disposition of the property so taken into custody by the police.

(b)(1) Whenever any money or property of a deceased person of a value of less than \$1,000 coming into the custody of the Property Clerk shall remain in his custody for a period of 6 months or more without being claimed and repossessed by the next of kin or the legal representative of such deceased person, such money or property shall be disposed of as lost or abandoned property as provided in § 5-119.10; provided, that prior to the disposition of such property of a deceased person it shall be the duty of the Property Clerk to ascertain whether there is pending in the court having probate jurisdiction any petition seeking the appointment of a legal representative of such deceased person, and, if such a petition is pending in such court, the Property Clerk shall not dispose of such property until final disposition by the court of such petition; provided further, that in any case where the Property Clerk acquires actual knowledge that a petition for the appointment of a legal representative of such deceased person has been filed or is pending in a court outside of the District of Columbia, the Property Clerk shall not dispose of such property until final disposition by the court of such petition.

(2) Whenever any money or property of a deceased person shall be of a value of \$1,000 or more and shall have remained in the custody of the Property Clerk for at least 6 months, all records pertaining to the same shall be referred by the Property Clerk to the Corporation Counsel of the District of Columbia for the purpose of instituting appropriate proceedings to effect the appointment of an administrator of the estate of such decedent; provided, that upon expiration of the time for final settlement of such estate under law then in effect, the residue thereof in the absence of any claim by the heirs at law or next of kin of the decedent, as provided by law, shall be deposited into the registry of the court having probate jurisdiction, and upon the expiration of a period of 3 years, no demand having been made upon such funds by lawful heirs or other rightful claimants, the amount so deposited in such registry shall be deposited in the Treasury to the credit of the District of Columbia; provided further, that if the administrator does not take possession of such property within 3 months from the date of his appointment, the Property Clerk may, after giving such administrator 30 days notice by registered or certified mail, sell such property at public auction, and, after deducting the expenses of such sale, and expense incident to the maintenance of custody of such property, shall pay the remaining proceeds of such sale over to such administrator.

(c) Whenever the Property Clerk has custody of any property belonging to any person who has been adjudged of unsound mind and a committee has been appointed for such person but fails to take possession of the property of such person in the custody of the Property Clerk within 6 months from the date of such committee's appointment, the Property Clerk shall give such committee 60 days notice by registered or certified mail of his intention to sell such property at public auction or otherwise dispose of such property in accordance with law. If, upon the expiration of such 60 days notice, the committee has not taken custody of such property: (1) the Property Clerk is authorized to sell such property at public auction, and, after deducting the expenses of the sale, expenses incident to the maintenance and custody of such property, and any amounts due the District of Columbia for care and maintenance of the adjudicated patient, shall pay the remaining proceeds of the sale over to such committee; or (2) if in the opinion of the Property Clerk any such property has no salable value, he is authorized to dispose of such property by destruction or otherwise as the Council of the District of Columbia shall, by regulation, or the Mayor of the District of Columbia shall, by order, determine.

(d)(1) The said Mayor is authorized, in his discretion, to store in any commercial warehouse or garage in the District of Columbia, or in or on any facility under the jurisdiction of the District of Columbia, any property coming into the custody of the Property Clerk pursuant to this chapter, including vehicles impounded by any officer or member of the Metropolitan Police force.

(2) The Mayor is authorized to fix, by regulation, the fees to be charged to reimburse the District of Columbia for the cost of services rendered by the Metropolitan Police force in taking custody of and protecting such property and for the cost of storing such property in any commercial warehouse or garage, and whenever any such property is stored in or on any facility under the jurisdiction of the

District of Columbia, the Mayor shall fix the storage fee in an amount reasonably estimated by him to be the value of the storage service rendered for each day during which such property is so stored, and to collect all such fees due and owing for such property before releasing such property to its owner or his legal representative; provided, that the Mayor is authorized, in his discretion, to waive the charging and collecting of such fees for property taken into custody as evidence, the proceeds of crime, or from persons supposed to be insane; provided further, that the Property Clerk is authorized to sell at public auction pursuant to subsection (b) of § 5-119.10 any property stored in a commercial garage or warehouse, when the storage charges for such property exceed 75% of its value as determined by the Property Clerk, regardless of the amount of time for which such property is required by other sections of this chapter to be held by the Property Clerk.

(3) Fees collected by reason of this section shall be deposited in the Treasury to the credit of the District of Columbia.

#### CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 416; May 29, 1896, 29 Stat. 191, ch. 270; Mar. 3, 1901, 31 Stat. 1208, ch. 854, § 116; Sept. 1, 1916, 39 Stat. 718, ch. 433, § 12; Mar. 3, 1936, 49 Stat. 1158, ch. 121, § 1; Sept. 25, 1962, 76 Stat. 589, Pub. L. 87-691, § 2; July 29, 1970, 84 Stat. 576, Pub. L. 91-358, title I, § 158(a)(1).)

§ 5-119.10. Sale at public auction; motor vehicle with lien of record; disposition of proceeds from sale.

(a) With respect to all property (including money), except perishable property, animals, firearms and property of insane persons, not otherwise disposed of in accordance with § 5-119.09, that shall remain in the custody of the Property Clerk for not less than 90 days without being claimed and repossessed, the Property Clerk shall:

(1) Publish or cause to be published in a newspaper of general circulation in the District, once a week for 2 consecutive weeks:

(A) A description of the property; and

(B) Notice that if such property is not claimed by the rightful owner within 45 days from the date of 1st publication, title to the property shall revert to the finder of lost property after deduction for the expenses of custody and publication, or to the District of Columbia in all other cases; and

(2) Post or cause to be posted in the Metropolitan Police Department headquarters, where public notices are commonly or usually posted, a copy of the notice published in the newspaper of general circulation in the District, and shall make a record of the date when such publication and the posting of the notices are made.

(b) If neither the rightful owner nor the finder appear to claim the lost property, title to such property shall transfer to the District government and the property may be retained by the Mayor for official government use or may be sold at public auction at such place and time as the Property Clerk may direct and in such a manner as to expose to the inspection of bidders all property so offered for sale. The Property Clerk needs not offer any property for sale if, in the Property Clerk's opinion, the probable cost of sale exceeds the value of the property.

(c) The purchaser at any sale conducted by the Property Clerk pursuant to this section shall receive title to the property purchased, free from all claims of the rightful owner or the finder of the property and all persons claiming through and under the rightful owner or the finder. The Property Clerk shall execute all documents necessary to complete the transfer of title.

(d) All proceeds from any sale under this section shall be deposited in the General Fund of the District government.

(e) Repealed.

(f)(1) The Mayor shall, pursuant to subchapter I of Chapter 5 of Title 2, issue proposed rules to implement the provisions of this section.

(2) The proposed rules shall be submitted to the Council for a 45-day period of review, excluding Saturdays, Sundays, legal holidays, and days of Council recess. If the Council does not approve or disapprove the proposed rules, in whole or in part, by resolution within this 45-day review period, the proposed rules shall be deemed approved. Nothing in this section shall affect any requirements imposed upon the Mayor by subchapter I of Chapter 5 of Title 2.

#### CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 417; Sept. 1, 1916, 39 Stat. 718, ch. 433, § 12; Mar. 3, 1936, 49 Stat. 1158, ch. 121, § 2; Sept. 25, 1962, 76 Stat. 591, Pub. L. 87-691, § 4; Mar. 5, 1981, D.C. Law 3-160, § 202, 27 DCR 5150; Sept. 29, 1988, D.C. Law 7-164, § 2, 35 DCR 5739; Sept. 9, 1989, D.C. Law 8-24, § 6(c)-(e), 36 DCR 4575.; Oct. 28, 2003, D.C. Law 15-35, § 13(a), 50 DCR 6579.)

§ 5-119.11. Immunity from damages to property; exception; "gross negligence" defined.

Neither the government of the District of Columbia nor any officer or employee thereof shall be liable for damage to any property resulting from the removal of such property from public space, or the transportation of such property into the custody of the Property Clerk, Metropolitan Police Department, nor for damage to any such property while such property is in the custody of the Property Clerk, Metropolitan Police Department, when such custody is maintained pursuant to the requirements of law, except that the government of the District of Columbia or any such officer or employee may be liable for damage to such property as a result of gross negligence in the removal,

transportation, or storage of such property; provided, that should a judgment be entered for the District of Columbia against any commercial warehouseman or garagekeeper for damage to such property in his care, recovery on such judgment, less all administrative expenses and court costs to the District of Columbia involved in such litigation, shall be paid by the District of Columbia to the owner of the damaged property as determined by the Property Clerk. For the purpose of this section, the term "gross negligence" means a willful intent to injure property, or a reckless or wanton disregard of the rights of another in his property.

CREDIT(S)

(Sept. 25, 1962, 76 Stat. 591, Pub. L. 87-691, § 5.)

§ 5-119.12. Sale of unclaimed animals.

Horses and other animals taken by the police and remaining unclaimed for 20 days may be advertised and sold upon 10 days public notice.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 418.)

§ 5-119.13. Sale of perishable property.

All perishable property so taken and unclaimed shall be sold at once.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 419.)

§ 5-119.14. Property delivered to owner preceding trial--Generally.

When animals or articles of property (except perishable property) other than money, returned to the Property Clerk as the proceeds of crime, are shown by sufficient evidence to be necessary for the current use of the owner and not for sale, the Mayor of the District of Columbia has power, in his discretion, to authorize the Property Clerk to place the same in the custody of the owner, upon sufficient bonds being given by the owner in the sum of twice the value of the property, conditioned for the production of the same at any time within 1 year, when required for use in court as evidence in any proceedings thereon.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 420; June 11, 1878, 20 Stat. 107, ch. 180, § 6.)

§ 5-119.15. Property delivered to owner preceding trial--Perishable property.

Perishable property, returned to the Property Clerk as the proceeds of crime, may be delivered to the owner on ample security being taken by the court for his appearance to prosecute the case.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 421.)

§ 5-119.16. Property delivered to owner preceding trial--Large quantities of goods held for sale.

When large quantities of goods held for sale by the owner, come into the possession of the Property Clerk as the proceeds of crime, the same may be delivered to the owner, his heirs or representatives, as provided in § 5- 119.06, upon ample security to prosecute the case. But in such cases goods to the estimated value of \$50 shall be retained by the Property Clerk until the discharge or conviction of the accused.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 422.)

§ 5-119.17. Use of property as evidence.

If any property or money placed in the custody of the Property Clerk shall be desired as evidence in the Superior Court of the District of Columbia, such property shall be delivered to any officer who shall present an order to that effect from such Court; but such property shall not be retained in the Court, but shall be returned to the Property Clerk, to be disposed of according to the provisions of this chapter.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 423.)

§ 5-119.18. Property treated as abandoned.

Any property or money returned to the Property Clerk as the proceeds of crime, and which shall not be called for as evidence by any proceeding in the courts of the District within 1 year from the date of such return, may, unless specially claimed by the owner within that time, be thereafter treated as other unclaimed, abandoned, or lost property or money, as provided in this chapter.

CREDIT(S)

(R.S., D.C., § 424.)

§ 5-119.19. Abandoned intangible personal property.

Nothing in §§ 5-119.01 through 5-119.10 and 5-119.12 through 5- 119.18 shall be held to require the Property Clerk to make disposition of any abandoned intangible personal property except as provided for in Chapter 1 of Title 41.

CREDIT(S)

(Mar. 5, 1981, D.C. Law 3-160, § 203, 27 DCR 5150.)

出典：District of Columbia Official Code  
(<http://dcode.westgroup.com/home/dccodes/default.wl>)

(7) カ ナ ダ

---

カナダ - ケベック州民法 -

(Civil Code of Québec) 第 934 条～第 946 条

---

## ケベック州民法

### 第 IV 章 財物に関する一定の事実上の関係

#### 第 2 節 無主物の取得

##### 第 1 款 所有者の存在しない物

###### 第 934 条

所有者の存在しない物とは、野生の動物、以前捕獲されていたが野生に戻された動物、水性動物、及びそれらの所有者が所有権を放棄した物のような、何人の所有にも帰属しない物である。

公道又は一般公衆の輸送に供されている乗物を含め、公共の場所に放置されたもので、わずかな価値しか有さず又は極めて朽廃した状態にある動産は、所有権放棄物とみなす。

[1991 年法律第 64 号第 934 条；2002 年法律第 19 号 15 条改正]

###### 第 935 条

所有者の無い動産の所有権は、保有することによって自己のものとした人に帰属する。所有権が放棄された動産は、誰も保有することによって自己のものとする人の無いときは、その行政区域内でそれを回収した地方自治体、又は国家に帰属する。

[1991 年法律第 64 号第 935 条]

###### 第 936 条

所有者の無い不動産の所有権は国家に帰属する。国家がその占有を取得し、又はその所有者が不動産登記簿に記入することによる公的財産管理人の告知によって宣言されていない限り、それにかかわらず、自然の附合又は時効によって、誰でも所有権を取得できる。

[1991 年法律第 64 号第 936 条]

###### 第 937 条

所有者の無い物で、国家が自己のものとしたものは公的財産管理人がこれを管理し、法律によってこれを処分する。

[1991 年法律第 64 号第 937 条]

###### 第 938 条

埋蔵物の所有権は、拾得者が自ら所有する土地内でそれを発見したときは、拾得者に帰属する。他人の土地でそれが発見された場合には、拾得者が所有者のために行為してい

る場合を除き、2分の1の所有権が当該土地の所有者に帰属し、2分の1は拾得者に帰属する。

[1991年法律第64号第938条]

## 第2款 遺失又は置き忘れられた動産

### 第939条

遺失又は置き忘れられた動産で、第三者の手元にあり又は公の場所に放置された物の所有権は、その所有者に属する。

動産の所有権はこれを占有することによって取得できないが、それを保持することにより時効取得でき、それに替わる代金も同様とする。

[1991年法律第64号第939条]

### 第940条

物の拾得者はその所有者を見付けるよう努めるものとし、所有者を見付けられた場合には、それを返還するものとする。

[1991年法律第64号第940条]

### 第941条

物の拾得者が、物又はそれに替わる代金の所有権を時効によって取得するためには、同人がそれを拾得した事実を、警察官、それがその行政区域内で拾得された地方自治体、又はそれが拾得された場所を管理する責任者に申告しなければならない。

その後同人は、その選択にしたがい、その物を保管し続けるか、それを保管する者が行う態様でそれを処分するか、又は同人が申告を行った人に保管させるため引き渡すことができる。

[1991年法律第64号第941条]

### 第942条

60日以内に返却が要求されなかった場合には、拾得された物の保管者は、国家又は地方自治体を含め、それを売却することができる。

当該物の売却は、当該物が拾得された地方で発刊されている新聞に、当該物の内容及び拾得場所、売却の日時を示した、売却の通知が広告してから10日を経過した後、競売によってこれを行う。

しかしながら、当該物が朽廃し易いものである場合には、その保管者は直ちにそれを処分できる。また、競売において入札者が無いときは、同人はこれを随意の契約で売却し、慈善施設に寄付し、またこのような方法で処分することが不可能な場合には、それを破棄することができる。

[1991年法律第64号第942条]

#### 第 943 条

国家又は地方自治体は、次の場合には、拾得物の保管者と同じ態様で、要求されている広告を行う期間を待たずに、保管する動産である財物を、競売によって売却することができる。

(1) 当該財物の所有者が返却を求める一方で、その返却を求めてから 60 日以内に、当該財物の管理に要した費用を償還することを怠り又は拒絶している場合。

(2) 複数の人が当該財物の所有者として返却を求めているものの、それらの内の誰も明確な権原を証明することができず、あるいは同人に与えられた 60 日を超えない期間内に、それを証明する訴訟を提起しなかった場合。

(3) 動産が裁判所の書記局に預託され、所有者にこれを受取に来るよう通知がなされたにもかかわらず、通知後 60 日以内に、又は所有者に通知を行うことができない場合において、終局判決が下され又は訴訟が取り下げられてから六ヶ月以内に、所有者が受取に来なかった場合。

[1991 年法律第 64 号第 943 条]

#### 第 944 条

保管、作業又は加工するため物が預けられた場合において、作業が完了してから又は合意した時から 90 日以内に、当該物の受け取りが無かったときは、それは預け忘れられたものとみなされ、保管者は、当該物を同人に預けた人に対して、同期間の通知を行った後、それを処分することができる。

[1991 年法律第 64 号第 944 条]

#### 第 945 条

預託されたが、預け忘れられた物の保管者は、それを、拾得物の場合と同じく競売によって、又は合意されたとおり処分される。保管者は、売却できなかった物を慈善施設に寄付することも、また寄付することは不可能なときは、同人が適切であると考えたとおり処分できる。

[1991 年法律第 64 号第 945 条]

#### 第 946 条

置き忘れた物の所有者は、同人の所有権が時効によって取得されていない限り、管理費用を支払い、又は、該当する場合には行われた作業の工賃を支払うことを申し出て、引き渡しを請求できる。当該物の保管者は、支払いがあるまでこれを留置できる。

当該物がすでに処分されていた場合には、所有者の有する権利は、第 1714 条の規定にかかわらず、残存している売却価格から、その管理及び処分費そして行われた作業の価格を控除したものに対してのみ行使できる。

[1991 年法律第 64 号第 946 条]

**CHAPTER IV**  
**CERTAIN DE FACTO RELATIONSHIPS CONCERNING PROPERTY**  
**DIVISION II**  
**ACQUISITION OF VACANT PROPERTY**

**§ 1. — Things without an owner**

934. Things without an owner are things belonging to no one, such as animals in the wild, or formerly in captivity but returned to the wild, and aquatic fauna, and things abandoned by their owner.

Movables of slight value or in a very deteriorated condition that are left in a public place, including a public road or a vehicle used for public transportation, are deemed abandoned things.

1991, c. 64, a. 934; 2002, c. 19, s. 15.

935. A movable without an owner belongs to the person who appropriates it for himself by occupation.

An abandoned movable, if no one appropriates it for himself, belongs to the municipality that collects it in its territory, or to the State.

1991, c. 64, a. 935.

936. An immovable without an owner belongs to the State. Any person may nevertheless acquire it by natural accession or prescription unless the State has possession of it or is declared the owner of it by a notice of the Public Curator entered in the land register.

1991, c. 64, a. 936.

937. Things without an owner which the State appropriates for itself are administered by the Public Curator, who disposes of them according to law.

1991, c. 64, a. 937.

938. Treasure belongs to the finder if he finds it on his own land; if it is found on the land of another, 1/2 belongs to the owner of the land and 1/2 to the finder, unless the finder was acting for the owner.

1991, c. 64, a. 938.

## § 2. — Lost or forgotten movables

939. A movable that is lost or that is forgotten in the hands of a third person or in a public place continues to belong to its owner.

The movable may not be acquired by occupation, but may be prescribed by the person who detains it, as may the price subrogated thereto.

1991, c. 64, a. 939.

940. The finder of a thing shall attempt to find its owner; if he finds him, he shall return it to him.

1991, c. 64, a. 940.

941. The finder of a lost thing, in order to acquire, by prescription, ownership of it or of the price subrogated to it, shall declare the fact that he has found it to a peace officer, to the municipality in whose territory it was found or to the person in charge of the place where it was found.

He may then, at his option, keep the thing, dispose of it in the manner of a person having detention or hand it over for detention to the person to whom he made the declaration.

1991, c. 64, a. 941.

942. The holder of a found thing, including the State or a municipality, may sell it if it is not claimed within 60 days.

The sale of the thing is held by auction and on the expiry of not less than 10 days after publication of a notice of sale in a newspaper circulated in the locality where the thing was found, stating the nature of the thing and indicating the place, day and hour of the sale.

The holder may dispose of the thing immediately, however, if it is perishable. Also, if there is no bidder at the auction, he may sell the thing by agreement, give it to a charitable institution or, if it is impossible to dispose of it in this way, destroy it.

1991, c. 64, a. 942.

943. The State or a municipality may, in the manner of the holder of a found thing, sell movable property in its hands by auction, without further delay than that required for publication, in the following cases:

1) the owner of the property claims it but neglects or refuses to reimburse the holder for the cost

of administration of the property within 60 days of claiming it;

2) several persons claim the property as owner, but none of them establishes a clear title or takes legal action to establish it within the 60 days or more allotted to him;

3) a movable deposited in the office of a court is not claimed by its owner within 60 days from notice given him to fetch it or, if it has not been possible to give him any notice, within six months from the final judgment or from the discontinuance of the proceedings.

1991, c. 64, a. 943.

944. Where a thing that has been entrusted for safekeeping, work or processing is not claimed within 90 days from completion of the work or the agreed time, it is considered to be forgotten and the holder, after having given notice of the same length of time to the person who entrusted him with the thing, may dispose of it.

1991, c. 64, a. 944.

945. The holder of a thing entrusted but forgotten disposes of it by auction sale as in the case of a found thing, or by agreement. He may also give a thing that cannot be sold to a charitable institution or, if that is not possible, dispose of it as he sees fit.

1991, c. 64, a. 945.

946. The owner of a lost or forgotten thing may revendicate it, so long as his right of ownership has not been prescribed, by offering to pay the cost of its administration and, where applicable, the value of the work done. The holder of the thing may retain it until payment.

If the thing has been alienated, the owner's right is exercised, notwithstanding article 1714, only against what is left of the price of sale, after deducting the cost of its administration and alienation and the value of the work done.

1991, c. 64, a. 946.

出典： Canadian Legal Information Institute

(<http://www.canlii.org/qc/laws/sta/ccq/20050211/whole.html>)